

江戸川区実施計画

(平成24年度～26年度)

～共育 協働 安心への道～



江戸川区

実施計画の策定にあたって

本実施計画は、平成24年1月に策定した基本計画『えどがわ10年プラン
共育 協働 安心への道』の着実な推進を図ることを目的に、平成24年度
～26年度に計画的に取り組む事業を示したものです。

平成24年3月

目 次

第1章 実施計画策定の考え方	1～8
1 計画の目的および性格	2
2 計画事業	2
3 計画の期間	2
4 財政収支の推計	3
5 計画の体系	4
第2章 分野別計画	9～166
第1節 未来を担う人づくり	11～38
1 家庭教育の充実	12
2 地域での次代を担う人づくり(地域教育の充実)	19
3 多様な保育サービスの提供	24
4 21世紀にふさわしい学校教育の推進	29
第2節 学びと協働による区民文化づくり	39～54
1 人生を豊かにする生涯学習	40
2 江戸川区の良さを活かしたボランティア活動とコミュニティ活動	42
3 創造性豊かな江戸川文化	44
4 男女共同参画社会の推進	47
5 世界の人々との交流と共生	49
6 安心できる消費生活	52
第3節 いきいきとした生活のための健康・福祉の社会づくり	55～96
〔1〕 区民の健康づくりのために	55～70
1 生活習慣病と健康	56
2 心の健康づくり	61
3 生涯スポーツの推進	63
4 感染症と健康危機への対応	65
5 食と住の安全性	68
〔2〕 高齢の人々・障害のある人々のために	71～96
1 高齢の人々の生きがいと健康	72
2 高齢の人々の生活支援	76
3 障害のある人々の生活支援	82
4 福祉のまちづくり	94

第4節 区民参加による環境づくり	97～112
1 環境啓発・環境教育	98
2 資源循環(ごみの減量と資源リサイクル)	102
3 自然との共生・ふれあい	106
4 都市環境問題・有害化学物質への対応	111

第5節 活力を創造する産業づくり	113～134
1 ものづくり産業の活性化	114
2 商業・生活サービス業の活性化	119
3 起業家の育成	122
4 都市農業の継承	125
5 伝統的地場産業の継承、発展	127
6 次代の産業を担う人材の育成	129
7 新たなパートナーシップの確立	132
8 働く意欲あふれる環境づくり	133

第6節 区民の暮らしを力づくよく支えるまちづくり	135～166
1 都市基盤の充実・質の向上	136
2 利便性の高い道路、交通、情報ネットワークの整備	143
3 地域の魅力を高めるまちづくり	150
4 安全で災害に強いまちづくり	161

第3章 計画の実現のために	167～170
1 信頼と協働による推進	168
2 区民本位での効率的な行政運営	168

.

.

第1章 実施計画策定の考え方

1 計画の目的および性格

2 計画事業

3 計画の期間

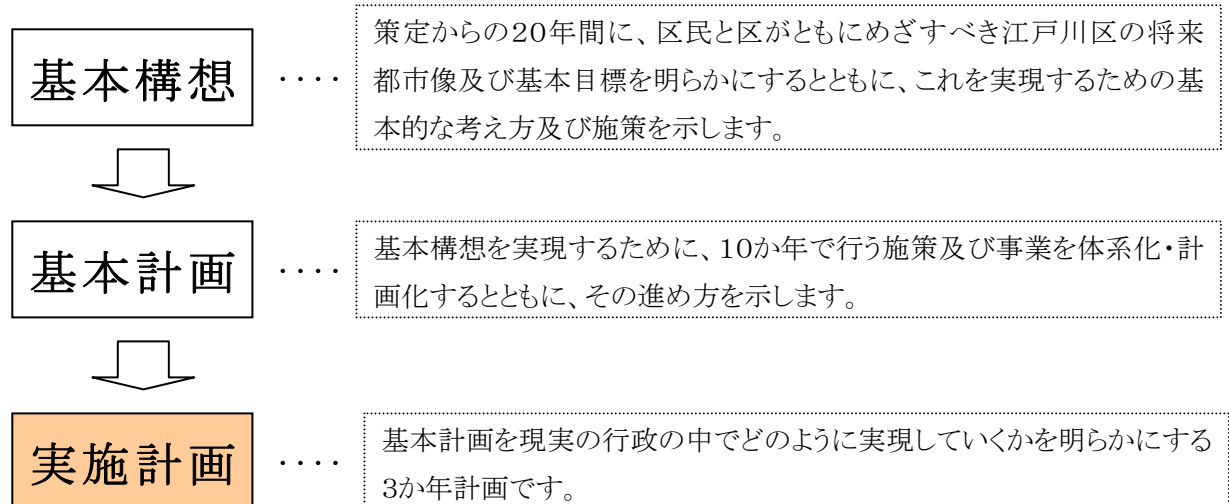
4 財政収支の推計

5 計画の体系

1 計画の目的および性格

この実施計画は、江戸川区基本計画(後期)『えどがわ10年プラン 共育 協働 安心への道』で示された10か年の計画の着実な推進を目的とし、計画期間における毎年度の予算編成等の区政運営の指針となるものです。

<実施計画の位置づけ>



2 計画事業

この計画では、基本計画の実現を図る主要事業に新たに開始又は拡充する事業を加えて、計画事業化をしました。

維持管理及び内部管理的事業、法令等で事業の内容が細目にわたって定められている事業及び臨時的事業については、計画事業の対象外としました。

計画事業数は、367事業です。

3 計画の期間

平成24年度から平成26年度までの3か年とします。

4 財政収支の推計

この計画を実現していくためには、的確な財政見通しが不可欠となります。推計にあたっては、平成24年度の予算額を基本に、過去の事業規模の推移、今後の計画等を考慮しました。

〔歳 入〕

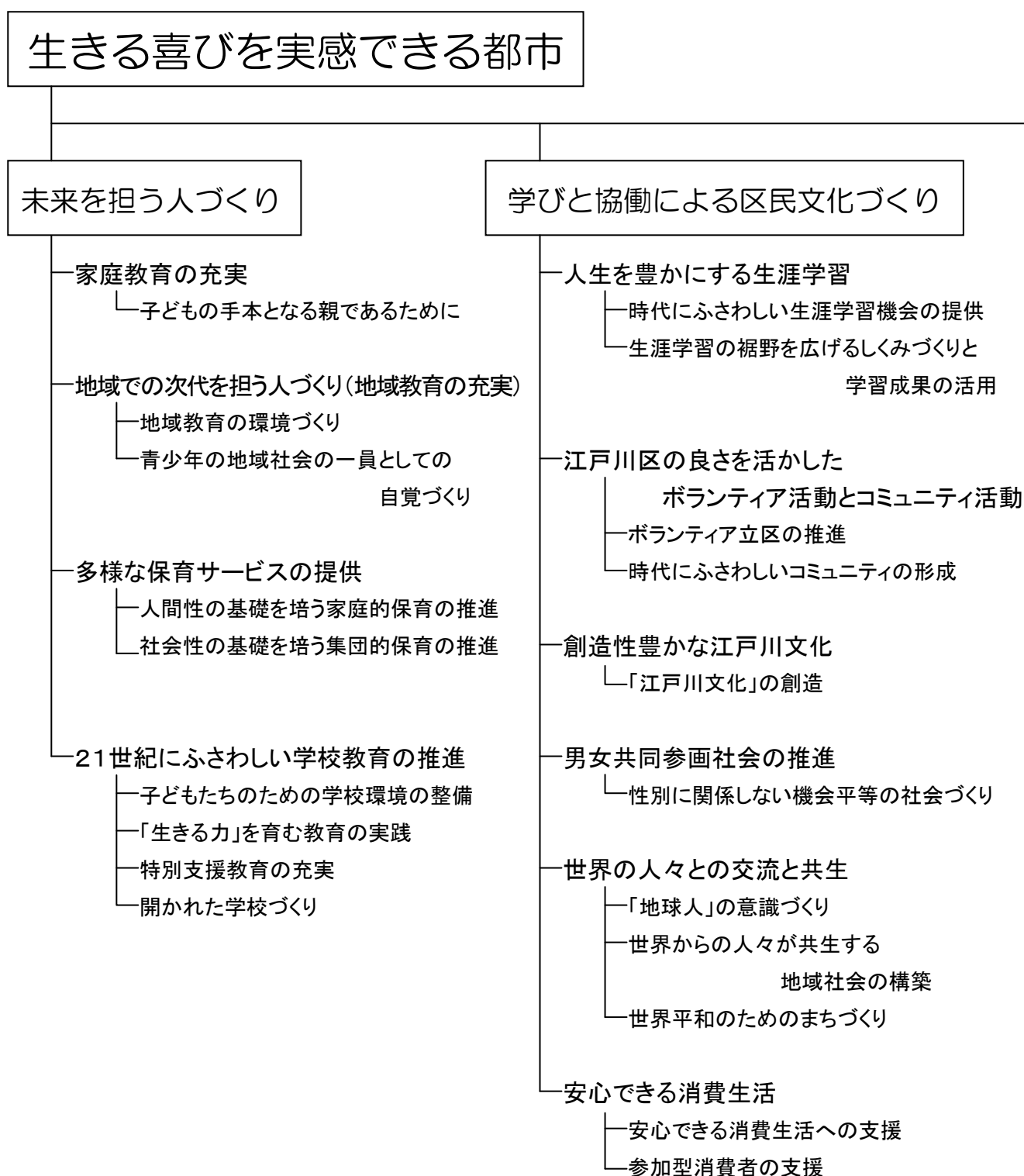
- ① 特別区税は、過去の実績及び税制改正等を考慮して算定しました。
- ② 財政調整交付金は、3か年同水準としました。
- ③ 国・都支出金は、対象事業の計画や推移等を参考に算定しました。
- ④ 特別区債は、通常起債額に学校改築経費に合わせた起債額を加えて算定しました。
- ⑤ その他については、過去の実績等を基礎に算定しました。

〔歳 出〕

- ① 人件費は、退職者の見込数等を基に算定しました。
- ② 扶助費は、過去の実績等を基に算定しました。
- ③ 公債費は、今後の償還計画に基づき算定しました。
- ④ 一般行政経費等(物件費、維持補修費、補助費等)は、過去の実績等を基に算定しました。
- ⑤ 投資的経費は、都市基盤整備事業を中心に今後の計画を考慮して算定しました。

3か年の財政収支の推計

(単位:百万円・%)											
区 分		24年度		25年度			26年度			合 計	
		金 額	構 成	金 額	構 成	増減率	金 額	構 成	増減率	金 額	構 成
総 額		218,938	100.0	223,640	100.0	2.1	220,834	100.0	△1.3	663,412	100.0
歳 入	特別区税	46,134	21.1	44,804	20.0	△2.9	43,011	19.5	△4.0	133,949	20.2
	財政調整交付金	77,500	35.4	77,500	34.7	0.0	77,500	35.1	0.0	232,500	35.0
	国・都支出金	55,571	25.4	56,377	25.2	1.5	56,749	25.7	0.7	168,697	25.4
	特別区債	2,820	1.3	3,200	1.4	13.5	2,920	1.3	△8.8	8,940	1.3
	その他	36,913	16.8	41,759	18.7	13.1	40,654	18.4	△2.6	119,326	18.1
歳 出	人件費	37,465	17.1	37,651	16.8	0.5	36,906	16.7	△2.0	112,022	16.9
	扶助費	79,092	36.1	80,459	36.0	1.7	82,345	37.3	2.3	241,896	36.5
	公債費	2,230	1.0	2,482	1.1	11.3	2,622	1.2	5.6	7,334	1.1
	一般行政経費等	78,716	36.0	79,643	35.6	1.2	80,553	36.5	1.1	238,912	36.0
	投資的経費	21,435	9.8	23,405	10.5	9.2	18,408	8.3	△21.4	63,248	9.5



いきいきとした生活のための健康・福祉の社会づくり

〔1〕区民の健康づくりのために

- 生活習慣病と健康
 - 区民の生命と健康を守るためのしくみづくり
 - がん予防対策の推進
- 心の健康づくり
 - 心を元気にするためのしくみづくり
- 生涯スポーツの推進
 - 健康スポーツ都市・江戸川の形成
- 感染症と健康危機への対応
 - 感染症対策などの充実
- 食と住の安全性
 - 健康食住の推進

〔2〕高齢の人々・障害のある人々のために

- 高齢の人々の生きがいと健康
 - 「生涯現役」の環境づくり
 - 高齢の人々の健康づくり
- 高齢の人々の生活支援
 - 高齢の人々が安心できる生活支援
 - 介護サービスの充実
- 障害のある人々の生活支援
 - 障害に関する生活支援
 - 精神障害のある人々の社会復帰への支援
 - 発達障害者（児）へのライフステージに応じた支援
- 福祉のまちづくり
 - ユニバーサルデザインの促進
 - 心のバリアフリーと福祉ネットワークづくり

区民参加による環境づくり

- 環境啓発・環境教育
 - └ 環境にやさしいエコタウンづくり
- 資源循環(ごみの減量と資源リサイクル)
 - └ ライフスタイルの見直しによる
ごみの大幅な減量化
 - └ 資源リサイクルの拡充
- 自然との共生・ふれあい
 - └ 水と緑でネットワークする
「いのちのオアシス」づくり
 - └ 自然とのふれあいの拡大
- 都市環境問題・有害化学物質への対応
 - └ 生活環境の改善・保全と
新たな環境汚染問題への対応

活力を創造する産業づくり

- ものづくり産業の活性化
 - └ 自立型中小企業の支援
- 商業・生活サービス業の活性化
 - └ 新しい商店街への経営革新
- 起業家の育成
 - └ 情報産業などの起業・育成支援
- 都市農業の継承
 - └ 特色ある都市農業の展開
- 伝統的地場産業の継承、発展
 - └ 江戸川文化としての伝統的地場産業の振興
- 次代の産業を担う人材の育成
 - └ 次代を担う人材育成の支援
- 新たなパートナーシップの確立
 - └ 産業界の主体性を重視した行政システム
- 働く意欲あふれる環境づくり
 - └ 多様な就業の場の確保と支援

区民の暮らしを力づよく支えるまちづくり

—都市基盤の充実・質の向上

- 土地利用と市街地整備の方針
- 木造密集市街地の改善
- 良好な市街地環境の創出
- 大規模公園予定地の整備
- 地域生活圏と中心核の整備

—利便性の高い道路、交通、情報ネットワークの整備

- 道路ネットワークの形成
- 鉄道の整備
- 楽しく快適に移動できる交通
- 情報通信ネットワーク化の推進

—地域の魅力を高めるまちづくり

- 水と緑にあふれる都市環境の充実
- 美しい都市景観づくり
- 住みよく永住できる居住環境づくり
- 歩いて楽しめる個性あるまち
- 安心して生活できるまちづくり

—安全で災害に強いまちづくり

- 防災まちづくり
- 防災体制の充実
- みんなで守るまちづくり

第2章 分野別計画

第1節 未来を担う人づくり

第2節 学びと協働による区民文化づくり

第3節 いきいきとした生活のための

健康・福祉の社会づくり

〔1〕区民の健康づくりのために

〔2〕高齢の人々・障害のある人々のために

第4節 区民参加による環境づくり

第5節 活力を創造する産業づくり

第6節 区民の暮らしを力づよく支える

まちづくり

< 分野別計画の見方 >

1 施策の考え方

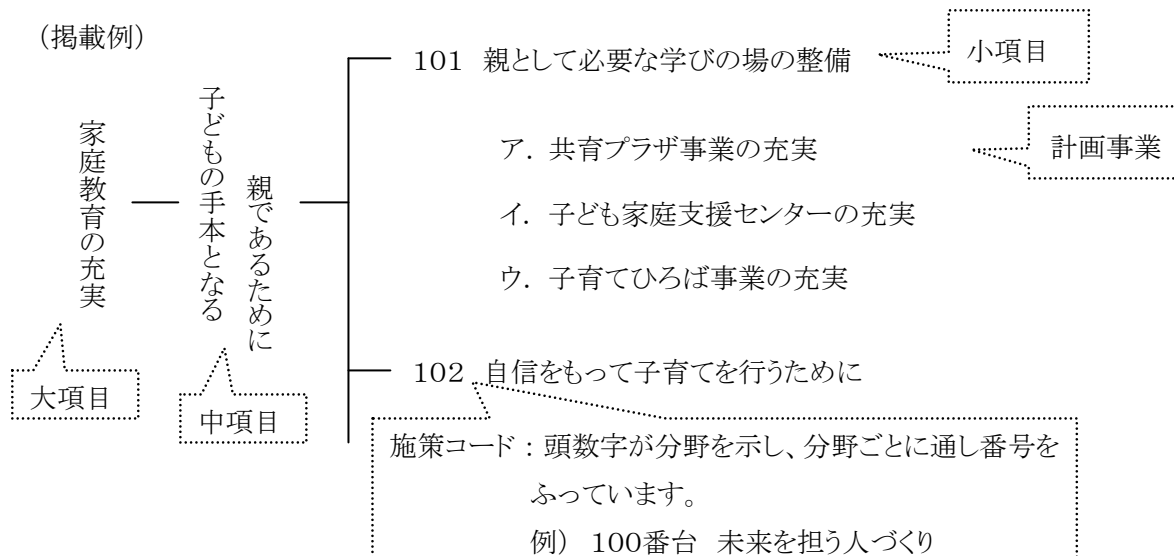
長期計画は、将来都市像「生きる喜びを実感できる都市」を実現するための6本柱の基本目標にそって、各分野別に施策体系を構成しています。

ここでは、分野別の施策体系を構成する大項目ごとに、事業策定の基本となる考え方を示します。

2 施策体系図

分野別施策体系の大項目ごとに施策体系図を掲載しています。

(掲載例)



3 計画の内容

空欄は、事業開始前や事業完了等により、計画事業が存在しないことを示します。

施策コード	135	年次計画		
計画内容		24年度	25年度	26年度
〇〇〇の整備支援 【新】再掲 101			協議	整備支援
事業費		千円	0千円	※※※千円

24年度以後新たに実施する事業は、【新】と記載しています。
また、再掲された場合には、再掲〇〇〇 と表示し、最初に記載した箇所の施策コードを記載しています。

空欄は、事業開始前、事業完了等により、事業費が存在しないことを示します。
「0千円」は、事業計画はありますが、経費を必要としないものです。
「※※※」は、検討・協議の結果に基づき、今後所要の経費を計上していくものです。
「——」は、経費を他の事業のなかで計上しているものです。

第1節

未来を担う人づくり

1 家庭教育の充実

- (1) 子どもの手本となる親であるために

2 地域での次代を担う人づくり（地域教育の充実）

- (1) 地域教育の環境づくり
- (2) 青少年の地域社会の一員としての自覚づくり

3 多様な保育サービスの提供

- (1) 人間性の基礎を培う家庭的保育の推進
- (2) 社会性の基礎を培う集団的保育の推進

4 21世紀にふさわしい学校教育の推進

- (1) 子どもたちのための学校環境の整備
- (2) 「生きる力」を育む教育の実践
- (3) 特別支援教育の充実
- (4) 開かれた学校づくり

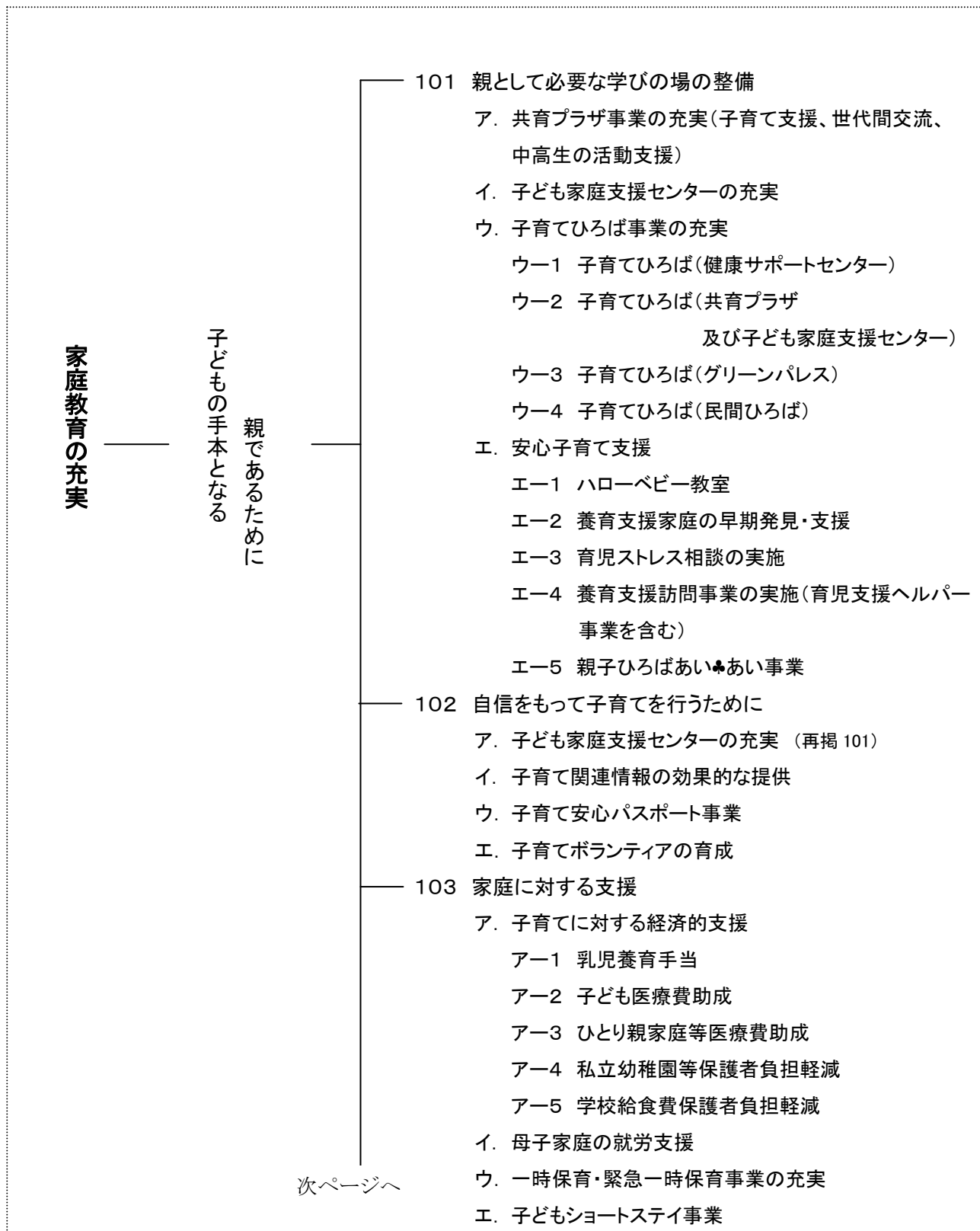
1 家庭教育の充実

【施策の考え方】

家庭は、子どもにとって最も大切な生活の場であり、家庭教育がしっかりしていることが何より大切です。しかし、家族形態、ライフスタイル等が多様化し、時代が大きく変化している今日、親が子育てを行うことはこれまで以上に難しさを増しています。

親が親としての自覚と自信を高めるための学び、子育て相談等に対するニーズに応じていくとともに、働く親が増加するなかで、子育て家庭に対する支援を行っていきます。

【施策体系図】



前ページより

104 ファミリーサポート制度の充実

ア. ファミリーサポート制度の充実

105 地域における子どもの居場所づくり

106 幼児・児童虐待防止体制の充実

ア. 虐待防止のための支援としくみづくり

アー1 予防事業の充実

関係機関との連携強化

アー2 相談支援等の充実

イ. 子ども家庭支援センターの充実（再掲 101）

（1）子どもの手本となる親であるために

101 親として必要な学びの場の整備

共育プラザでは、中高生の活動支援、乳幼児の保護者の子育て支援及び世代間の交流を推進し、各地域の共育・協働を実践する拠点として一層の充実を図ります。

子ども家庭支援センターでは、児童相談所等の関係機関との連携を強化し、総合的な相談・支援体制の充実を図るとともに、共育プラザや保育園等と協力して、子育て支援事業を実施していきます。

民間子育てひろばとも連携しながら、多くの子育て世代への支援を充実します。

また、各施設の特성에応じた子育てひろばの運営の充実を図るとともに、父親も積極的に育児や地域の子育て活動に参加できる体制づくりを進め、妊娠届時、新生児訪問、乳児健診時等から養育支援が必要な家庭を早期に発見し、家庭訪問や個別相談、グループ支援等の早期支援を行います。

施策コード		101	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度	
共育プラザ事業の充実 (子育て支援、世代間交流、 中高生の活動支援)		運営の充実	同左	同左	
事業費		338,446千円	338,446千円	338,446千円	
子ども家庭支援センター の充実		関係機関との連携強化	同左	同左	
		子育て支援事業の実施	同左	同左	
事業費		50,123千円	50,000千円	50,000千円	
子育てひろば事業の充実	子育てひろば (健康サポートセンター)	育児相談等 常設 6か所 定期 2か所	同左	同左	
	事業費	2,164千円	2,160千円	2,160千円	
	子育てひろば (共育プラザ及び 子ども家庭支援センター)	運営の充実	同左	同左	
	事業費	—— 千円	—— 千円	—— 千円	
	子育てひろば (グリーンパレス)	運営の充実	同左	同左	
	事業費	138千円	※※※千円	※※※千円	
	子育てひろば (民間ひろば)	民間ひろばの助成 1か所	民間ひろばの助成及び その検証	同左	
	事業費	7,500千円	※※※千円	※※※千円	
安心子育て支援	ハローベビー教室	平日コース 土曜日コース 延4,900人	同左	同左	
	事業費	5,472千円	5,470千円	5,470千円	
	養育支援家庭の 早期発見・支援	新生児訪問 妊産婦訪問 3,530人	新生児訪問 妊産婦訪問 3,600人	同左	
	事業費	24,065千円	22,000千円	22,000千円	

「一」:事業費は、共育プラザ事業の充実及び子ども家庭支援センターの充実(施策コード101)の中で計上しています。

安心子育て支援	育児ストレス相談の実施	医師による相談 年12回	同左	同左
		心理相談員による相談 年60回	同左	同左
	事業費	1, 260千円	1, 260千円	1, 260千円
	養育支援訪問事業の実施(育児支援ヘルパー事業を含む)	実施	同左	同左
	事業費	—— 千円	—— 千円	—— 千円
	親子ひろば あい♣あい事業	実施	同左	同左
	事業費	40, 324千円	40, 324千円	32, 993千円

「ー」:事業費は、子ども家庭支援センターの充実(施策コード 101)の中で計上しています。

102 自信をもって子育てを行うために

保育園、共育プラザ等の協力を得ながら子育て支援事業を実施する子ども家庭支援センターの機能を充実するとともに、育児不安等を抱えた乳幼児の養育者に対して個別相談等を実施します。

共育プラザ等子育て関連施設の子育て情報コーナーや、区立保育園の子育て情報掲示板を活用して区民へ子育て関連情報を提供します。また、ホームページの充実を図るとともに、子育てマップや子育てガイド等の印刷物を活用することにより、必要な情報を効果的に提供します。

子育て安心パスポート事業を推進し、誰でも気軽に参加できるようにパスポートを発行しながら育児相談、園庭開放、プール開放、保育体験「親子deチャレンジ」、園ごとの「遊びにきませんか」等子育て支援事業に取り組むとともに、共育プラザ等利用促進を図っていきます。

さらに、子育てひろば等の活用を図ることにより、各種サークル活動の支援、子育てボランティアの育成等を推進します。

施策コード	102	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
子ども家庭支援センター の充実 再掲 101	関係機関との連携強化	同左	同左	同左
	子育て支援事業の実施	同左	同左	同左
事業費		—— 千円	—— 千円	—— 千円
子育て関連情報の効果的な提供	子育て情報コーナー(共育プラザ等)の活用	同左	同左	同左
	子育て情報掲示板(区立保育園)の活用	同左	同左	同左
	子育てマップ・子育てガイドの充実	同左	同左	同左
	区ホームページ等の充実	同左	同左	同左
事業費		1, 924千円	1, 924千円	1, 924千円

子育て安心パスポート事業	区立保育園全園で 実施	同左	同左
事業費	※※※千円	※※※千円	※※※千円
子育てボランティアの育成	子育てボランティア講座 の実施	同左	同左
事業費	0千円	0千円	0千円

「ー」:事業費は、子ども家庭支援センターの充実(施策コード101)の中で計上しています。

103 家庭に対する支援

子育て世代の経済的な負担を軽減するため、乳児養育手当、子ども医療費助成等の各種手当の支給又は助成を実施します。

母子家庭の母の就労を支援するため、一定の職業能力開発等に要した費用に対して、給付金等を支給します。

また、冠婚葬祭・通院・リフレッシュ等を目的とした私立保育園での一時保育、保護者の入院・出産等で緊急時に対応する区立保育園での緊急一時保育、病気等の事情で、宿泊を伴う子どもの養育及び保護が必要となる保護者の支援事業として、子どもショートステイ事業等を実施していきます。

施策コード		103	年次計画		
計画事業内容			24年度	25年度	26年度
子育てに対する経済的支援	乳児養育手当		5, 625人	5, 580人	5, 472人
	事業費		878, 000千円	870, 000千円	853, 000千円
	子ども医療費助成		101, 000人	同左	同左
	事業費		4, 095, 851千円	4, 095, 851千円	4, 095, 851千円
	ひとり親家庭等 医療費助成		7, 168人	同左	同左
	事業費		253, 250千円	253, 250千円	253, 250千円
	私立幼稚園等 保護者負担軽減		11, 622人	同左	同左
	事業費		3, 637, 564千円	3, 637, 564千円	3, 637, 564千円
	学校給食費 保護者負担軽減		実施	同左	同左
	事業費		523, 874千円	523, 874千円	523, 874千円
母子家庭の就労支援		自立支援教育訓練 給付金の支給	同左	同左	
		高等技能訓練 促進費の支給	同左	同左	
事業費		36, 464千円	36, 464千円	36, 464千円	
一時保育・緊急一時保育 事業の充実		充実	同左	同左	
事業費		※※※千円	※※※千円	※※※千円	
子どもショートステイ事業		充実	同左	同左	
事業費		8, 972千円	8, 972千円	8, 972千円	

104 ファミリーサポート制度※の充実

共育プラザ内の子育てひろばを活用した、一時預かり等を行う子育てサポートひろば事業の推進等、多様化する依頼内容に対応していくため、協力会員の増強及びサブリーダーの発掘に努め、地域力を活かした子育て支援事業の充実を図ります。

※ファミリーサポート制度：育児援助を行いたい人と受けたい人を会員組織化し、援助活動を行うことで子育て世帯への育児を支援する制度。

施策コード	104	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
ファミリーサポート制度の 充実		協力会員及びサブリー ダー等の充実	同左	同左
事業費		10, 204千円	※※※千円	※※※千円

105 地域における子どもの居場所づくり

地域、学校及び保護者の連携を推進し、子どもたちの豊かな人間性を育みます。

106 幼児・児童虐待防止体制の充実

育児支援ヘルパー派遣事業等の児童虐待予防事業の充実を図るとともに、子どもの保護に関する地域協議会を中心に、関係機関と連携しつつ、地域における児童虐待防止活動等の充実を図ります。併せて、育児不安等を抱える保護者に対するグループミーティング、個別相談等を実施し、児童虐待防止のための支援としくみづくりを推進します。

また、児童に対する虐待の未然防止・早期発見等を含めた、子育てに関する総合的な相談・支援を実施する子ども家庭支援センターにおいて、児童相談所等の専門機関との連携を深める等の体制整備を一層推進します。

施策コード		106	年次計画		
計画事業内容			24年度	25年度	26年度
虐待防止のための支援としくみづくり	予防事業の充実 関係機関との連携強化	予防事業の充実		同左	同左
		関係機関との連携強化		同左	同左
	事業費		6,594 千円	7,000 千円	7,000 千円
	相談支援等の充実	MCG※の実施		同左	同左
		育児ストレス相談 再掲 101		同左	同左
		虐待予防検討会の運営 12回		同左	同左
	事業費		480千円	500千円	500千円
子ども家庭支援センター の充実 再掲 101		関係機関との連携強化		同左	同左
		子育て支援事業の実施		同左	同左
事業費			—— 千円	—— 千円	—— 千円

※MCG（マザーアンドチャイルドグループ）：児童虐待、育児困難等を抱える母親等がグループに参加し、親子の関係づくり、問題解決等を図る事業。

「—」：事業費は、子ども家庭支援センターの充実(施策コード 101)の中で計上しています。

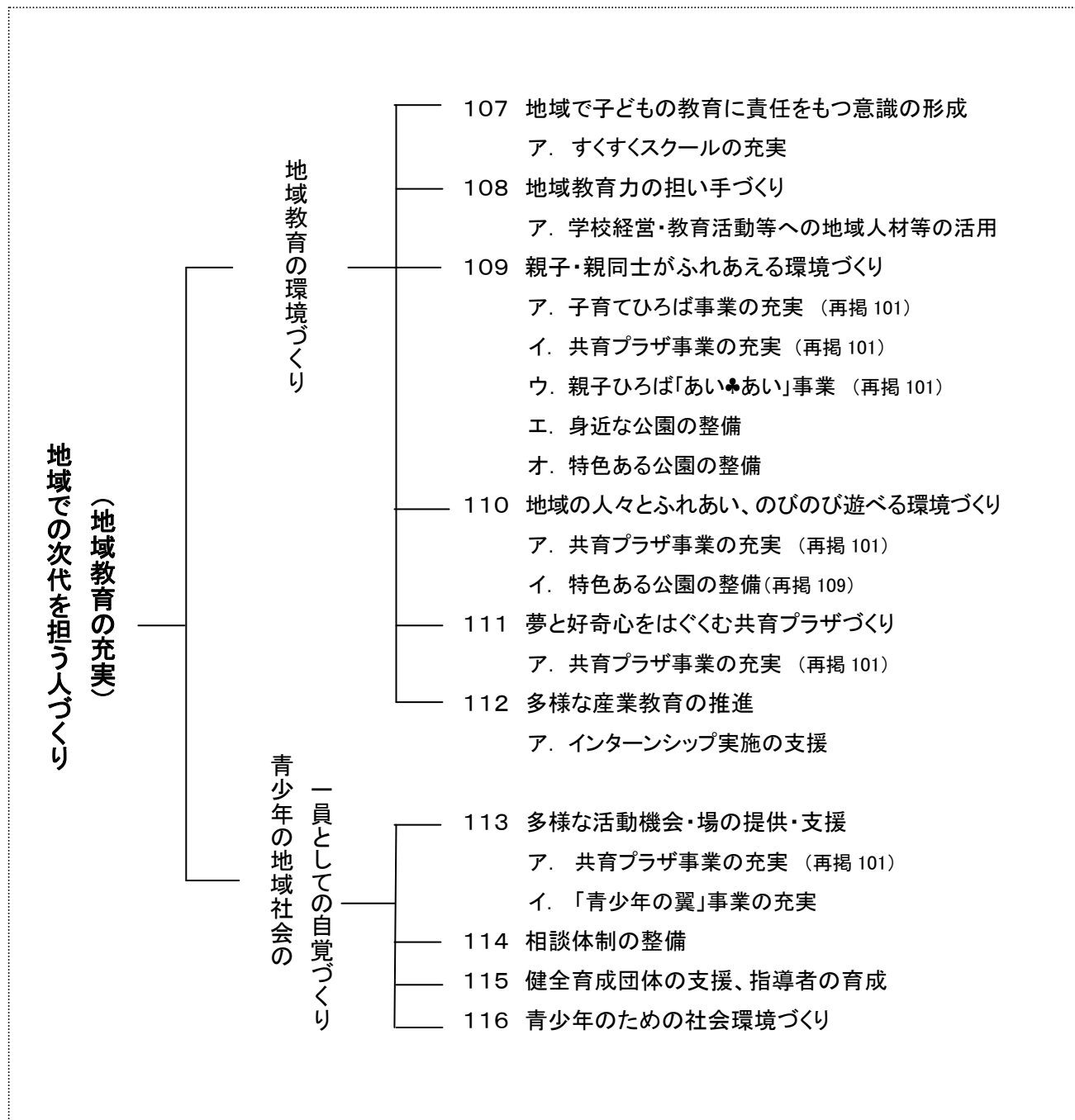
2 地域での次代を担う人づくり(地域教育の充実)

【施策の考え方】

一人ひとりのライフスタイルが一層多様化する中で、子どもたちが地域に愛着をもち、次代の地域社会を担う人材となるよう、地域の人々がともに支えあって教育していくことが大切です。

子ども会活動等への多くの地域ボランティアの関わり、親と子の貴重なふれあいの場となる親水公園等豊かな自然、町会、自治会等のしっかりしたコミュニティの存在、このような子どもを教育していくための恵まれた環境を活かして、次代を担う人づくりを進めます。

【施策体系図】



(1)地域教育の環境づくり

107 地域で子どもの教育に責任をもつ意識の形成

地域・学校・保護者の連携によって、児童が多くの人と交流することで、創造性・自主性・社会性が養われ、豊かな人間性を育みます。

施策コード	107	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
すくすくスクールの充実		地域・学校との連携強化	同左	同左
事業費		1, 071, 159千円	1, 071, 159千円	1, 071, 159千円

108 地域教育力の担い手づくり

地域住民が積極的に学校支援活動に参加し、地域の資源・人材の活用により、学校を支援することで、学校の教育活動をより効果的に推進します。また、地域住民と児童生徒との異世代交流を通して、地域の教育力の向上を図ります。

施策コード	108	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
学校経営・教育活動等への 地域人材等の活用		学校応援団の実施 小学校73校 中学校33校	同左	同左
事業費		12, 105千円	12, 000千円	12, 000千円

109 親子・親同士がふれあえる環境づくり

子ども家庭支援センター及び共育プラザ内の子育てひろばにおける育児相談、子育て講座等を実施するとともに、父親も積極的に育児や地域の子育て活動に参加できる体制づくりを進め、妊娠届時、新生児訪問、乳児検診時等から養育支援が必要な家庭を早期に発見し、家庭訪問や個別相談、グループ支援等の早期支援を行います。

また、区内の自然、施設等を活用し、親子・親同士がふれあえる環境を整備します。

施策コード		109	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度	
子育てひろば事業の充実	子育てひろば (健康サポートセンター) 再掲 101	育児相談等 常設 6か所 定期 2か所	同左	同左	
	事業費	—— 千円	—— 千円	—— 千円	
	子育てひろば (共育プラザ及び 子ども家庭支援センター) 再掲 101	運営の充実	同左	同左	
	事業費	—— 千円	—— 千円	—— 千円	
	子育てひろば (グリーンパレス) 再掲 101	運営の充実	同左	同左	
	事業費	138千円	※※※千円	※※※千円	
	子育てひろば (民間ひろば) 再掲 101	民間ひろばの助成 1 か所	民間ひろばの助成及び その検証	同左	
	事業費	7, 500千円	※※※千円	※※※千円	
共育プラザ事業の充実 (子育て支援、世代間交流、 中高生の活動支援) 再掲 101		運営の充実	同左	同左	
事業費		—— 千円	—— 千円	—— 千円	
親子ひろば「あい♣あい」事業 再掲 101		実施	同左	同左	
事業費		40, 324千円	40, 324千円	32, 993千円	
身近な公園の整備		4箇所	同左	同左	
事業費		122, 000千円	122, 000千円	122, 000千円	
特色ある公園の整備		整備の検討	設計	整備	
事業費		0千円	3, 000千円	3, 000千円	

「ー」:事業費は、共育プラザ事業の充実及び子ども家庭支援センターの充実(施策コード 101)の中で計上しています。

110 地域の人々とふれあい、のびのび遊べる環境づくり

各地域の共育・協働を実践する拠点である共育プラザにおいて、中高生の活動支援、乳幼児の保護者の子育て支援等を行うとともに、世代間交流を通じて次代の親としての学びの場づくりの一層の充実を図ります。

また、花や緑あふれ、自然とふれあえる公園、農地を活用した公園、様々な世代が自由に遊べる公園等、特色のある様々な公園を各地域に整備していきます。

施策コード	110	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
共育プラザ事業の充実 (子育て支援、世代間交流、 中高生の活動支援) 再掲 101		運営の充実	同左	同左
事業費		—— 千円	—— 千円	—— 千円
特色ある公園の整備 再掲 109		整備の検討	設計	整備
事業費		0 千円	3, 000千円	30, 000千円

「ー」:事業費は、共育プラザ事業の充実(施策コード 101)の中で計上しています。

111 夢と好奇心をはぐくむ共育プラザづくり

各地域の共育・協働を実践する拠点である共育プラザにおいて、中高生の活動支援、乳幼児の保護者の子育て支援等を行うとともに、世代間の交流を通じた次代の親としての学びの場づくりの一層の充実を図ります。

施策コード	111	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
共育プラザ事業の充実 (子育て支援、世代間交流、 中高生の活動支援) 再掲 101		運営の充実	同左	同左
事業費		—— 千円	—— 千円	—— 千円

「ー」:事業費は、共育プラザ事業の充実(施策コード 101)の中で計上しています。

112 多様な産業教育の推進

産業界、青年会議所・各種産業団体との連携を図りながら、インターンシップを受け入れる企業等を紹介し、その実施を支援します。

施策コード	112	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
インターンシップ実施の支援		実施	同左	同左
事業費		0千円	0千円	0千円

(2) 青少年の地域社会の一員としての自覚づくり

113 多様な活動機会・場の提供・支援

各地域の共育・協働を実践する拠点である共育プラザにおいて、中高生の活動支援等を行うとともに、世代間交流を通じた次代を担う青少年の健全な育成を促進します。

青少年を世界各国へ派遣し、ホームステイや文化体験等の幅広い体験を通して国際感覚を培った次代を担う人材の育成を図ります。また、青少年の翼に参加した団員が、その後も地域等でさらに活躍できるよう支援します。

施策コード	113	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
共育プラザ事業の充実 (子育て支援、世代間交流、 中高生の活動支援) 再掲 101		運営の充実	同左	同左
事業費		—— 千円	—— 千円	—— 千円
「青少年の翼」事業の充実		派遣先 5か国 派遣人数 100人	同左	同左
事業費		—— 千円	—— 千円	—— 千円

「—」:事業費は、共育プラザ事業の充実(施策コード 101)、「青少年の翼」事業の充実(施策コード 221)の中で計上しています。

114 相談体制の整備

ユースワーカー※、大学生等が青少年の日常的な悩みの相談相手となるようなしくみを整えるとともに、教育研究所※等の活用を図ります。

※ユースワーカー:比較的青少年に近い年齢で、ある程度の専門性をもち、青少年活動の支援を通じて青少年に社会活動のきっかけを与える人。

※教育研究所:教育課題に対する調査研究、児童・生徒等を対象とした各種相談、教育に関する視聴覚教材・機材の貸出を行う教育機関。

115 健全育成団体の支援、指導者の育成

地区委員会、子ども会等の健全育成団体を支援するとともに、ジュニアリーダー※、ユースワーカー等の指導者を育成します。

※ジュニアリーダー:子ども会の中で、レクリエーションの指導、行事の企画立案運営の援助等をする中高校生。

116 青少年のための社会環境づくり

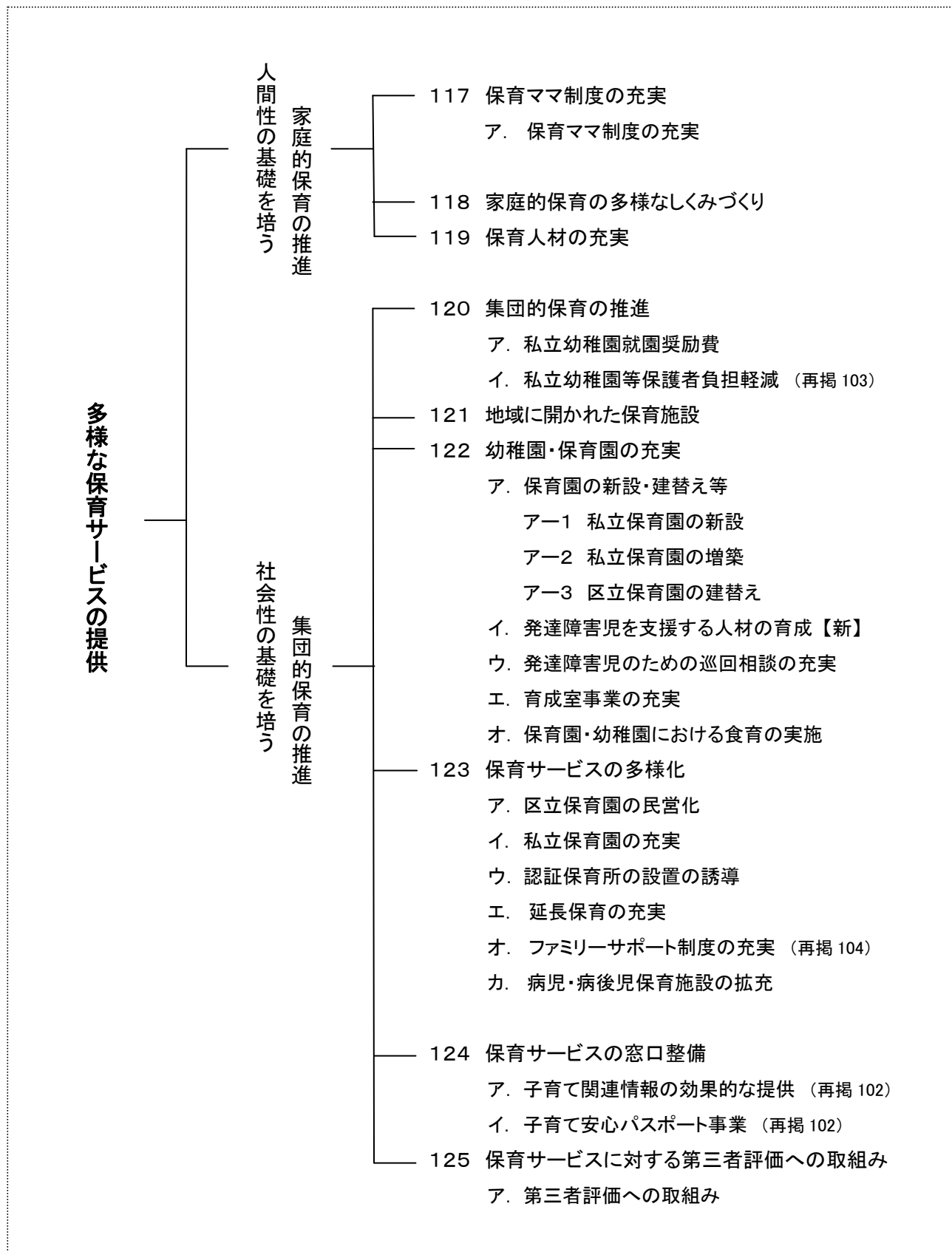
家庭、学校、地域社会、健全育成団体等が連携し、青少年のための健全な社会環境づくりを進めます。

3 多様な保育サービスの提供

【施策の考え方】

区では、0～2歳児の低年齢期は家庭で保育する世帯が多く、3～5歳児の幼年期はその9割以上が集団保育です。低年齢児保育へのニーズ、女性の就労の増加等に伴う長時間保育に対する期待等、様々な保育需要に柔軟に対応するために、多様な保育サービスが提供できるしくみづくりに取組みます。

【施策体系図】



(1) 人間性の基礎を培う家庭的保育の推進

117 保育ママ制度の充実

0歳児保育の区民ニーズを見極めながら、ぬくもりと愛情あふれる家庭的保育の「保育ママ制度」を維持・充実させていきます。

また、人材の確保、研修や巡回指導による保育ママの資質向上に努め、「安全・安心な保育」を推進していきます。

施策コード	117	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
保育ママ制度の充実		制度の充実	同左	同左
事業費		493, 138千円	493, 138千円	493, 138千円

118 家庭的保育の多様なしくみづくり

ファミリーサポート協力会員が、共育プラザの子育てひろばにおいて、一時預かりを行う子育てサポートひろば事業を実施する等の地域力を活かした子育て支援を推進します。

119 保育人材の充実

地域の保育人材を発掘し、その積極的な活用を図ります。

(2) 社会性の基礎を培う集团的保育の推進

120 集团的保育の推進

満3～5歳における、地域の人々、子ども同士等の関わりを重視した集团的保育(教育)を推進するため、子どもの就園を奨励し、保護者の負担を軽減するための支援を行います。

施策コード	120	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
私立幼稚園就園奨励費		8, 000人	同左	同左
事業費		868, 817千円	868, 817千円	868, 817千円
私立幼稚園等 保護者負担軽減 再掲 103		11, 622人	同左	同左
事業費		3, 637, 564千円	3, 637, 564千円	3, 637, 564千円

121 地域に開かれた保育施設

地域に開かれた、安全な保育施設の整備に努めます。

122 幼稚園・保育園の充実

平成24年度に一之江地区に私立保育園を開設します。また、区立葛西保育園を老朽化に伴い建替えます。また、発達に課題を抱える子どもへの理解を深め、保護者への適切な対応や支援ができる職員を育成します。

さらに、育成室において機能訓練、相談等を実施するとともに、巡回発達相談の充実を図り、障害児の成長を支援します。

施策コード		122	年次計画		
計画事業内容			24年度	25年度	26年度
保育園の新設・建替え等	私立保育園の新設		1 園 (民営化園を除く)	同左	
	私立保育園の増築		1 園		
	区立保育園の建替え		(区立) 葛西保育園		
事業費			286, 494千円	※※※千円	
発達障害児を支援する 人材の育成 【新】			人材育成 関係機関との連携強化	同左	同左
事業費			125千円	※※※千円	※※※千円
発達障害児のための 巡回相談の充実			巡回相談の充実	同左	同左
事業費			4, 600千円	4, 600千円	4, 600千円
育成室事業の充実			療育の充実	同左	同左
			発達相談の充実	同左	同左
事業費			138, 000千円	138, 000千円	138, 000千円
保育園・幼稚園における 食育の実施			普及啓発	同左	同左
事業費			855千円	※※※千円	※※※千円

123 保育サービスの多様化

保育サービスに関する多様な需要に柔軟に対応するために、区内の私立幼稚園及び私立保育園で構成する社会福祉法人えどがわによる保育園運営を行い、区立保育園の民営化の促進を図ります。併せて、私立保育園の特長を活かした保育を充実させるとともに、地域の需要を見極めつつ、認証保育所及び病児・病後児保育施設の設置を支援し、多様な保育サービスの整備に努めます。

※ 認証保育所: 大都市特有のニーズに対応するため、東京都が独自基準により認証した保育所。

※ 認定こども園: 幼稚園、保育所等のうち、東京都が認めた、就学前の教育・保育を一体として捉え一貫して提供する施設。

施策コード	123	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
区立保育園の民営化		2園	1園	計画実施
事業費		※※※千円	※※※千円	※※※千円
私立保育園の充実		保育内容の充実	同左	同左
事業費		6, 884, 060千円	※※※千円	※※※千円
認証保育所の設置の誘導		地域需要等の把握 必要地域への設置誘導	同左	同左
事業費		※※※千円	※※※千円	※※※千円
延長保育の充実		充実	同左	同左
事業費		※※※千円	※※※千円	※※※千円
ファミリーサポート制度の充実 再掲 104		協力会員及びサプリー ダー等の充実	同左	同左
事業費		10, 204千円	※※※千円	※※※千円
病児・病後児保育施設 の拡充		5か所	検討	6か所
事業費		40, 000千円	※※※千円	※※※千円

124 保育サービスの窓口整備

子育て情報コーナー及び子育て情報掲示板の活用、子育てマップ・子育てガイド等の活用、区ホームページの充実等を図ることにより、子育てに関する情報を効果的に提供するしくみを構築するとともに、子育て安心サポート事業の推進を図り、子育て支援に係る事業の利用促進等に一層努めます。

施策コード	124	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
子育て関連情報の効果的な提供 再掲 102		子育て情報掲示板(共育プラザ等)の活用	同左	同左
		子育て情報掲示板(区立保育園)の活用	同左	同左
		子育てマップ・子育てガイドの充実	同左	同左
		区ホームページ等の充実	同左	同左
事業費		1, 924千円	1, 924千円	1, 924千円
子育て安心パスポート事業 再掲 102		区立保育園全園にて実施	同左	同左
事業費		※※※千円	※※※千円	※※※千円

125 保育サービスに対する第三者評価※への取組み

保育所に係る第三者評価制度の普及・啓発・実施に努めるとともに、認証保育所について、その費用を補助することにより、第三者評価の効果的な実施を支援します。

※ 第三者評価：事業者の提供するサービスの質を公的に認められた第三者機関が専門的かつ客観的な立場から評価すること。

施策コード	125	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
第三者評価への取組み		普及・啓発・実施	同左	同左
事業費		12,800千円	※※※千円	※※※千円

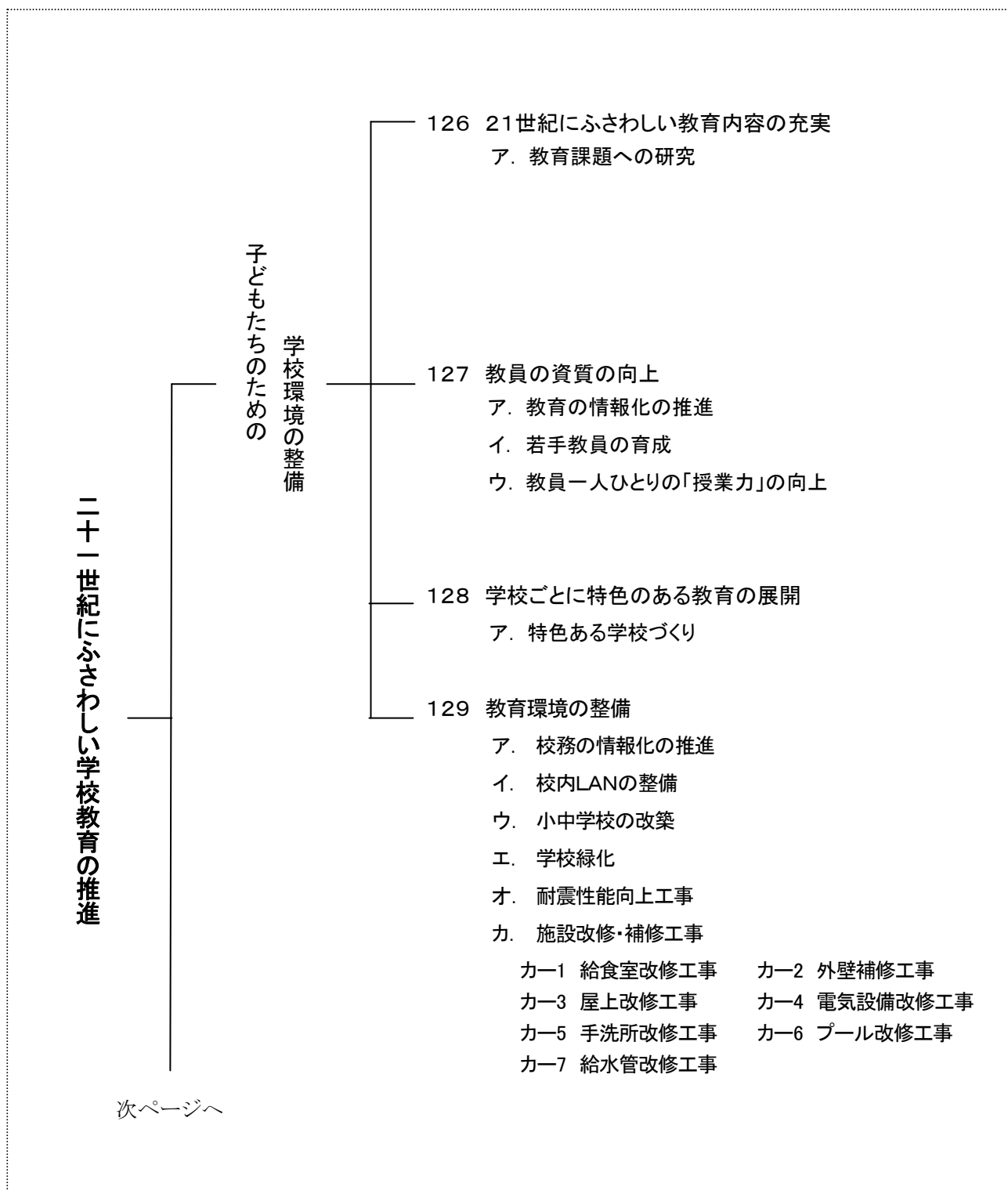
4 21世紀にふさわしい学校教育の推進

【施策の考え方】

次代を担っていく子どもたちが、未来への夢や目標を抱き、創造的で活力ある社会をめざして果敢に取り組み、世界の中で信頼される人間として成長するように21世紀にふさわしい学校教育を推進します。

このため、時代の変化に対応できる教育の展開、特色ある学校づくり、基礎学力の向上をめざした先進的取り組み、校内での相談体制の充実等による笑顔で通える学校づくり、学校と家庭、地域、関係機関との連携強化、子どもの居場所づくり等による開かれた学校づくりを進めます。

【施策体系図】



前ページより

「生きる力」を育む

教育の実践

130 いきいきと学ぶ学校づくり

- ア. 「確かな学力」の向上
- イ. 少人数指導、チーム・ティーチングによる授業の推進
(都による設置)
- ウ. 小学校外国語活動の推進
- エ. 科学教育センターの運営
- オ. チャレンジ・ザ・ドリームの充実(職場体験)
- カ. 体力の向上
- キ. 読書科の実施

131 校内での相談体制の充実

- ア. 校内相談体制の充実
- イ. 教育研究所の教育相談の充実(いじめ・不登校・
発達障害等)
- ウ. 学校サポート教室の運営
- エ. 不登校改善対策体験事業の実施
- オ. 登校サポートボランティア活用事業

特別支援教育の充実

132 特別支援教育の充実

- ア. 特別支援学級の新設
- イ. 特別支援教育の推進
- ウ. 専門家チームの派遣

開かれた学校づくり

133 学校と家庭、地域、関係機関との連携強化

- ア. 学校評価の推進

134 放課後児童の健全育成の推進

- ア. すくすくスクールの実施 (再掲 107)
- イ. 職員研修・巡回指導

135 地域の人々が集う学校づくり

- ア. 校庭・体育館・プール・特別教室等の地域開放

(1)子どもたちのための学校環境の整備

126 21世紀にふさわしい教育内容の充実

重点的な教育課題等の解決を図るため、研究項目を指定して希望校を募り、その成果について全校に普及・啓発していきます。

また、小中連携研究校については、小学校・中学校が連携及び継続して対応できるような教育システムを構築できるよう、隣接した小中学校を教育委員会が指定します。

施策コード	126	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
教育課題への研究		研究奨励校の指定 教育課題実践 推進校の指定 小中連携校の指定	同左	同左
事業費		5,950千円	5,950千円	5,950千円

127 教員の資質の向上

江戸川区学校教育情報化推進計画に基づき、教員や児童生徒による ICT の積極的かつ効果的な活用を推進し、「わかる授業」や「確かな学力の向上」に取組み、教育の質を向上させます。

平成24年度より「東京都若手教員育成研修」として1年次（初任者）～3年次の3年間の研修が、必修の研修として本則化するのに併せ、本区では独自に初任者研修Ⅱ及び4年次研修を設けて、若手教員の育成を図ります。また、教員の職層に応じた研修や本区の教育課題を踏まえた研修を行い、教員の授業力の向上に努めます。

施策コード	127	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
教育の情報化の推進		「教育の情報化」 推進委員会の運営 研修内容の充実	同左	同左
事業費		347千円	350千円	350千円
若手教員の育成		1～4年次研修 の体系化	同左	同左
事業費		1,317千円	1,317千円	1,317千円
教員一人ひとりの 「授業力」の向上		教員の職層に応じた 研修内容の充実	同左	同左
		教育課題に対応した 研修内容の充実	同左	同左
事業費		3,124千円	3,124千円	3,124千円

128 学校ごとに特色のある教育の展開

学校ごとの特色ある学校づくりを行えるよう支援します。

施策コード	128	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
特色ある学校づくり		学校いきいき活動 プラン	同左	同左
事業費		19,100千円	19,100千円	19,100千円

129 教育環境の整備

平成20年度に整備した校務用パソコンを活用し、校内情報及び教員間の情報を共有し、さらなる校務の効率化を図り、教育効果を向上させます。学校ホームページや連絡メール配信システム等 ICT を効果的に活用し、家庭・地域との連携を強化することで、開かれた学校づくりを推進します。

老朽化の進んでいる学校施設の改築を実施し、安全・安心な施設整備を行います。また、改築に際しては、環境に配慮した学校づくりを進めるとともに、実情に合わせて地域のニーズに配慮した施設整備を行っていきます。

建物のさらなる安全性確保のため、補強が必要な校舎・屋内運動場の耐震性能向上工事を実施するとともに、屋上緑化を推進します。加えて、給食室やプール等の必要な改修等を実施します。

施策コード		129	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度	
校務の情報化の推進		小学校73校 中学校33校	同左	同左	
事業費		529, 325千円	500, 000千円	500, 000千円	
校内LANの整備		小学校73校 中学校33校	同左	同左	
事業費		445, 042千円	450, 000千円	440, 000千円	
小中学校の改築		改築工事 3校	改築工事 4校	改築工事 2校	
事業費		4, 785, 000千円	6, 435, 000千円	3, 300, 000千円	
学校緑化		屋上緑化 1校	屋上緑化 3校	屋上緑化 3校	
事業費		2, 100千円	6, 300千円	6, 300千円	
耐震性能向上工事		小学校 6校 中学校 4校	小学校 5校	小学校 5校	
事業費		627, 663千円	155, 000千円	155, 000千円	
施設改修・補修工事	給食室改修工事	小学校 2校 中学校 1校	小学校 1校 中学校 1校	小学校 2校	
	事業費	306, 540千円	204, 000千円	204, 000千円	
	外壁補修工事	小学校 3校 中学校 3校	小学校 1校 中学校 5校	小学校 5校	
	事業費	404, 158千円	402, 000千円	335, 000千円	
	屋上改修工事	小学校 1校	小学校 2校 中学校 1校	小学校 2校 中学校 1校	
	事業費	42, 000千円	126, 000千円	126, 000千円	
	電気設備改修工事	小学校 1校	小学校 1校	小学校 1校	
	事業費	56, 393千円	60, 000千円	60, 000千円	
	手洗所改修工事	小学校 7校 中学校 1校	小学校 8校 中学校 2校	小学校 5校 中学校 2校	
	事業費	322, 571千円	402, 500千円	281, 750千円	
	プール改修工事	小学校 3校 中学校 1校	小学校 2校	小学校 1校 中学校 1校	
	事業費	252, 000千円	126, 000千円	126, 000千円	
	給水管改修工事	小学校 5校 中学校 1校	小学校 4校 中学校 1校	小学校 2校 中学校 2校	
	事業費	252, 000千円	210, 000千円	168, 000千円	

(2)「生きる力」を育む教育の実践

130 いきいきと学ぶ学校づくり

「全国学力・学習状況調査」及び「東京都児童・生徒の学力向上を図るための調査」を全校実施します。その結果を各学校が分析し、「確かな学力向上推進プラン」において改善策を示していきます。併せて、東京都教育委員会の指導方法工夫改善加配(少人数指導、ティーム・ティーチング※による授業の推進)を活用してきめ細やかな指導をしていきます。

また、小学校における外国語活動の推進、職場体験を実施するチャレンジ・ザ・ドリーム、科学教育センターの運営等により、時代の変化に対応できる様々な能力と想像性を育みます。そして、体力テストを実施し、子どもたちの体力の実態を把握するとともに、その向上を図るため、体育活動の充実等に努めます。

平成24年から2か年の移行措置期間を設け、平成26年度に読書科を完全実施します。

※ティーム・ティーチング：一つの授業を複数の教師で行うこと。理解に応じた個別指導ができるメリットがある。

施策コード	130	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
「確かな学力」の向上	各学校独自の「確かな学力向上推進プラン」を策定	同左	同左	同左
	全国学力・学習状況調査の全校実施	同左	同左	同左
事業費	23, 258千円	23, 258千円	23, 258千円	23, 258千円
少人数指導、ティーム・ティーチングによる授業の推進 (都による設置)	小学校73校 中学校19校	同左	同左	同左
事業費	0千円	0千円	0千円	0千円
小学校外国語活動の推進	ALTの派遣	同左	同左	同左
事業費	82, 038千円	82, 038千円	82, 038千円	82, 038千円
科学教育センターの運営	小学校 9センター 中学校 5センター	同左	同左	同左
	科学教育センター 推進委員会の運営	同左	同左	同左
事業費	20, 258千円	20, 258千円	20, 258千円	20, 258千円
チャレンジ・ザ・ドリームの 充実(職場体験)	実施及び検討	同左	同左	同左
事業費	4, 079千円	4, 869千円	4, 079千円	4, 079千円
体力の向上	体力テストの全校 実施	同左	同左	同左
	生活リズム向上 公開講座の全校実施	同左	同左	同左
	体力向上委員会 の運営	同左	同左	同左
	スポーツ教育推進校 の指定	同左	同左	同左

事業費	13, 772千円	13, 772千円	13, 772千円
読書科の実施	読書科の開設 移行措置を 伴って実施	読書科完全実施 に向けた移行措置	読書科完全実施
事業費	104千円	0千円	0千円

131 校内での相談体制の充実

いじめや不登校、発達等の様々な問題に対して、児童・生徒一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導等を行うため、スクールカウンセラー※と連携しつつ、校内の相談体制の整備を図ります。併せて、関係機関との連携を深め、教育研究所の機能を充実します。

また、学校・教育相談室において、不登校の児童・生徒に対して、基礎学力の向上、生活リズムの定着及びコミュニケーション能力を高める指導を行うとともに、学校及び家庭との協力を得ながら、子どもたちの学校復帰を支援します。併せて、地域ボランティアの協力を得ながら、不登校の傾向にある子どもたちの自主・自律性の向上を支援するとともに、登校サポートボランティア※を学校に派遣し、不登校の解消へつなげていきます。

※ **スクールカウンセラー**: 学校において児童・生徒の悩みの相談に応じる等教員の児童・生徒理解について指導・助言を行う人。

※ **登校サポートボランティア**: 不登校児のいる家庭等に、心理等を修学している大学院生、地域人材等を派遣し、話し相手をしながら、登校刺激を行うボランティア。

施策コード	131	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
校内相談体制の充実		スクールカウンセラーの 全校配置	同左	同左
事業費		52, 502千円	52, 502千円	52, 502千円
教育研究所の教育相談の 充実(いじめ・不登校・発達 障害等)		相談室4箇所	相談室4箇所	相談室4箇所
事業費		8, 448千円	8, 448千円	8, 448千円
学校サポート教室 の運営		6箇所	6箇所	6箇所
事業費		9, 488千円	9, 488千円	9, 488千円
不登校改善対策体験事業 の実施		10事業	検討・実施	検討・実施
事業費		1, 834千円	1, 834千円	1, 834千円
登校サポートボランティア 活用事業		実施	実施	実施
事業費		8, 635千円	8, 635千円	8, 635千円

(3) 特別支援教育の充実

132 特別支援教育の充実

LD※、ADHD※、高機能自閉症※等を含めた障害のある児童・生徒一人ひとりに応じた、適切な教育支援を行うとともに、特別支援教育※の一層の理解促進に努めます。

また、児童・生徒数の増加に伴い、必要に応じて特別支援学級を設置していきます。

※LD(Learning Disabilities):学習障害(基本的には全般的な知的発達に遅れはないが、聞く、話す、読む、書く、計算する又は推論する能力のうち特定のものの習得と使用に著しい困難を示す様々な状態を指すもの)。

※AD/HD(Attention Deficit / Hyperactivity Disorder):注意欠陥多動性障害(不注意、多動性及び衝動性を中心とした症状とする発達障害)。

※高機能自閉症:他人との社会的関係の形成の困難さ、言葉の発達の遅れ、興味や関心が狭く特定のものにこだわることを特徴とする行動の障害である自閉症のうち、知的発達の遅れを伴わないもの。

※特別支援教育:障害のある幼児児童生徒の自立、社会参加に向けた主体的な取組等を支援するという視点に立ち、幼児児童生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活及び学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うもの。

施策コード	132	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
特別支援学級の新設		知的障害・中学校 開設準備	知的障害・中学校開設 船堀小学校 開設準備	船堀小学校 開設 春江小学校 開設準備
事業費		48,000千円	8,000千円	8,000千円
特別支援教育の推進		特別支援教育推進校 の指定	同左	同左
		校内研修の実施	同左	同左
		専門研修の実施	同左	同左
事業費		7,033千円	7,033千円	7,033千円
専門家チームの派遣		実施	同左	同左
事業費		1,772千円	1,772千円	1,772千円

(4) 開かれた学校づくり

133 学校と家庭、地域、関係機関との連携強化

全校に保護者及び地域の学校関係者等からなる学校関係者評価委員会を設置します。学校関係者評価委員会による学校評価を実施し、学校・家庭・地域が一体となった学校づくりを行い、学校の教育力の向上を図ります。

施策コード	133	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
学校評価の推進		学校評価報告書 の改訂	学校関係者評価委員 会の全校設置	学校関係者評価委員に よる学校評価 の実施
事業費		0千円	0千円	0千円

134 放課後児童の健全育成の推進

放課後等の学校施設を有効に活用しながら、地域、学校及び保護者の連携を推進し、様々な体験を通して、子どもたちの豊かな人間性を育むことを図るため、学童クラブの機能を包摂したすくすくスクール事業の一層の充実に努めます。また地域ボランティアによるサポートセンターの働きかけをさらに推進し、各地域の特色ある活動を支援します。

さらに、配慮を要する児童の受入れに対応するため、各すくすくスクール職員を対象にした研修・巡回指導を実施します。

施策コード	134	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
すくすくスクールの充実 再掲 107		地域・学校との連携強化	同左	同左
事業費		1, 071, 159千円	1, 071, 159千円	1, 071, 159千円
職員研修・巡回指導		実施 (12校・年3回)	同左	同左
事業費		1, 149千円	1, 149千円	1, 149千円

135 地域の人々が集う学校づくり

学校施設を地域の文化・スポーツ活動の拠点として位置付け、区民が利用しやすい施設整備、設備の充実を行うことで、区民の誰もが参加できる文化・スポーツ活動を支援します。

施策コード	135	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
校庭・体育館・プール・ 特別教室等の地域開放		小学校 73校 中学校 33校	同左	同左
事業費		46, 492千円	46, 492千円	46, 492千円

第2節

学びと協働による 区民文化づくり

- 1 人生を豊かにする生涯学習
 - (1)時代にふさわしい生涯学習機会の提供
 - (2)生涯学習の裾野を広げるしくみづくりと学習成果の活用
- 2 江戸川区の良さを活かしたボランティア活動とコミュニティ活動
 - (1)ボランティア立区の推進
 - (2)時代にふさわしいコミュニティの形成
- 3 創造性豊かな江戸川文化
 - (1)「江戸川文化」の創造
- 4 男女共同参画社会の推進
 - (1)性別に関係しない機会平等の社会づくり
- 5 世界の人々との交流と共生
 - (1)「地球人」の意識づくり
 - (2)世界からの人々が共生する地域社会の構築
 - (3)世界平和のためのまちづくり
- 6 安心できる消費生活
 - (1)安心できる消費生活への支援
 - (2)参加型消費者の支援

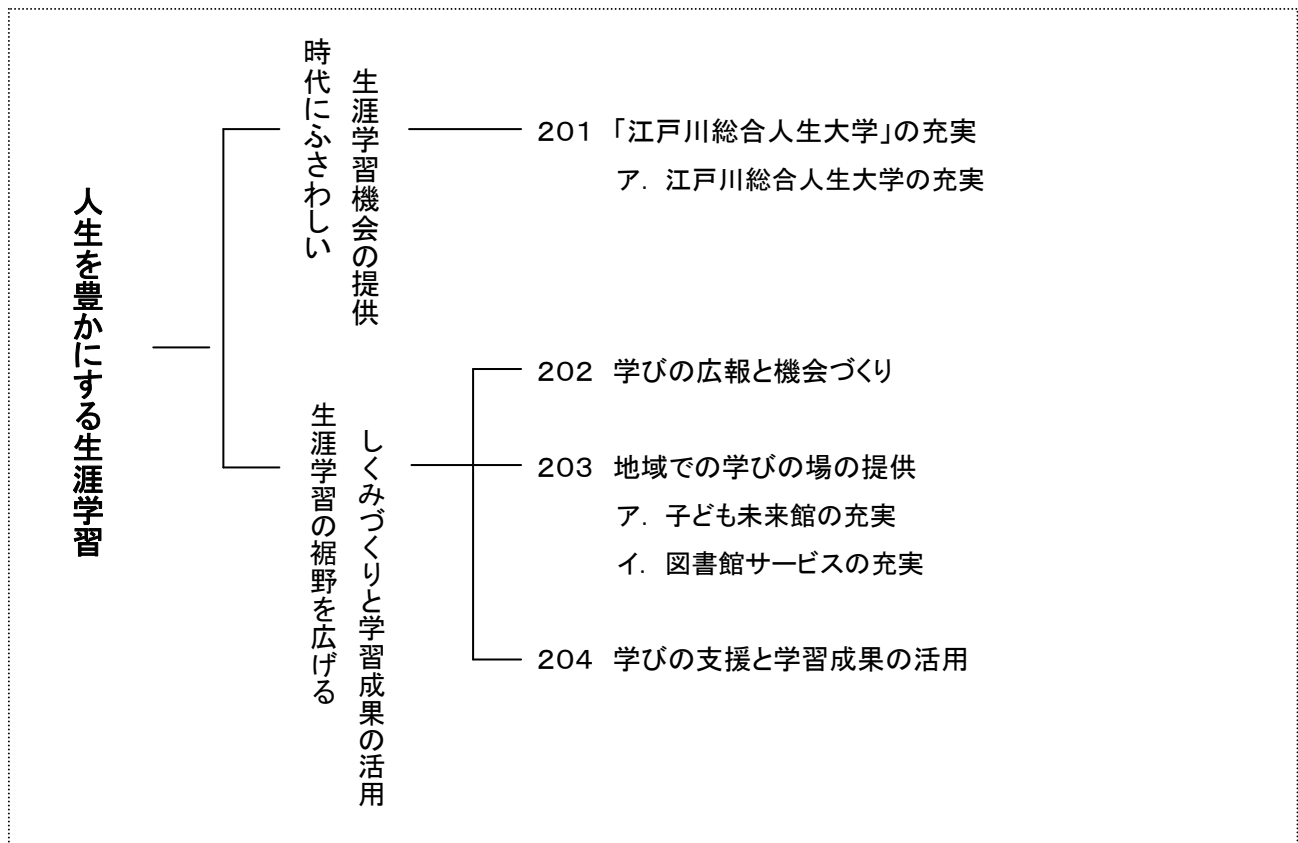
1 人生を豊かにする生涯学習

【施策の考え方】

豊かな人生とより良い地域社会を目指し、多くの区民が実りある生涯学習に取り組めるように、様々な学習の場及び機会を提供します。

また、情報の提供、相談サービス、図書館等の施設の充実等、区民の自主的な学習活動を支援するための環境づくりを行います。さらに、学習する人々の励みにもなり、地域の教育力の向上、活性化等にも繋がるよう、学習によって得られた知識、技術、経験等を活かして地域社会に寄与できるよう支援します。

【施策体系図】



(1)時代にふさわしい生涯学習機会の提供

201 「江戸川総合人生大学」の充実

これまでの人生経験や知識を活かして地域に貢献したいと考えている区民の方々に、「共育」「協働」の学びと実践を通して、自分らしい地域貢献を見つけてもらうように、より効果的に学べるカリキュラム作りに努めます。

施策コード	201	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
江戸川総合人生大学の充実		カリキュラム等の充実	同左	同左
事業費		44, 222千円	44, 222千円	44, 222千円

(2)生涯学習の裾野を広げるしくみづくりと学習成果の活用

202 学びの広報と機会づくり

一人でも多くの区民が生涯学習に参加できるように、情報技術等の活用を図り、総合人生大学、国、都、民間機関等が実施する講座等を紹介します。また、気軽に学びを体験できる機会の提供に努めます。さらに、生涯学習の裾野を広げるために、実際に学んでいる人が、学びの楽しさ、充実感等を周囲の人に伝えられるよう、その促進を図ります。

203 地域での学びの場の提供

子ども未来館では、ゼミ・クラブを中心とした半年から通年のプログラムを実施し、子どもの継続的な学び活動を進めます。

また、地域の人材に加え大学や企業、研究機関等と積極的に連携し、学校では学びにくい分野の探究型プログラムを開発、実施します。さらに、篠崎子ども図書館との一体的運営により、平日プログラムの充実を図ります。

また、時代のニーズに対応した図書資料の充実に努め、区民の様々な情報収集の要求に応えられるよう、高度なレファレンスサービスを提供します。

施策コード	203	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
子ども未来館の充実		プログラムの充実	同左	同左
事業費		50,745千円	50,745千円	50,745千円
図書館サービスの充実		図書資料の充実	同左	同左
事業費		233,313千円	233,313千円	233,313千円

204 学びの支援と学習成果の活用

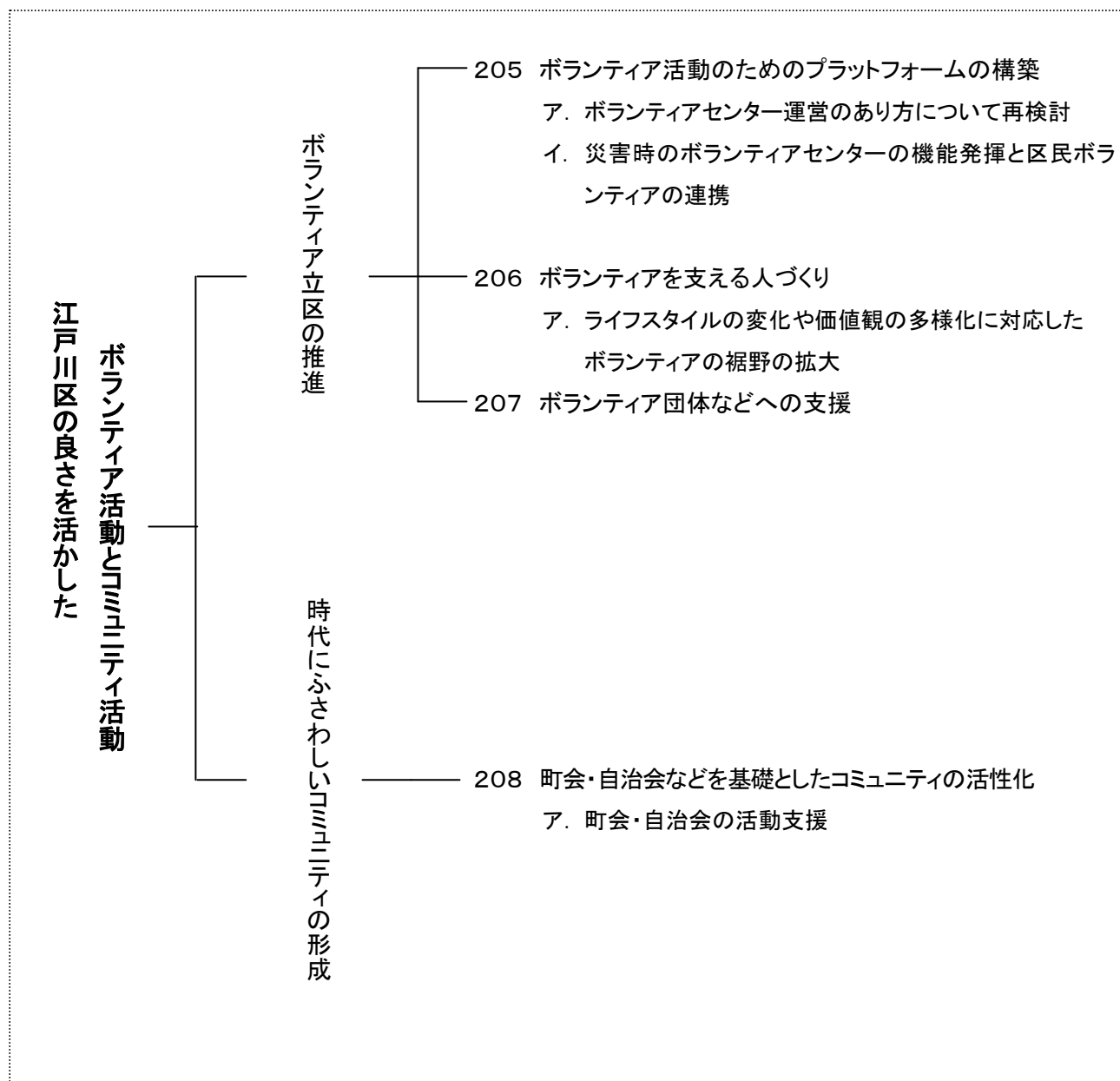
総合人生大学等における学びを契機とした区民の自発的な学習を促進するため、学習サークルを育成し、学習サークル間の連携を促進する等の、学びのネットワークづくりを支援します。また、一定の学びの成果を得た区民が、その成果を発表する場、他の区民に教える機会等の整備に努めます。

2 江戸川区の良さを活かしたボランティア活動とコミュニティ活動

【施策の考え方】

地域社会において、区民の自主的な取り組みを必要とする新たな課題が生じています。このため、区民一人ひとりがボランティアとして、活躍できるようなしくみづくりを行い、自立性の高い、思いやりと支えあいのある、豊かなコミュニティをつくります。また、町会・自治会を基礎としつつ、テーマコミュニティ等、様々なコミュニティが自主的に活発に活動できるような環境を整えます。

【施策体系図】



(1) ボランティア立区の推進

205 ボランティア活動のためのプラットフォーム※の構築

ボランティアセンターの運営主体を含め、NPO 等との連携や協働のあり方を研究することによって、さらにボランティア活動の拡大を目指します。

また、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の教訓と、10年前の阪神淡路大震災の経験を活かし、繰り返し災害に対する意識を啓蒙していくとともに、官民合同のシミュレーションを行い、災害に備えていきます。

※ プラットホーム：駅のプラットホームのように、様々なボランティア活動を支える共通の土台。

施策コード	205	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
ボランティアセンター運営のあり方について再検討		240団体の情報を提供	245団体の情報を提供	250団体の情報を提供
		メールマガジンの実施	同左	同左
		コーディネート 180件	コーディネート 190件	コーディネート 200件
		相談 460件	相談 470件	相談 480件
事業費		1, 436千円	1, 436千円	1, 436千円
災害時のボランティアセンターの機能発揮と区民ボランティアの連携		災害体験事業の見直し	災害体験事業の充実	同左
事業費		1, 730千円	1, 750千円	1, 770千円

206 ボランティアを支える人づくり

広報紙やホームページによる活動情報の収集や紹介をはじめ、区民のニーズに沿ったボランティアの裾野を拡大することで、区民のボランティア意識をさらに高めていきます。併せてボランティア組織の育成も目指していきます。

施策コード	206	年次計画		
計画事業内容	24年度	25年度	26年度	
ライフスタイルの変化や価値観の多様化に対応したボランティアの裾野の拡大	ボランティア出前講習 56校	ボランティア出前講習 58校	ボランティア出前講習 60校	
	体験先 160か所	体験先 165か所	体験先 170か所	
	ボランティア入門講座	同左	同左	
	ボランティア フェスティバル	同左	同左	
	手話講座等 5講座	同左	同左	
事業費	2, 544千円	2, 564千円	2, 584千円	

207 ボランティア団体などへの支援

ボランティア団体相互の情報交換等、連携して活動を行うネットワークづくりを支援します。

(2)時代にふさわしいコミュニティの形成

208 町会・自治会などを基礎としたコミュニティの活性化

地域の諸課題の解決を図る、町会・自治会等の地域団体による活動を様々な側面から支援します。

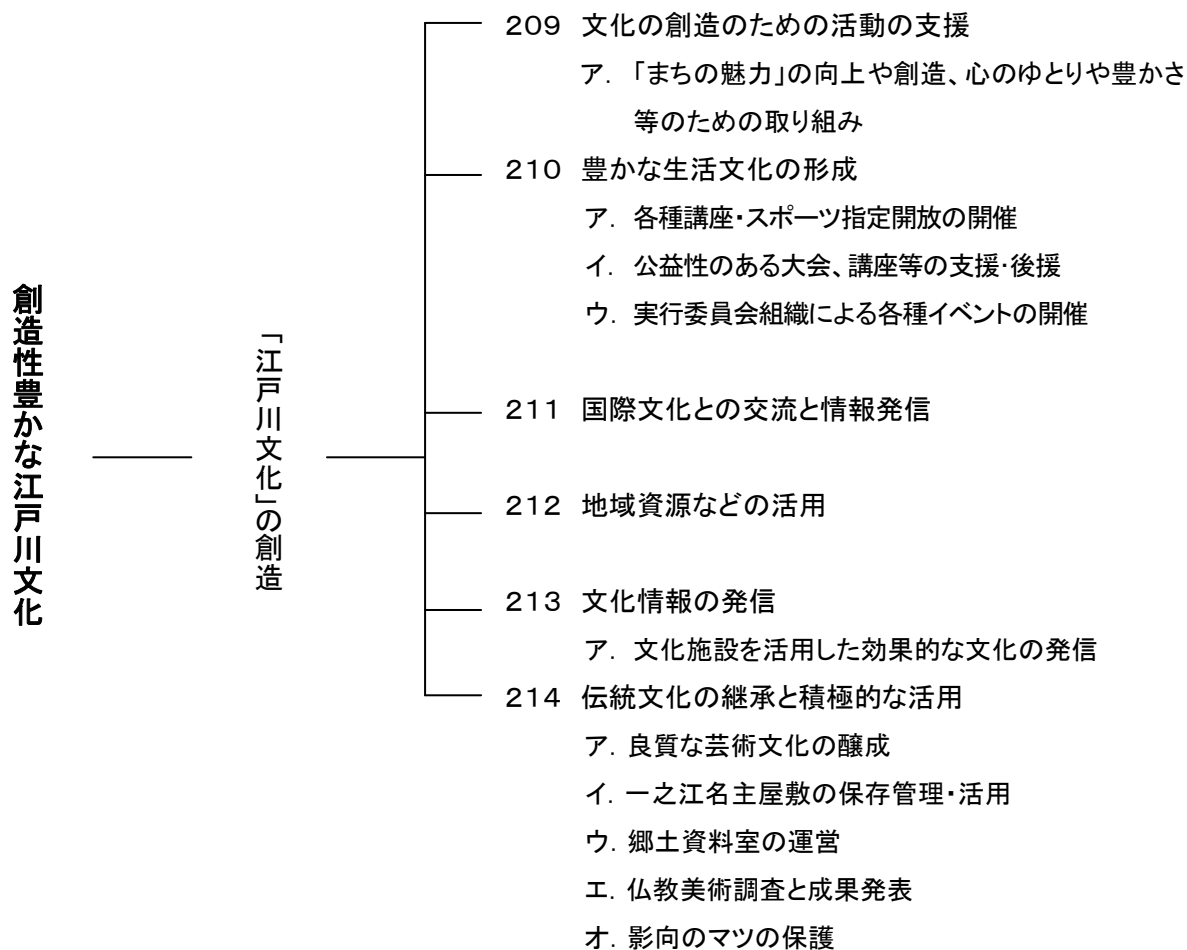
施策コード	208	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
町会・自治会の活動支援		活動支援	同左	同左
事業費		158, 369千円	158, 369千円	158, 369千円

3 創造性豊かな江戸川文化

【施策の考え方】

区は、都心から至近な位置にありながら、水と緑に恵まれ、地域の中で住み、働き、学び、憩うことができる等、うるおいと楽しさのある魅力的な都市として発展しています。このような中で、文化財、伝統工芸等の伝統文化を継承し、様々な地域の資源、特長等を活かして新たな生活文化を創造し、魅力あふれる「江戸川文化」として世界に向けて発信していく等、創造性の豊かな江戸川文化を育みます。

【施策体系図】



(1)「江戸川文化」の創造

209 文化の創造のための活動の支援

区内で活動するサークル連合会等の文化団体の活動支援や、江戸川区文化祭・文化賞表彰等を実施し、区民の文化向上につなげます。

施策コード	209	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
「まちの魅力」の向上や創造、心のゆとりや豊かさ等のための取組み		実施	同左	同左
事業費		27, 828千円	27, 828千円	27, 828千円

210 豊かな生活文化の形成

区内大会の開催等のスポーツ活動を支援し、スポーツの振興を図ります。

施策コード	210	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
各種講座・スポーツ指定開放 の開催		開催	同左	同左
事業費		17, 099千円	17, 099千円	17, 099千円
公益性のある大会、講座等 の支援・後援		支援	同左	同左
事業費		18, 708千円	17, 011千円	17, 011千円
実行委員会組織による各種 イベントの開催		実行委員会による各種 イベントの開催	同左	同左
事業費		8, 657千円	8, 121千円	8, 121千円

211 国際文化との交流と情報発信

国際的な文化イベントの開催、区民の多彩な文化交流への支援等により、親善及び相互理解が図れる機会を充実するとともに、世界に向けて江戸川文化に関する情報を発信します。

212 地域資源などの活用

区の概要を紹介する冊子を作成し、区の魅力を広く紹介します。また、多くの人々が集まるイベント等の積極的な誘致活動を展開し、地域を舞台とする様々な交流を推進します。

213 文化情報の発信

篠崎文化プラザで行う企画展示や、タワーホール船堀・総合文化センターで行うコンサートや演劇、グリーンパレスで行うイベントや発表会等、文化施設から江戸川区らしい文化の発信を行っていきます。

施策コード	213	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
文化施設を活用した効果的な文化の発信		実施	同左	同左
事業費		※※※千円	※※※千円	※※※千円

214 伝統文化の継承と積極的な活用

芸術文化の質の向上を図り、良質な「江戸川文化」を育むことで、江戸川に住みたい、江戸川に行きたいと思われるような文化を醸成していきます。また、一之江名主屋敷の保存管理や仏教美術品の調査、影響のマツの保護等を行うことにより、区の文化財の適切な保全・継承に努めます。

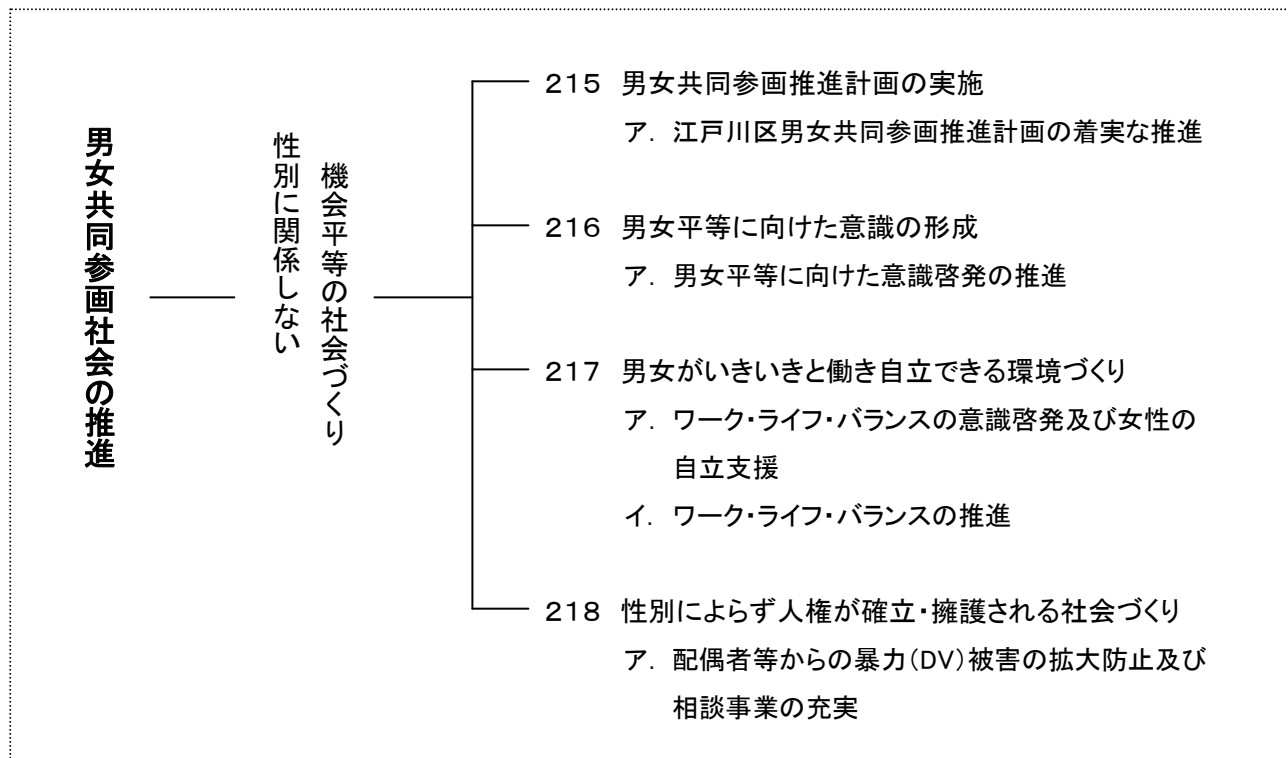
施策コード	214	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
良質な芸術文化の醸成		実施	同左	同左
事業費		1,911千円	1,911千円	1,911千円
一之江名主屋敷の 保存管理・活用		施設及び敷地景観 の維持管理 体験教室の開催	同左	同左
事業費		17,839千円	12,000千円	12,000千円
郷土資料室の運営		企画展の開催 収蔵品を活用した 体験イベントの開催	同左	同左
事業費		7,199千円	7,199千円	7,199千円
仏教美術調査と成果発表		報告書の刊行		
事業費		3,150千円		
影向のマツの保護		保護・指導	同左	同左
事業費		192千円	192千円	192千円

4 男女共同参画社会の推進

【施策の考え方】

男女がお互いに尊重しあい、その能力と個性を発揮できる地域社会の実現をめざして、男女平等の意識づくりを進め、区民と力を合わせて環境整備を行います。

【施策体系図】



(1) 性別に関係しない機会平等の社会づくり

215 男女共同参画推進計画の実施

区民等と区との協働による男女共同参画社会の実現に向けて、「江戸川区男女共同参画推進計画」の着実な推進を図ります。

施策コード	215	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
江戸川区男女共同参画推進計画の着実な推進	推進	計画の進捗状況の検証	推進	同左
事業費		222千円	222千円	222千円

216 男女平等に向けた意識の形成

男女がともに尊重しあい、それぞれの能力と個性が充分発揮できる社会の実現を目指し、より広い視野で男女共同参画の知識を区民全体に浸透させていくための意識啓発を継続していきます。

施策コード	216	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
男女平等に向けた意識啓発の推進	講演会等の開催 情報誌の発行	同左		同左
事業費		922千円	922千円	922千円

217 男女がいきいきと働き自立できる環境づくり

仕事と生活の調和を図るワーク・ライフ・バランスの意識啓発を進め、女性の自立のための就労支援講座等を実施します。

施策コード	217	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
ワーク・ライフ・バランスの 意識啓発及び 女性の自立支援		講座の開催	同左	同左
事業費		586千円	586千円	586千円
ワーク・ライフ・バランスの 推進		ワーク・ライフ・バランス 推進協議会の開催	同左	同左
		産業賞での企業表彰	同左	同左
事業費		—— 千円	—— 千円	—— 千円

「ー」:事業費は、ワーク・ライフ・バランスの推進(施策コード 606)の中で計上しています。

218 性別によらず人権が確立・擁護される社会づくり

暴力根絶の意識を広めるとともに、被害者保護のため配偶者等からの暴力に関する相談、支援の充実を図ります。

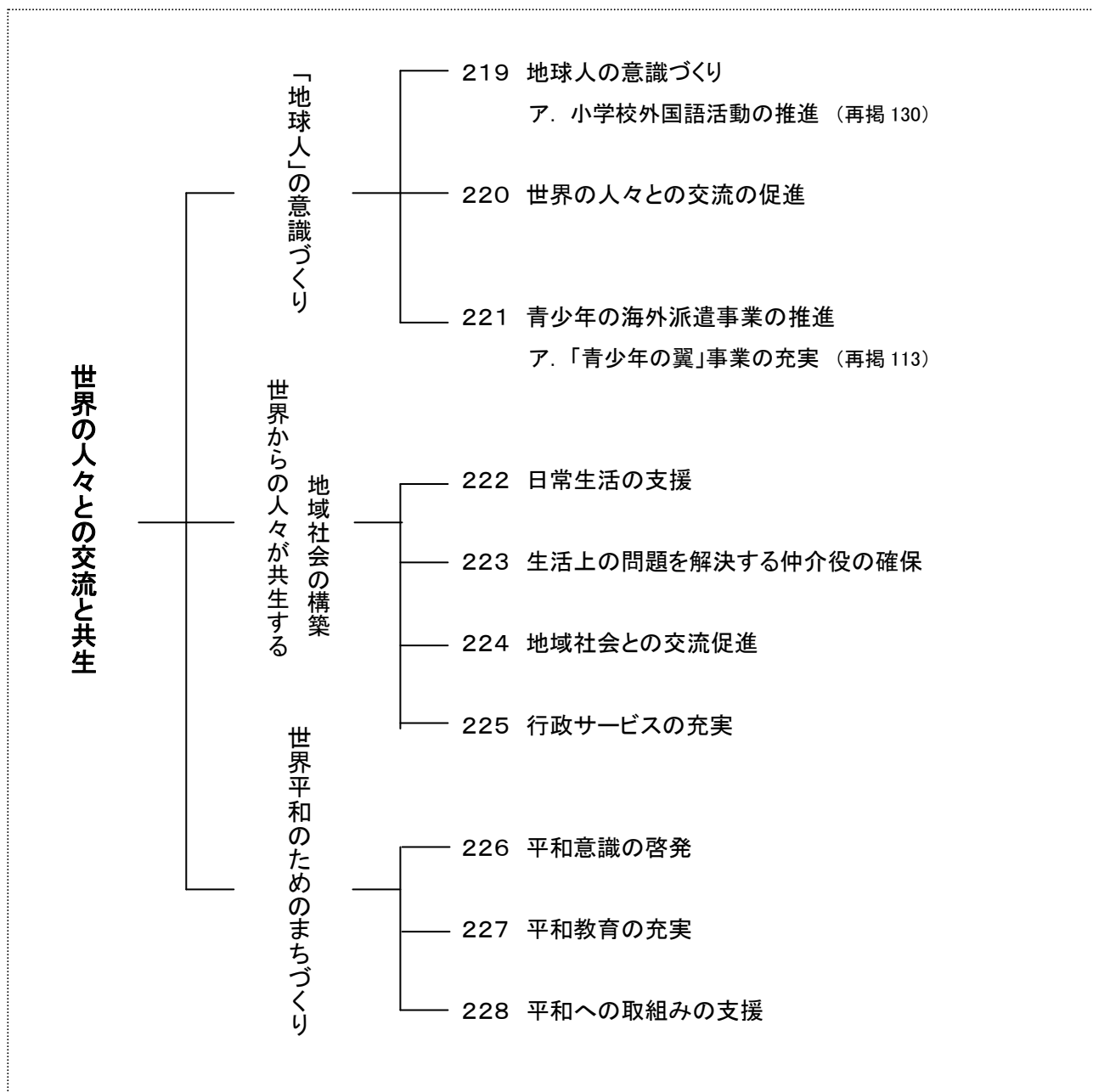
施策コード	218	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
配偶者等からの暴力(DV)被害の拡大防止及び相談事業 の充実		相談の実施	同左	同左
		啓発活動の実施	同左	同左
		DV ネットワーク会議の 開催	同左	同左
		講座の開催	同左	同左
		DV 相談カードの作成・ 配布	同左	同左
事業費		2, 169千円	2, 169千円	2, 169千円

5 世界の人々との交流と共生

【施策の考え方】

区内に住む世界からの人々が増加しています。環境、平和等地球規模の課題に対して、区民一人ひとりが、同じ地球に住む「地球人」としての発想を持ち、ともに暮らしていける環境を整えます。

【施策体系図】



(1)「地球人」の意識づくり

219 地球人の意識づくり

区立小学校に外国人英語科指導助手を配置することにより、小学校における外国語活動を推進し、国際感覚豊かな人材の育成に努めます。

地域まつりやイベントにおいて、本区の地域性や特長等を PR するとともに、区内外国人に対する防災関連情報はじめ、安心して生活するための情報提供や、各国の食文化等の紹介を通じて相互理解の促進に努めます。

また、近年広がりつつある外国人コミュニティと地域との交流拡大を支援することで、より安心して住みよい地域を目指します。

施策コード	219	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
小学校外国語活動の推進 再掲 130		ALTの実施	同左	同左
事業費		—— 千円	—— 千円	—— 千円

「ー」:事業費は、小学校外国語活動の推進(施策コード 130)の中で計上しています。

220 世界の人々との交流の促進

区内在住外国人を対象とした防災訓練の拡充や避難場所等防災に関連する必要な情報の外国語によるきめ細かな提供等、関係部署と連携しながら支援を充実していきます。

永住や就労等の長期滞在者が増加傾向にある中、引き続き子育て・教育・医療・年金等安心して生活するための相談体制や行政サービスをさらに充実していきます。

また、地域において文化や生活習慣の違いに起因する問題への対応や不当な差別を招くことのないように、外国人コミュニティにおけるキーパーソンを中心とした情報提供や相談を通じてコミュニケーションを図ります。

221 青少年の海外派遣事業の推進

青少年を世界各国へ派遣し、ホームステイや文化体験等の幅広い体験を通して国際感覚を培った次代を担う人材の育成を図ります。また、青少年の翼に参加した団員が、その後も地域等でさらに活躍できるよう支援します。

施策コード	221	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
「青少年の翼」事業の充実 再掲 113		派遣先 5か国 派遣人数 100人	同左	同左
事業費		49, 547千円	49, 547千円	49, 547千円

(2)世界からの人々が共生する地域社会の構築

222 日常生活の支援

世界からの人々が、ひとりの区民として区で安心した生活ができるように、外国語のできるボランティアによる支援をはじめ、日常生活における様々な相談及び生活支援を行います。また、様々な活動を行っている民間交流団体、ボランティアの人々等のネットワーク化を図るとともに、効果的な支援ができるように条件整備を進めます。

223 生活上の問題を解決する仲介役の確保

食生活をはじめ、文化や生活習慣の違いに起因する様々な問題について、相互に意見交換し、解決策を見出せるように、地域において仲介役のできる人を確保します。また、トラブルや不当な差別を招くことがないように、情報提供と相談に努めます。

224 地域社会との交流促進

世界からの人々が気軽に地域活動に参加できる、開かれた地域社会づくりを促進し、相互交流を通じて地域コミュニティがさらに活発になることを目指します。

225 行政サービスの充実

世界からの人々が安心した生活ができるように、相談体制の整備、防災安全対策の確立、区政情報の外国語による提供等、行政サービスをさらに充実させます。

(3)世界平和のためのまちづくり

226 平和意識の啓発

水と緑に囲まれた郷土を次世代に守り伝えていくため、生命の尊さと平和の大切さを考える機会をもつことは重要であり、「江戸川区平和都市宣言」の趣旨を踏まえて、各種のイベント等多様な機会を通じて、区民への情報提供と意識啓発に努めます。

227 平和教育の充実

戦争の悲惨な体験をされた人々の話しは、大変貴重な証言であり、後世に伝える手段として映像等記録として残し、様々な機会を通じて、世代を問わず伝えていきます。

228 平和への取組みの支援

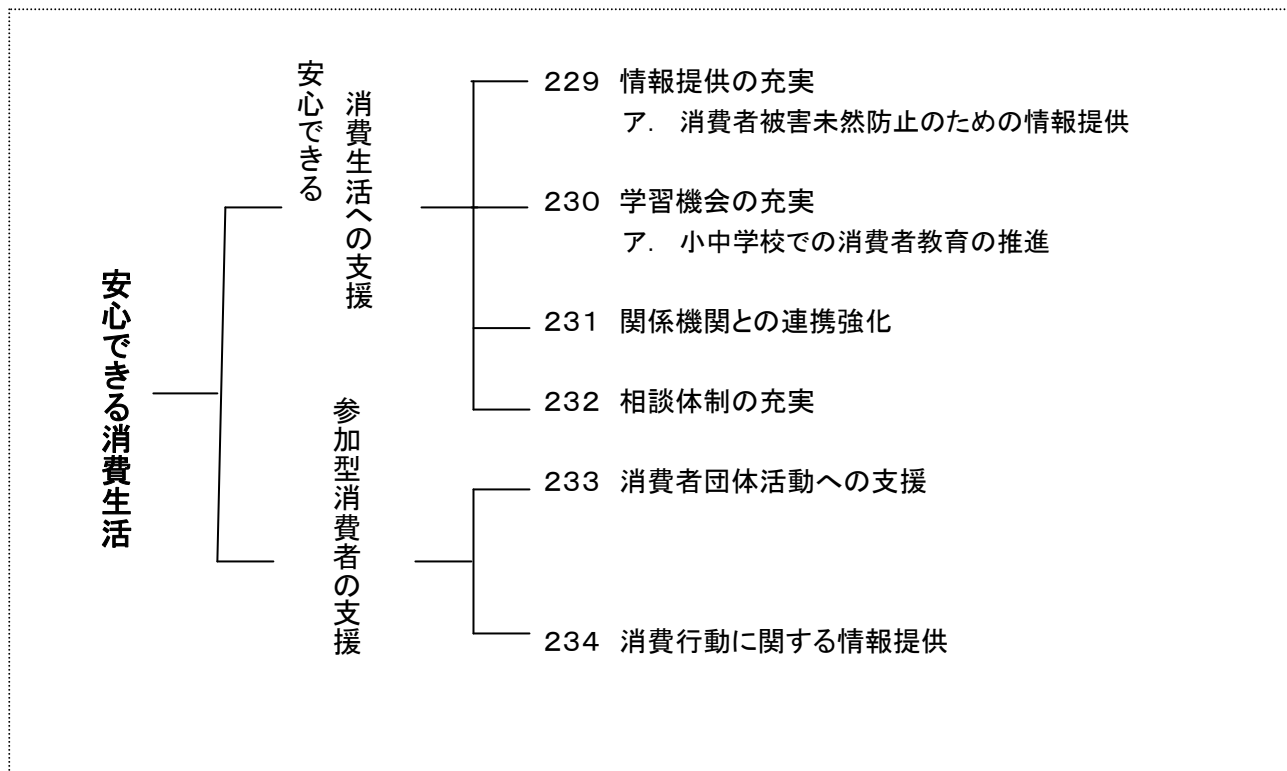
戦争の悲惨さ、生命の尊さ等について区民が改めて考える機会を提供するため、平和祈念式典の実施や平和資料の展示等、区民の自主的な取組みを支援します。

6 安心できる消費生活

【施策の考え方】

区民の消費生活における被害を防止し、区民が安全に消費生活を営むことができるようにします。また、消費者である区民が自ら主体的・合理的行動をすることにより消費生活の安全・安心を得ることができるようにします。

【施策体系図】



(1) 安心できる消費生活への支援

229 情報提供の充実

消費者教室、ホームページや各種情報紙、イベント等により、消費者被害の事例や被害を未然に防止するための情報提供を行います。

また、区民が消費生活において、適切に商品を選択し、使用・利用できるよう、消費者教育や情報提供を充実していきます。

施策コード	229	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
消費者被害未然防止のための情報提供	消費者教室・講座の実施		同左	同左
	消費生活情報紙の拡充		消費生活情報紙の発行	同左
	ホームページ全体構成の見直し		ホームページの運用	同左
	情報紙「みまもりネット」の発行		同左	同左
事業費		4,254千円	4,254千円	4,254千円

230 学習機会の充実

子どもへの消費者教育を充実させるため、教育委員会等との連携を図りながら、児童・生徒を対象とした消費者教育の充実に努めます。また、区内の小中学校を対象に、消費生活情報紙「ニュースレター」を発行・提供します。

施策コード	230	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
小中学校での消費者教育の推進		情報紙「ニュースレター」の見直し	情報紙「ニュースレター」の発行	同左
		関係部署との連携強化	同左	同左
事業費		—— 千円	—— 千円	—— 千円

「—」:事業費は、消費者被害未然防止のための情報提供(施策コード 229)の中で計上しています。

231 関係機関との連携強化

悪質商法による被害の拡大防止・未然防止を推進するため、消費者行政を担う国、都の各機関、警察等との連携をより一層強化します。併せて、消費者被害の増加傾向にある熟年者への対応として、地域包括支援センター等関係機関との連携によるネットワークを図り、被害の迅速かつ適切な被害救済と未然防止を図ります。

232 相談体制の充実

高度情報化、金融自由化等に伴う複雑契約・解決困難相談の増加に対し、相談員研修を充実するとともに、弁護士による専門アドバイスを活用していきます。

(2)参加型消費者の支援

233 消費者団体活動への支援

消費者団体が自主的・自立的に活動を展開し、区民の消費生活の向上に寄与できるよう、各種情報提供や学習支援を行います。

234 消費行動に関する情報提供

消費者教室、ホームページや各種情報紙、イベントにより、自ら主体的・合理的に行動する区民へ情報提供を継続的に実施し、さらなる意識向上を図ります。

第3節

いきいきとした生活のための 健康・福祉の社会づくり

〔1〕 区民の健康づくりのために

- 1 生活習慣病と健康
 - (1) 区民の生命と健康を守るためのしくみづくり
 - (2) がん予防対策の推進
- 2 心の健康づくり
 - (1) 心を元気にするためのしくみづくり
- 3 生涯スポーツの推進
 - (1) 健康スポーツ都市・江戸川の形成
- 4 感染症と健康危機への対応
 - (1) 感染症対策などの充実
- 5 食と住の安全性
 - (1) 健康食住の推進

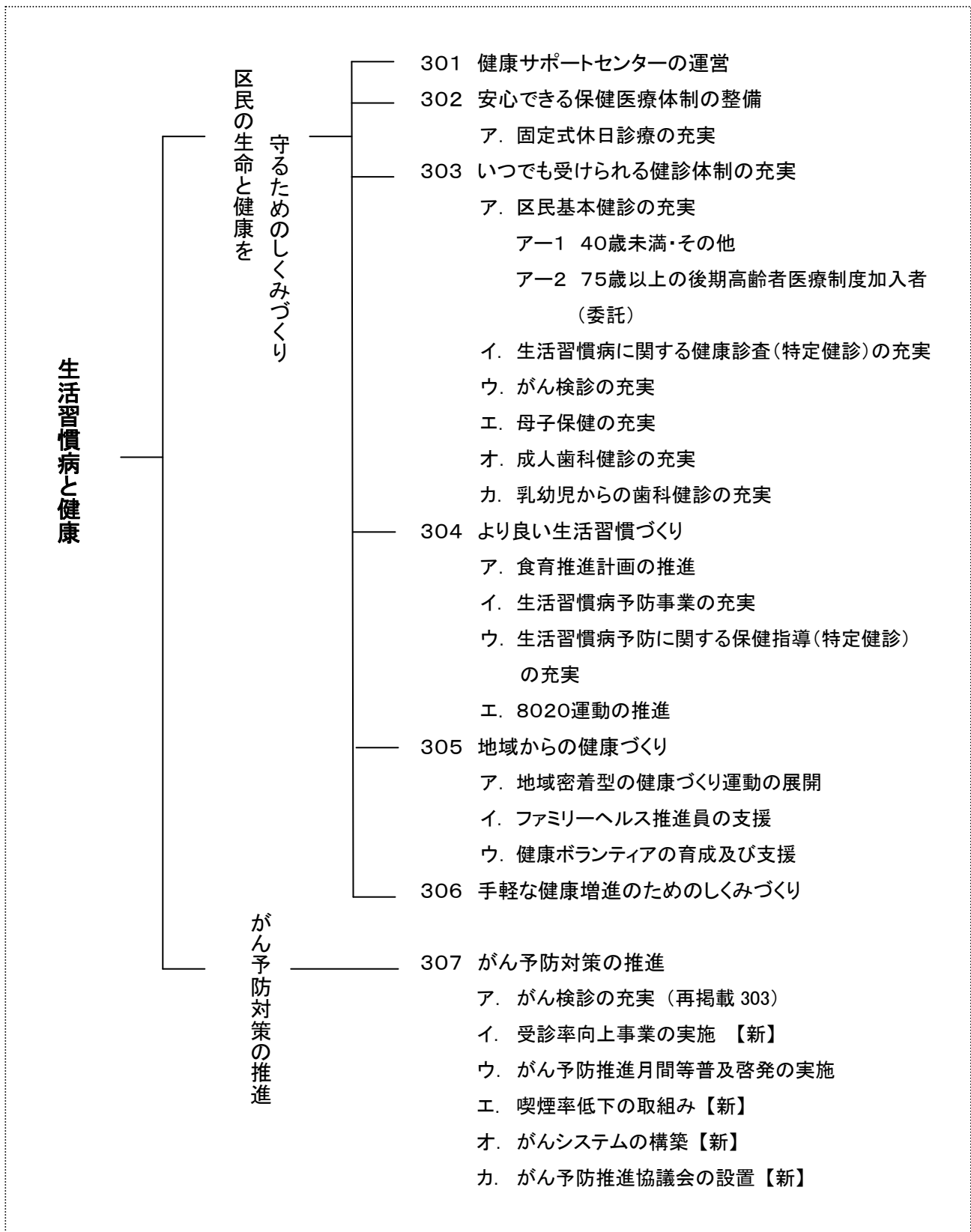
1 生活習慣病と健康

【施策の考え方】

高齢化の進展、食生活、ライフスタイル等の多様化に伴い、生活習慣病が区民共通の課題となっています。

生活習慣病は、日頃の生活習慣と密接な関係があるため、正しい生活習慣を身に付け、年齢、生活環境等に応じた健康づくりを進めることが大切です。自分の健康は自分で守り、自分でつくることを基本に、区民一人ひとりの「健康寿命」をのばすことを積極的に支援するための施策を展開します。

【施策体系図】



(1) 区民の生命と健康を守るためのしくみづくり

301 健康サポートセンターの運営

妊娠分娩期及び乳幼児期から熟年期までの健康相談、各種健診、精神保健福祉、生活習慣病予防対策、介護予防等を行う健康サポートセンターを区内8か所に設置し、生涯を通じた健康づくりを支援します。

302 安心できる保健医療体制の整備

5月の連休及び年末年始の固定式休日診療を医師会館と医療検査センターで実施します。また、従来の輪番制との連携を図ることにより、区民が安心できる医療体制の整備に努めます。

施策コード	302	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
固定式休日診療の充実		固定式休日診療事業の充実	同左	同左
事業費		23,923千円	23,923千円	23,923千円

303 いつでも受けられる健診体制の充実

医療保険者が実施する生活習慣病予防の健診を踏まえつつ、区民等の健康増進を図り、切れ目のない健診体制の整備に努めます。

また、妊婦健診から乳幼児期の健康づくりの充実を進め、母子保健の向上に努めます。

施策コード	303	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
区民基本健診の充実	40歳未満・その他	13,750人	13,900人	14,050人
	事業費	106,051千円	107,118千円	108,318千円
	75歳以上の後期高齢者医療制度加入者(委託)	32,600人	34,200人	36,200人
	事業費	294,201千円	308,415千円	326,195千円
生活習慣病に関する健康診査(特定健診)の充実		62,000人	江戸川区国民健康保険健康診査(特定健康診査等)実施計画の策定・実施	計画の実施
事業費		690,498千円	※※※千円	※※※千円
がん検診の充実		126,300人	132,615人	139,246人
事業費		889,132千円	944,089千円	991,293千円
母子保健の充実	妊婦健康診査受診費助成の拡充		同左	同左
	乳幼児健診の実施 42,750人		同左	同左
事業費		693,213千円	693,210千円	693,210千円

成人歯科健診の充実	6, 500人	6, 550人	6, 600人
事業費	54, 577千円	54, 988千円	55, 398千円
乳幼児期からの 歯科健診の充実	乳幼児歯科事業 の実施 33, 450人	同左	同左
事業費	50, 715千円	50, 710千円	50, 710千円

304 より良い生活習慣づくり

健康で生き生きとした生活を送るため、「食」に関わる団体との連携を通じた食育推進計画を推進します。

また、「特定健診等実施計画」に基づき、生活習慣病に関する健康診査(特定健診)の結果等を踏まえ、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の該当者及び予備群に対して、生活習慣の改善等を図る適切な保健指導を実施するとともに、生活習慣アクションプランに基づいた普及啓発に努めます。

また、歯科医師会と協力し、口腔疾患の予防及び口腔ケアに関する普及啓発に努めます。

施策コード	304	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
食育推進計画の推進		江戸川区食育推進 計画の推進	江戸川区食育推進 計画の改定検討	江戸川区食育推進 計画の推進
事業費		1, 221千円	1, 221千円	1, 221千円
生活習慣病予防事業の充実	セミナー、講演会、 イベント等の開催	同左	同左	同左
	食生活改善の支援	同左	同左	同左
事業費		2, 791千円	2, 791千円	2, 791千円
生活習慣病予防に関する 保健指導(特定保健指導) の充実	1, 890人	江戸川区国民健康保 険健康診査(特定健康 診査等)実施計画の 策定・実施	計画の実施	
事業費		48, 426千円	※※※千円	※※※千円
8020運動※の推進	周知・啓発	同左	同左	同左
事業費		65千円	65千円	65千円

※ 8020運動:「80歳になっても20本以上自分の歯を保とう」という運動。

305 地域からの健康づくり

生活習慣病及び老化の予防を図るため、ウォーキング、老化予防等の健康課題に関する地域出前講座を実施する等、地域の自主的な健康づくり運動を支援します。

食習慣改善、口腔ケア等の健康づくりについての総合的な学習の機会を提供するとともに、受講者の自主的な活動の立ち上げを支援することにより、地域の健康づくり活動を担うリーダーの育成に努めます。

また、健康講座、ウォーキング等の啓発・活動等を推進し、家庭・地域からの健康づくりを担うファミリーヘルス推進員の活動を支援するとともに、地域で健康づくり活動を実践するボランティアの育成等に努めます。

施策コード	305	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
地域密着型の健康づくり運動の展開		ウォーキング大会・各種健康講座の開催	同左	同左
事業費		2,736千円	2,730千円	2,730千円
ファミリーヘルス推進員の支援		活動支援 8団体 350名	同左	同左
事業費		12,340千円	10,220千円	12,340千円
健康ボランティアの育成及び支援		ボランティアの育成及び支援	同左	同左
事業費		379千円	380千円	380千円

306 手軽な健康増進のためのしくみづくり

河川堤防上の通路等の利用を図り、サイクリングロードの整備の充実に努める等、健康増進のために、自然の中で気持ちよく散歩等が行える環境づくりを推進します。

(2)がん予防対策の推進

307 がん予防対策の推進

区民のがんに関する意識調査の実施や9月の「がん予防推進月間」の取組み等により、がん検診の受診率の向上に努め、がんの早期発見、早期治療に繋がります。

また、一般健康相談事業での禁煙指導の実施、区内禁煙外来医療機関の紹介、普及啓発等を進め、がん予防のために喫煙率の低下に努めていきます。

施策コード	307	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
がん検診の充実 再掲 303		126,300人	132,615人	139,246人
事業費		889,132千円	944,089千円	991,293千円
受診率向上事業の実施 【新】		受診率に関する調査の実施	調査結果の検討・効果的な勧奨の実施	効果的な勧奨の実施
事業費		6,947千円	6,947千円	6,947千円

がん予防推進月間等 普及啓発の実施	推進大会・講演会等 の実施	同左	同左
事業費	1, 932千円	1, 932千円	1, 932千円
喫煙率低下の取組み 【新】	普及啓発の実施	同左	同左
事業費	95千円	95千円	95千円
がんシステムの構築 【新】	システムの構築	システムの運用	同左
事業費	32, 802千円	※※※千円	※※※千円
がん予防推進協議会の設置 【新】	普及啓発部会 精度管理・治療支援部会 での検討	同左	同左
事業費	313千円	313千円	313千円

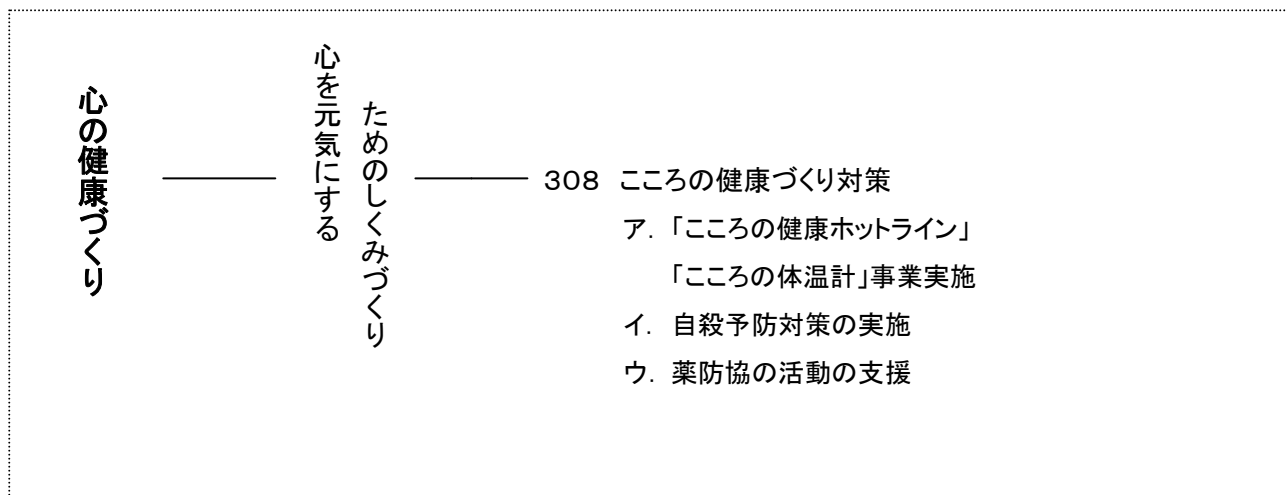
2 心の健康づくり

【施策の考え方】

ストレスの多い社会に生きる現代人にとって、「心の健康」は生活の質を左右する重要な要因の一つです。家族関係、地域社会への帰属意識等が大きく多様化する中で、高度情報化社会の進展等により、区民一人ひとりをとりまく環境はこれまでに増して変化が激しくなっています。このような変化を受け止め、心のバランスを保っていくことが大切です。

そのため、心の健康を保つための啓発、正しい情報の提供、相談支援等の心を元気にするためのしくみづくりを進めます。

【施策体系図】



(1)心を元気にするためのしくみづくり

308 こころの健康づくり対策

心の健康の維持するための施策として、電話相談事業や早期発見のしくみづくりや正しい知識の普及啓発事業を継続して実施します。

江戸川区自殺防止連絡協議会を設置し、本区における自殺防止対策を総合的、かつ、効率的に推進していきます。特に人材育成を強化し、ゲートキーパー研修を拡充していきます。

また、東京都薬物乱用防止推進江戸川区地区協議会(薬防協)の事務局として、教育委員会や学校、警察と連携し薬物乱用防止の普及啓発活動を推進します。

施策コード	308	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
「こころの健康ホットライン」 「こころの体温計」事業実施		電話による相談 メンタルヘルスチェック システム	同左	同左
事業費		5,084千円	5,118千円	5,118千円

自殺予防対策の実施	自殺防止連絡協議会 の開催 普及啓発活動(講演 会・キャンペーン実施) 人材育成(ゲートキー パー研修実施) 自死遺族支援事業	同左	同左
事業費	1, 634千円	1, 634千円	1, 634千円
薬防協の活動の支援	薬物乱用防止の普及 啓発活動の実施	同左	同左
事業費	1, 476千円	1, 476千円	1, 476千円

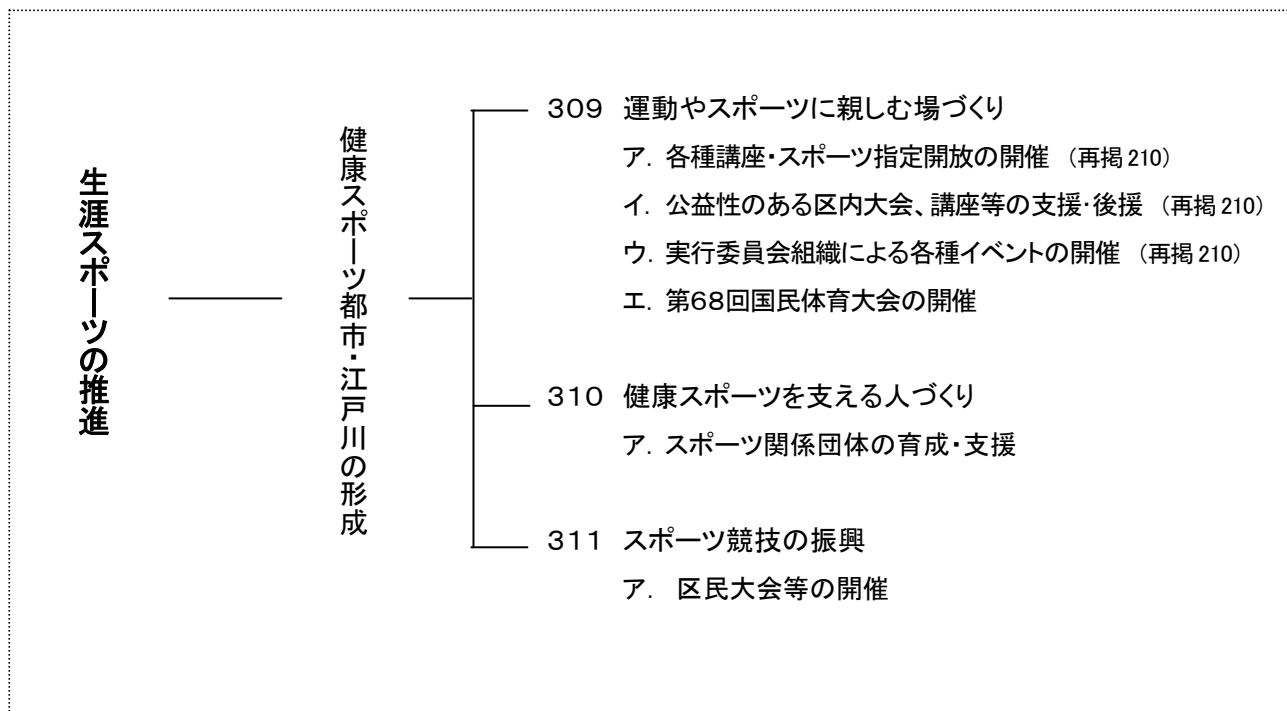
3 生涯スポーツの推進

【施策の考え方】

生活習慣病を予防し、心の健康を保ち、生涯にわたっていきいきと楽しく暮らすためには、そのもととなる身体の健康づくりを進めることが不可欠であり、区民一人ひとりが体力、興味等に応じて生涯スポーツを続けることが大切です。

江戸川区には、球場、陸上競技場等のスポーツ競技の本格的な施設をはじめ、河川敷の野球場、サッカーグラウンド、健康の道、サイクリングロード等、健康づくり、スポーツの場等が多様に整えられています。今後さらに、誰でもどこでも身近にスポーツを続けられる環境づくりを進めます。

【施策体系図】



(1)健康スポーツ都市・江戸川の形成

309 運動やスポーツに親しむ場づくり

各種スポーツ講座を開催し、区民の健康・体力づくりや生涯スポーツとして誰もが楽しめるスポーツの普及を図っていきます。

各種団体と連携し実行委員会を組織し、マラソン大会等区民が安心して楽しめるイベントを開催したり、各種スポーツ団体による大会・講習会や世界大会、全国規模の大会・競技会を支援・後援することにより、区民の新しいスポーツ分野への関心を高める等一層のスポーツの振興を図っていきます。

また、第68回国民体育大会の開催に向けて、関係機関・関係団体と緊密な連携を図り、区民と一体となって大会に参画し、本大会を成功に導きます。

施策コード	309	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
各種講座・スポーツ指定開放の開催 再掲 210		開催	同左	同左
事業費		17, 099千円	17, 099千円	17, 099千円

公益性のある大会、講座等の支援・後援 再掲 210	支援	同左	同左
事業費	18,708千円	17,011千円	17,011千円
実行委員会組織による各種イベントの開催 再掲 210	実行委員会による各種イベントの開催	同左	同左
事業費	8,657千円	8,121千円	8,121千円
第68回国民体育大会の開催	リハーサル大会の開催	本大会の開催	
事業費	152,285千円	※※※千円	

310 健康スポーツを支える人づくり

地域スポーツ活動を推進するため、スポーツ推進委員や地域スポーツ推進員等健康スポーツを支える人づくりに努めていきます。

施策コード	310	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
スポーツ関係団体の 育成・支援		育成・支援	同左	同左
事業費		15, 652千円	12, 021千円	15, 652千円

311 スポーツ競技の振興

区民大会等を通して相互交流と日頃の練習成果を発揮する場として実施し、スポーツ競技の振興を図っていきます。

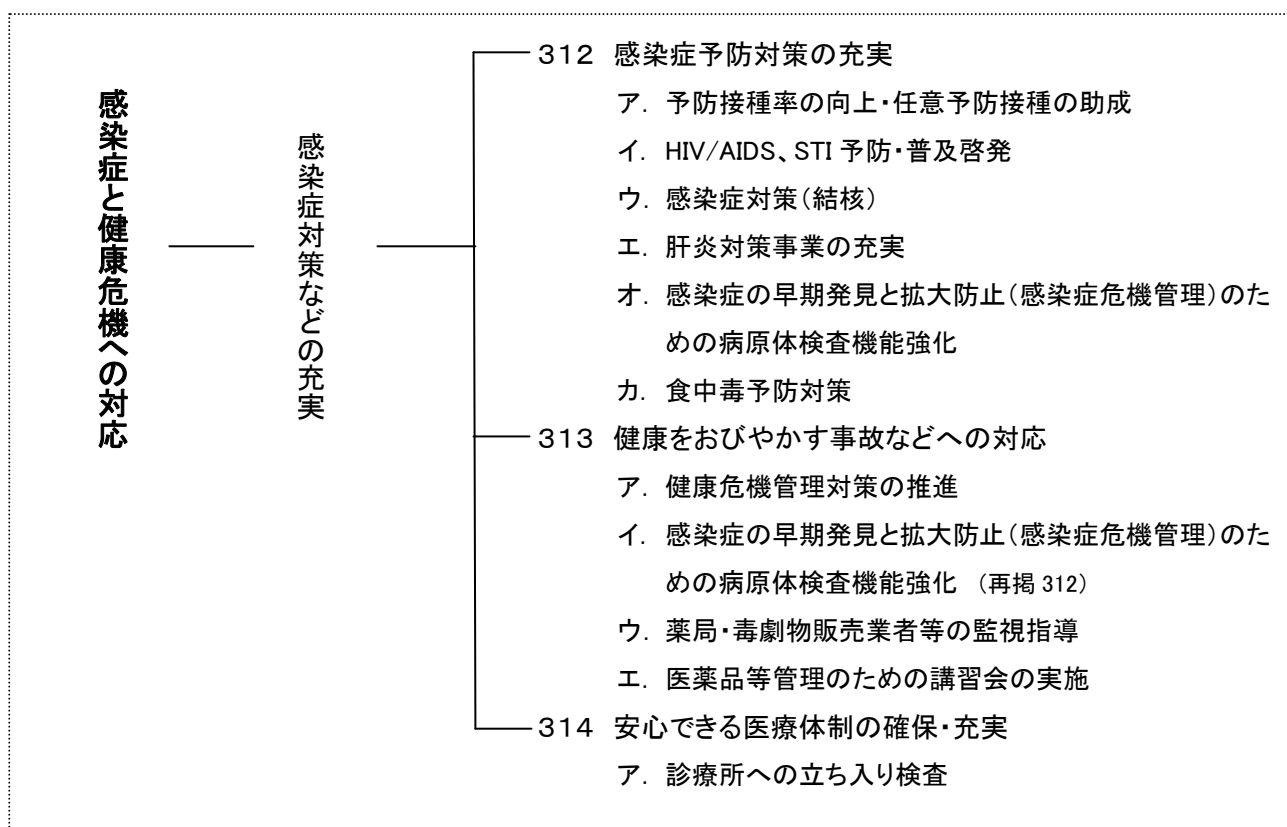
施策コード	311	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
区民大会等の開催		体育会と共催により 実施	同左	同左
事業費		22, 155千円	22, 155千円	22, 155千円

4 感染症と健康危機への対応

【施策の考え方】

乳幼児のすこやかな成育を図るためには、麻疹、風疹等の予防接種率をさらに高めることが課題です。また、高齢の人々を中心とした、結核等の感染症に対する危険性の増加も危惧されます。さらに、エイズ、C型肝炎、病原性大腸菌等の対策も重要です。このような状況を踏まえ、健康危機の原因となる感染症等の情報を収集し、正しい知識及び情報の提供、予防方法の啓発等を行います。また、食品、飲料水等の事故の防止を図り、大規模食中毒等の健康危機等に、迅速に対応できる体制づくりを進めます。

【施策体系図】



(1) 感染症対策などの充実

312 感染症予防対策等の充実

がんや疾病を防ぐために効果的な予防接種の接種率の向上に向けた勧奨や、子宮頸がん予防等任意の予防接種についての費用の助成を行っていきます。

HIV/AIDS*及び STI*、結核等の感染症の予防対策の充実を図るため、HIV 抗体迅速検査、結核健診等を実施するとともに、必要な情報の提供、相談支援等の体制の整備に努めます。特に、B 型及び C 型ウイルス肝炎については、その早期発見・治療を図るため、検診・受療の勧奨、保健指導等を実施します。

区内における感染症の早期発見と拡大防止を図るため、江戸川区医師会と連携して感染症発生時の病原体検査を行います。また、食肉の生食による腸管出血性大腸菌等の食中毒及びノロウイルスによる食中毒について、予防対策に努めます。

※ HIV (Human Immunodeficiency Virus) / AIDS: 後天性免疫不全症候群。HIV はその原因となる病原体。

※ STI (性感染症): 性行為により感染した疾患の総称。

施策コード	312	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
予防接種率の向上・ 任意予防接種の助成		定期予防接種の勧奨と 任意予防接種の助成	同左	同左
事業費		1, 109, 247千円	1, 110, 000千円	1, 110, 000千円
HIV/AIDS.STI 予防 ・普及啓発		HIV/AIDS.STI 予防	同左	同左
事業費		5, 073千円	5, 073千円	5, 073千円
感染症対策(結核)		感染症対策(結核)	同左	同左
事業費		122, 344千円	122, 344千円	122, 344千円
肝炎対策事業の充実		肝炎健診の実施	同左	同左
事業費		12, 668千円	12, 668千円	12, 668千円
感染症の早期発見と拡大防 止(感染症危機管理)のため の病原体検査機能の強化		江戸川区サーベイラン ス事業定点等における 病原体検査の実施	同左	同左
事業費		500千円	500千円	500千円
食中毒予防対策		重点監視指導の実施 (対象 335施設)	同左	同左
事業費		6, 600千円	6, 600千円	6, 600千円

313 健康をおびやかす事故などへの対応

新型インフルエンザや新たな感染症、大規模食中毒等に対して迅速に対応できるよう、医療機関等の関係機関との連携を推進します。

区内における感染症の早期発見と拡大防止を図るため、江戸川区医師会と連携して感染症発生時の病原体検査を行っていきます。

また、薬局等で取り扱う医薬品、毒物・劇物の適切な管理について、取扱業者等を監視指導し、講習会を実施することにより意識の向上を図ります。

施策コード	313	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
健康危機管理対策の推進		新型インフルエンザ [※] 行動計画の改定 関係機関との連携強化	関係機関との連携強化	同左
事業費		1, 230千円	1, 230千円	1, 230千円
感染症の早期発見と拡大防止(感染症危機管理)のための病原体検査機能の強化 再掲 312		江戸川区サーベイランス事業定点等における病原体検査の実施	同左	同左
事業費		500千円	500千円	500千円

薬局・毒劇物販売業者等の 監視指導	薬局・毒劇物販売業者 等の監視指導の実施 (420件)	同左	同左
事業費	2,307千円	2,307千円	2,307千円
医薬品等管理のための 講習会の実施	医薬品販売業者等に 対する講習会の実施 (1回)	同左	同左
事業費	36千円	36千円	36千円

314 安心できる医療体制の確保・充実

医療安全管理体制の整備、院内感染対策の実施について、これまで実施してきた有床診療所に加え、歯科を含む無床診療所の立入り検査を実施し、安心できる医療体制の確保に努めます。

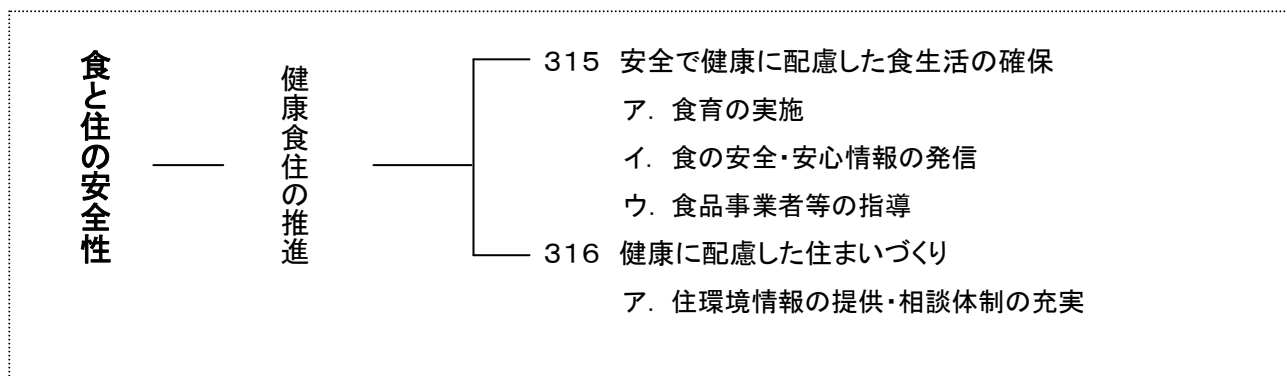
施策コード	314	年次計画		
計画事業内容	24年度	25年度	26年度	
診療所への立入り調査	30施設	同左	同左	
事業費	315千円	315千円	315千円	

5 食と住の安全性

【施策の考え方】

食品の安全性に対する関心が高まる一方、輸入食品の増大、遺伝子組み替え食品の普及等が進んでいます。このような状況を踏まえ、食をめぐる環境の変化を的確に捉えることにより、区民一人ひとりの食の安全の確保に取り組めます。また、住まいについても、区民の健康の維持・増進のうえで重要な役割を果たしています。しかし、建材に使用される化学物質、衛生害虫等による健康被害も生じており、わかりやすい情報の提供及び相談体制の充実を通じた、健康に配慮した住まいづくりを進めます。

【施策体系図】



(1)健康食住の推進

315 安全で健康に配慮した食生活の確保

家庭での食に関する生活力の低下が危惧されることから、家庭での食育への理解がすすむよう保育園・幼稚園での取り組みや普及啓発を行います。また、正確で、見やすくわかりやすい食品衛生情報を発信するように努めます。併せて、食品事業者には、食品衛生法と食品安全基本法に規定された責務及び役割について指導するとともに、食品衛生協会への加入を呼びかけ、情報収集の重要性と自主管理意識、管理体制の向上を啓発します。

施策コード	315	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
食育の実施		普及・啓発	同左	同左
事業費		※※※千円	※※※千円	※※※千円
食の安全・安心情報の発信		ホームページ等の 情報提供の充実	同左	同左
事業費		2, 200千円	2, 200千円	2, 200千円
食品事業者等の指導		実務講習会受講の 指導(年間12回)	同左	同左
事業費		12, 400千円	12, 400千円	12, 400千円

316 健康に配慮した住まいづくり

健康で快適な住環境の確保を図るため、アレルギー性疾患の原因の一つであるダニアレルゲンに関する検査を実施する等、安全な住まいに関する啓発活動、相談支援等を行います。

施策コード	316	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
住環境情報の提供・ 相談体制の充実	ダニアレルゲン検査 (200 件)	同左	同左	
	IPMによる害虫駆除方 法の普及啓発	同左	同左	
事業費		529千円	529千円	529千円

〔2〕 高齢の人々・障害のある人々のために

1 高齢の人々の生きがいと健康

- (1)「生涯現役」の環境づくり
- (2)高齢の人々の健康づくり

2 高齢の人々の生活支援

- (1)高齢の人々が安心できる生活支援
- (2)介護サービスの充実

3 障害のある人々の生活支援

- (1)障害に関する生活支援
- (2)精神障害のある人々の社会復帰への支援
- (3)発達障害者(児)へのライフステージに応じた支援

4 福祉のまちづくり

- (1)ユニバーサルデザインの促進
- (2)心のバリアフリーと福祉ネットワークづくり

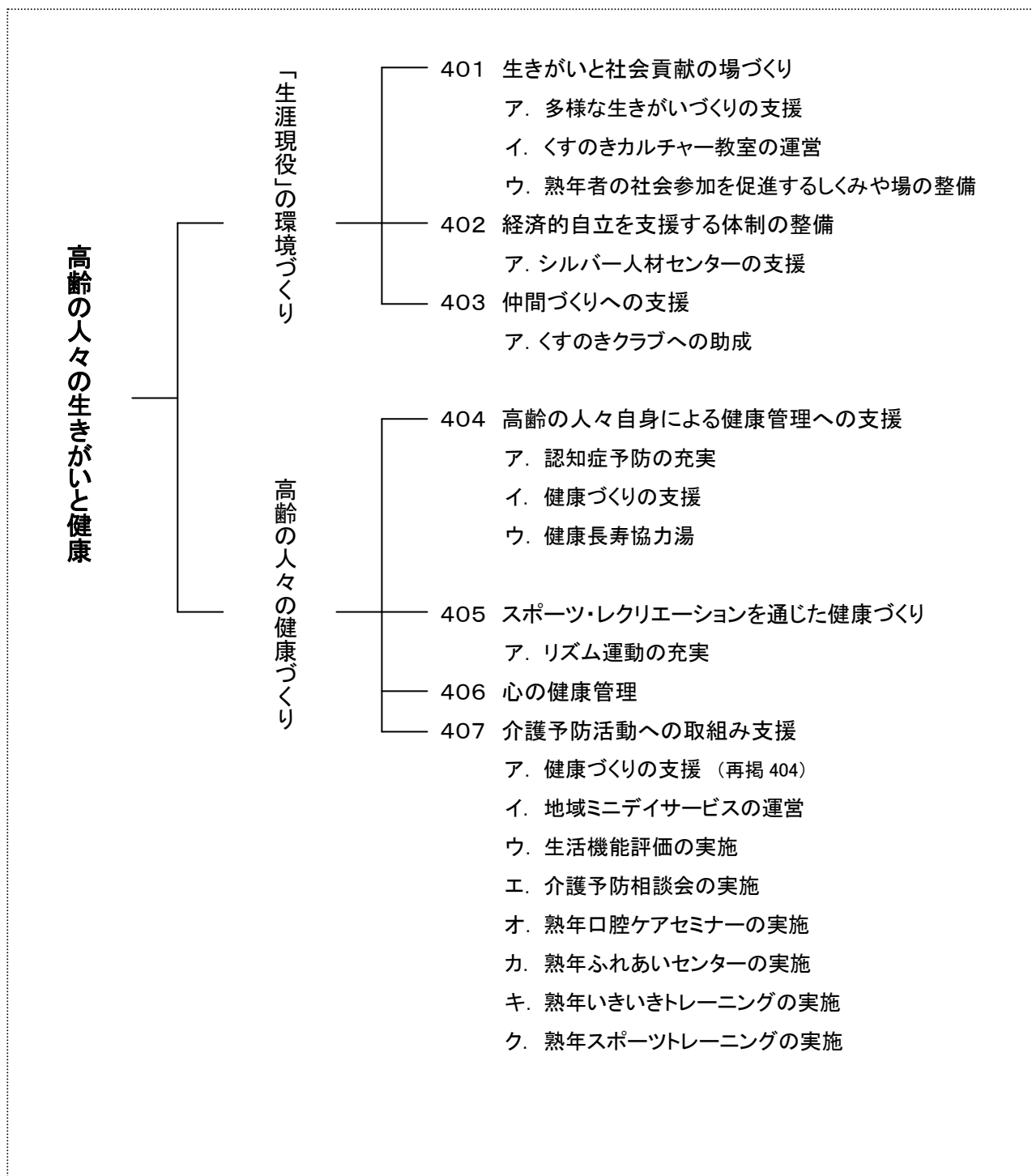
1 高齢の人々の生きがいと健康

【施策の考え方】

熟年者にとって、健康であるとともに、「生涯現役」として、自己の経験を活かして、いつまでも地域社会で活躍できることは、生きがいのある人生を送るうえで重要な考え方の一つです。

これまでも区は、くすのきカルチャー教室をはじめとする学習機会の提供やリズム運動等のスポーツ・レクリエーション事業、シルバー人材センターの生きがい就労事業、くすのきクラブや総合人生大学等の社会参加促進事業をとおして、熟年者の生きがいづくりを進めてきました。今後も、これらの取組みを基礎に、熟年者の多様化するニーズに対応した生きがいづくりを支援するとともに、介護予防を推進し、健康で生きがいのある生活を支える施策の展開を図ります。

【施策体系図】



(1)「生涯現役」の環境づくり

401 生きがいと社会貢献の場づくり

リズム運動大会、熟年者囲碁・将棋大会、さわやか体育祭、熟年文化祭等、熟年者が生きがいをもって健康で元気な生活を送れる場の提供の充実を図っていきます。また、くすのきカルチャー教室については、自身の生きがいづくりや仲間づくりの支援を図るとともに、社会貢献活動のきっかけとなる学習の機会の提供に努めます。さらに、熟年者の社会参加を促進するため、多様化するニーズの調査研究を行い、的確な支援策を講じていきます。

施策コード	401	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
多様な生きがいづくりの支援		継続	同左	同左
事業費		22, 494千円	22, 494千円	22, 494千円
くすのきカルチャー教室の 運営		正規教室 87 自主活動教室 315	同左	同左
事業費		212, 198千円	212, 198千円	212, 198千円
熟年者の社会参加を促進 するしくみや場の整備		調査研究	適宜実施	同左
事業費		0千円	※※※千円	※※※千円

402 経済的自立を支援する体制の整備

公益社団法人シルバー人材センター江戸川区高齢者事業団と協力し、民間企業への就業開拓等を積極的に行い、会員数の増加に応じた就業の確保を図ることで、就労を通じた熟年者の生きがいづくりを支援していきます。

施策コード	402	年次計画		
計画事業内容	24年度	25年度	26年度	
シルバー人材センター の支援	会員数 4, 300人 就業会員数 2, 300人	会員数 4, 400人 就業会員数 2, 400人	会員数 4, 500人 就業会員数 2, 500人	
事業費	188, 180千円	188, 180千円	188, 180千円	

403 仲間づくりへの支援

くすのきクラブの活動を通して、熟年者が地域において健康で生きがいのある生活を送れるように支援していきます。併せて活動の一層の活性化を図るため、多様な機会を通じて、くすのきクラブのPRを図り、加入者の増加に結び付けていきます。

施策コード	403	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
くすのきクラブへの助成		207クラブ	208クラブ	209クラブ
事業費		55, 644千円	55, 644千円	55, 644千円

(2)高齢の人々の健康づくり

404 高齢の人々自身による健康管理への支援

専門医による、もの忘れに関する相談を実施するとともに、認知症予防に関する講習会の開催、相談支援等を行い、認知症の予防に努めます。併せて、運動・栄養指導、口腔ケア、閉じこもり予防等に関する講座等を開催し、熟年者の生活機能の低下の防止を図ります。

また、65歳以上の熟年者が、入浴料金の半額程度で公衆浴場を利用できるように助成することで、健康増進と地域の人々や世代間の交流を促進していきます。

施策コード	404	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
認知症予防の充実		教室・相談・講習会等の実施	同左	同左
事業費		2, 450千円	2, 450千円	2, 450千円
健康づくりの支援		口腔ケア、栄養、 運動指導等の健康講座・教室の開催	同左	同左
事業費		1, 004千円	1, 000千円	1, 000千円
健康長寿協力湯		利用者数 延1, 229, 550人	利用者数 延1, 230, 500人	利用者数 延1, 231450人
事業費		269, 261千円	269, 261千円	269, 261千円

405 スポーツ・レクリエーションを通じた健康づくり

熟年者の生きがいづくりや仲間づくりの支援を図るとともに、介護予防を推進するため、リズム運動の参加人員の拡大に努めます。

施策コード	405	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
リズム運動の充実		参加実人員 10, 500人	参加実人員 10, 750人	参加実人員 11, 000人
事業費		131, 230千円	131, 230千円	131, 230千円

406 心の健康管理

高齢の人々が感じる老いへの不安、孤独感等に、きめ細かく対応する相談体制を整備します。

407 介護予防活動への取組み支援

介護が必要となる状態を予防するとともに、介護が必要となった場合においても、可能な限り、地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援するため、地域支援事業等の充実を図ります。

また、65歳以上の熟年者に対して、国保、長寿、福祉の各健診と同時に、生活機能評価を実施し、二次予防事業対象者を選定します。熟年口腔ケアセミナー、熟年いきいきトレーニング等の体の状態に則した事業に参加し、介護予防活動を推進していきます。

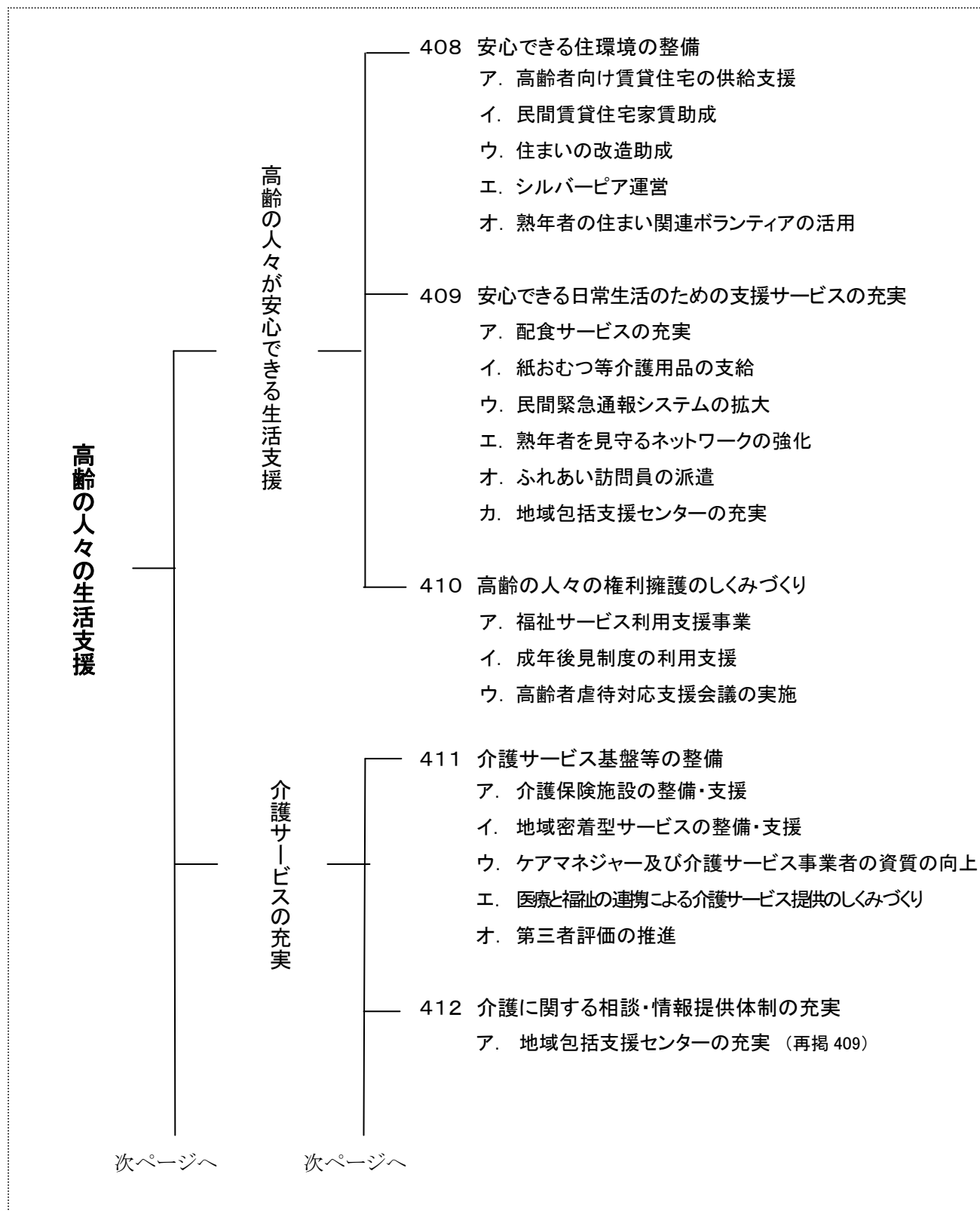
施策コード	407	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
健康づくりの支援 再掲 404		口腔ケア、栄養、 運動指導等 の健康講座・教室の開催	同左	同左
事業費		——千円	——千円	——千円
地域ミニデイサービスの 運営		34か所	35か所	36か所
事業費		1, 944千円	2, 100千円	2, 100千円
生活機能評価の実施		実施	同左	同左
事業費		107, 364千円	※※※千円	※※※千円
介護予防相談会の実施		実施	同左	同左
事業費		18, 990千円	※※※千円	※※※千円
熟年口腔ケアセミナーの 実施		定員30名 10回開催	同左	同左
事業費		4, 445千円	※※※千円	※※※千円
熟年ふれあいセンターの 実施		4ヶ所49クラス 25名 定員	同左	同左
事業費		245, 251千円	※※※千円	※※※千円
熟年いきいきトレーニングの 実施		実施	同左	同左
事業費		67, 536千円	※※※千円	※※※千円
熟年スポーツトレーニングの 実施		定員480名	同左	同左
事業費		5, 592千円	※※※千円	※※※千円

2 高齢の人々の生活支援

【施策の考え方】

高齢の人々が、日常生活を安心して送れるようきめ細かな支援を行います。また、介護が必要となったときに、住み慣れた地域で安心して生活していくことができるよう、介護サービスの基盤整備を進めるとともに、保健・医療・福祉の一体的なサービス提供のしくみづくり、介護の相談体制の充実等を図り、適切なサービスが提供できる体制を整備します。

【施策体系図】



前ページより

前ページより

介護サービスの充実

- 413 介護に関する人材・ボランティア団体の育成
 - ア. 介護に関する人材・ボランティア団体の育成
 - イ. 社会福祉士等卒後連携事業
- 414 認知症の高齢の人々に対する支援の充実
 - ア. 認知症地域ネットワーク活用事業の実施
 - イ. 認知症サポーター養成講座の実施

(1) 高齢の人々が安心できる生活支援

408 安心できる住環境の整備

熟年者が住み慣れた地域にいつまでも安全に安心して住み続けられるよう、その状態に応じた多様な住まいの普及・整備の促進に努めるとともに、高齢者向け賃貸住宅の供給支援、民間賃貸住宅家賃助成※、住まいの改造助成、シルバーピア運営等の実施を推進することにより、熟年者がより安心して住み続けられる住まいの確保・改善等を図ります。

※ 民間賃貸住宅家賃助成: 建物の取り壊し等で家主から転居を迫られた熟年者が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように、緊急処置として住み替え家賃の差額を助成する。

施策コード	408	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
高齢者向け賃貸住宅の供給支援		事業者募集	同左	同左
事業費		47,996千円	***千円	***千円
民間賃貸住宅家賃助成		280件	同左	同左
事業費		99,927千円	100,000千円	100,000千円
住まいの改造助成		170件	同左	同左
事業費		51,373千円	51,373千円	51,373千円
シルバーピア運営		50世帯	同左	同左
事業費		6,321千円	6,300千円	6,300千円
熟年者の住まい関連ボランティアの活用		ボランティアの活用	同左	同左
事業費		2,080千円	2,100千円	2,100千円

409 安心できる日常生活のための支援サービスの充実

民生委員、地域包括支援センター等と連携を図りながら、目配りが必要な熟年者の安否確認等を行う地域ネットワーク体制の充実を図るとともに、民間緊急通報システムを活用し、熟年者が住み慣れた地域にいつまでも安心して住み続けられる体制づくりに努めます。

また、食事づくりが困難な熟年者に対する配食サービスを充実し、いきがいと潤いのある生活維持を図ります。

施策コード	409	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
配食サービスの充実	一般向け配食 利用者421人／月	一般向け配食 利用者440人／月	一般向け配食 利用者460人／月	
	虚弱者向け配食 利用者424人／月	虚弱者向け配食 利用者人440／月	虚弱者向け配食 利用者人460／月	
事業費	49, 130千円	50, 933千円	53, 330千円	
紙おむつ等介護用品の支給	延べ64, 538人	延べ68, 437人	延べ72, 571人	
事業費	477, 362千円	454, 937千円	481, 743千円	
民間緊急通報システム の拡大	設置数875 か所	設置数 1, 000か所	設置数 1, 025か所	
事業費	16, 205千円	17, 705千円	18, 005千円	
熟年者を見守るネットワーク の強化	運営体制の整備	運営体制の強化	同左	
事業費	871千円	875千円	880千円	
ふれあい訪問員の派遣	訪問員数135人 対象世帯の拡大	訪問員数138人 同左	訪問員数140人 同左	
事業費	4, 233千円	4, 245千円	4, 260千円	
地域包括支援センターの 充実	船堀・篠崎地区の 2 か所を整備	必要に応じ、重点整備 地区を設定し整備	必要に応じ、重点整備 地区を設定し整備	
事業費	18, 000千円	※※※千円	※※※千円	

410 高齢の人々の権利擁護のしくみづくり

社会福祉協議会の安心生活センターを権利擁護の中心的な機関として位置づけ、判断能力に不安のある熟年者が安心して福祉サービスの利用、資産管理等を行えるよう支援します。

併せて、福祉サービスの利用相談、苦情解決相談、成年後見制度[※]の利用相談及び区長申立てに係る事務を社会福祉協議会に委託実施します。

また、従来の高齢者虐待対応支援ネットワーク会議を平成 24 年度より、(仮称)熟年者支援ネットワーク会議の分科会として開催し、関係機関との連携を密にしていきます。

※ 成年後見制度:判断能力の不十分な認知症高齢者や知的障害のある人、精神障害のある人等を保護するための民法上の制度。

施策コード	410	年次計画		
事業計画の内容		24年度	25年度	26年度
福祉サービス利用支援事業		相談事業等の充実 安心生活サポート事業 30件	相談事業等の充実 安心生活サポート事業 40件	相談事業等の充実 安心生活サポート事業 50件
事業費		2, 407千円	2, 407千円	2, 407千円
成年後見制度の利用支援		法人後見 22件(累計) 区長申立て 25件 職能後見人等への 報酬助成 10件	法人後見 25件(累計) 区長申立て 25件 職能後見人等への 報酬助成 15件	法人後見 28件(累計) 区長申立て 25件 職能後見人等への 報酬助成 20件
事業費		4, 695千円	5, 775千円	6, 855千円
高齢者虐待対応支援会議の 実施		高齢者虐待対応支援 会議の実施	同左	同左
事業費		397千円	397千円	397千円

(2)介護サービスの充実

411 介護サービス基盤等の整備

「江戸川区介護保険事業計画」に基づき、適切な介護サービスの基盤整備を支援します。併せて、地域密着型サービス事業者に対する第三者評価の実施の支援、介護支援専門員及び介護サービス事業者に対する研修等を実施し、介護サービスの質の向上に努めます。

施策コード	411	年次計画		
事業計画の内容		24年度	25年度	26年度
介護保険施設 の整備・支援		介護老人福祉施設 2ヶ所の整備支援	介護老人福祉施設 2ヶ所開設	整備支援
事業費		470, 580千円	12, 936千円	※※※千円
地域密着型サービス の整備・支援		小規模多機能型 居宅介護等の整備	整備支援	同左
事業費		100, 000千円	※※※千円	※※※千円
ケアマネジャー及び介護サ ービス事業者の資質の向上		介護事業者向け研修の 充実	同左	同左
事業費		8, 427千円	※※※千円	※※※千円
医療と福祉の連携による 介護サービス提供のしくみ づくり		介護連絡ノートの普及・ 推進	同左	同左
事業費		840千円	※※※千円	※※※千円

第三者評価の推進	地域密着型サービス第 三者評価受審費用助成	同左	同左
事業費	11, 620千円	※※※千円	※※※千円

412 介護に関する相談・情報提供体制の充実

地域包括支援センター（現在15センター、6分室）については、重点地区を設定し整備します。

また、地域の熟年者やその家族を継続的・包括的に支える地域包括ケアシステムの中核機関として、その機能を十分に発揮することができるような体制を整備します。

施策コード	412	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
地域包括支援センターの 充実 再掲 409		船堀・篠崎地区の 2 か所を整備	必要に応じ、重点整備 地区を設定し整備	必要に応じ、重点整備 地区を設定し整備
事業費		18, 000千円	※※※千円	※※※千円

413 介護に関する人材・ボランティア団体の育成

ボランティアセンターとの連携を図りながら、介護に関する人材・ボランティア団体を育成します。

また、区が、区内の専門学校卒業生を最長3年間、福祉・介護支援員（非常勤職員）として雇用し、福祉及び介護分野における多様な問題に対応できる人材として育成します。

施策コード	413	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
介護に関する人材・ ボランティア団体の育成		熟年介護サポーターの 育成・活動内容の拡充	同左	同左
事業費		3, 661千円	※※※千円	※※※千円
社会福祉士等卒後連携事業		採用数9人(予定)	採用数10人程度	同左
事業費		74, 816千円	115, 530千円	115, 530千円

414 認知症の高齢の人々に対する支援の充実

江戸川区医師会地域包括支援センターを中心として、認知症への理解を広く地域に浸透させるとともに、認知症ホットライン、総合窓口相談の設置、地域包括支援センターや介護サービス事業者等からの相談対応、認知症の早期発見、早期対応に努めます。併せて地域の関係機関との連携を推進します。また、認知症サポーター養成講座を実施し、認知症に対する社会的な理解を深めるとともに、認知症サポーターの活躍の場等を検討します。

施策コード	414	年次計画		
計画事業内容	24年度	25年度	26年度	
認知症地域ネットワーク 活用事業の実施	実施	同左	同左	
事業費	7,035千円	※※※千円	※※※千円	
認知症サポーター養成講座 の実施	1,000人	同左	同左	
事業費	269千円	※※※千円	※※※千円	

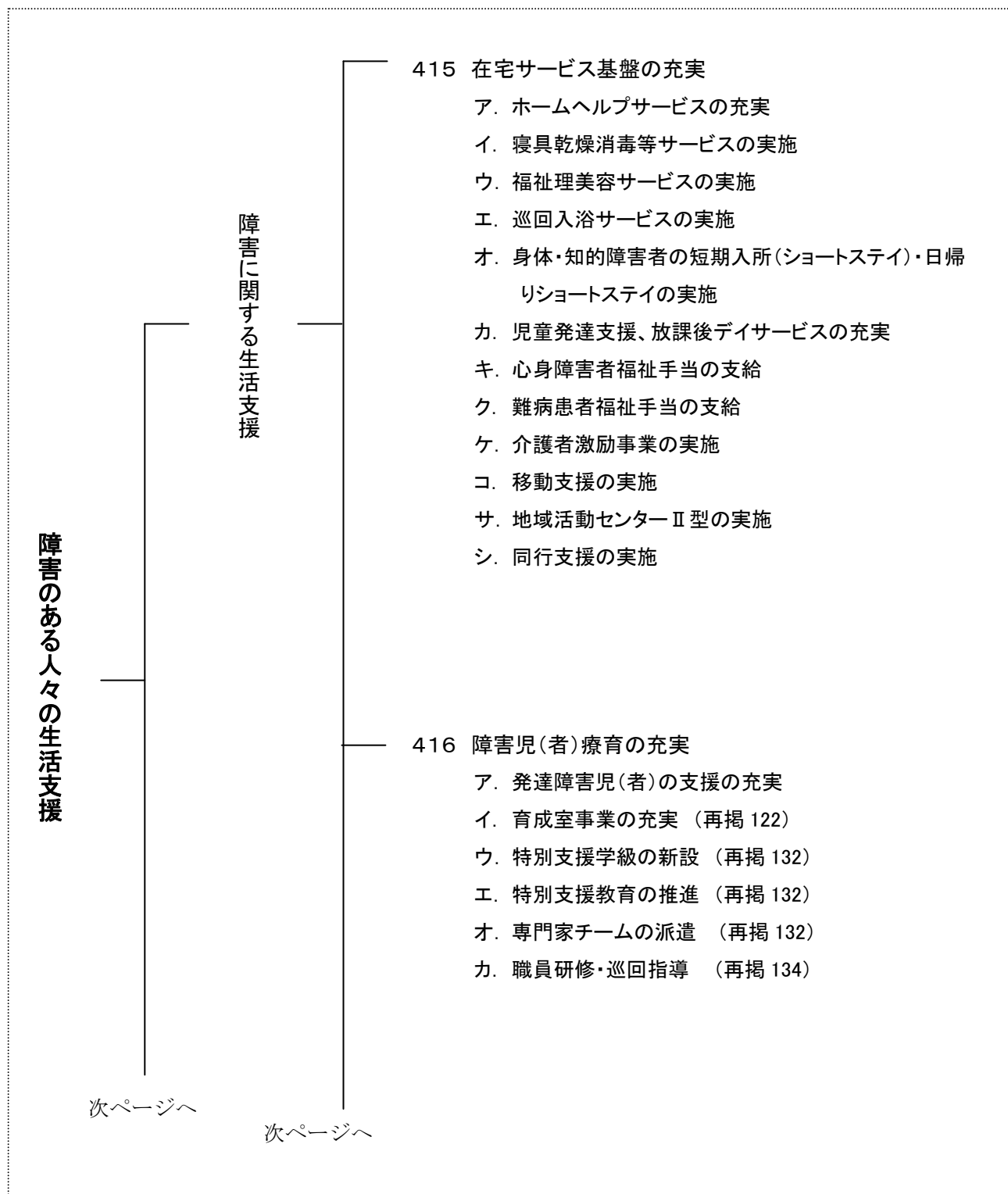
3 障害のある人々の生活支援

【施策の考え方】

身体、知的及び精神障害のある人々とその家族が、地域の中で自立して生活ができ、安心して毎日が暮らせるよう、地域生活支援の充実を図ります。また、生きがいをもって生活を営める環境を整えるため、職業訓練や就労の場づくり、安心して住める多様な住宅の整備、施設の充実等を進めます。

特に精神障害のある人々については、地域生活を支援するサービスの基盤整備を図り、医療と連携した生活相談、訓練等を通じた社会復帰を支援します。

【施策体系図】



前ページより	前ページより	
		417 障害のある人々の健康支援 ア. 江戸川区口腔保健センターへの事業補助 イ. 中途障害者へのリハビリテーションの実施 ウ. リハビリテーション相談 エ. リハビリテーションに関する知識及び技術の普及啓発 オ. 在宅リハビリテーション指導の実施 418 障害に関する身近な相談・情報提供体制の充実 ア. 地域自立支援協議会の開催 419 職業訓練と就労の場づくり ア. 障害者就労支援センターの運営 420 生きがいと社会貢献の場づくり ア. 福祉タクシー券の助成 イ. 自動車燃料費の助成 421 障害のある人々が安心して住める多様な住宅の整備 ア. 知的障害者グループホーム等の運営支援 イ. 民間賃貸住宅家賃助成 ウ. 住まいの改造助成 422 身近な地域での施設整備 ア. 区立障害者施設における指定管理者導入計画 イ. 区立障害者施設の充実 ウ. 希望の家新館建設
	精神障害のある人々の社会復帰への支援	423 自助グループなどへの支援 ア. 家族会が主体的に活動するための支援 424 社会復帰への支援 ア. 心の専門グループワークの実施 イ. 総合的相談体制の整備 ウ. 医療と連携した社会復帰支援 エ. 自立のための支援施策の充実 オ. 就労訓練や就労の場づくり カ. 作業・レクリエーション・交流等を通じての居場所づくり 425 精神障害のある人々についての理解促進 ア. 民間事業者やNPO等サービス供給主体の指導・育成・相談体制の整備
次ページへ		

前ページより

発達障害者(児)への
ライフステージに応じた支援

426 発達障害者(児)への支援

- ア. 早期発見のための乳幼児健診の充実 (再掲 416)
- イ. 相談体制の充実 (再掲 416)
- ウ. 発達障害児の親子グループへの支援 (再掲 416)
- エ. 関係機関との連携強化 (再掲 416)
- オ. 支援者への支援 (再掲 416)
- カ. 発達障害に係る普及啓発事業 (再掲 416)
- キ. ライフステージに応じた支援 (再掲 416)
- ク. 発達障害児を支援する人材の育成【新】(再掲 122)
- ケ. 発達障害児のための巡回相談の充実(再掲 122)
- コ. 育成室事業の充実 (再掲 122)
- サ. 特別支援学級の新設 (再掲 132)
- シ. 特別支援教育の推進 (再掲 132)
- ス. 専門家チームの派遣 (再掲 132)
- セ. 教育研究所の教育相談の充実 (再掲 131)
- ソ. 職員研修・巡回指導 (再掲 134)

(1)障害に関する生活支援

415 在宅サービス基盤の充実

障害者の社会参加の促進及び生活の質の向上を図るため、「江戸川区障害福祉計画」に基づき、障害福祉サービスの基盤整備の支援及び地域生活支援事業の充実に努めます。

施策コード	415	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
ホームヘルプサービスの充実		実施	同左	同左
事業費		4, 257, 524千円	※※※千円	※※※千円
寝具乾燥消毒等サービスの 実施		実施	同左	同左
事業費		966千円	※※※千円	※※※千円
福祉理美容サービスの実施		実施	同左	同左
事業費		8, 500千円	※※※千円	※※※千円
巡回入浴サービスの充実		実施	同左	同左
事業費		50, 471千円	※※※千円	※※※千円

身体・知的障害者の短期入所(ショートステイ)・日帰りショートステイの実施	実施	同左	同左
事業費	48,405千円	※※※千円	※※※千円
児童発達支援、放課後デイサービスの充実	実施	同左	同左
事業費	17,552千円	※※※千円	※※※千円
心身障害者福祉手当の支給	実施	同左	同左
事業費	1,785,997千円	※※※千円	※※※千円
難病患者福祉手当の支給	実施	同左	同左
事業費	830,941千円	※※※千円	※※※千円
介護者激励事業の実施	実施	同左	同左
事業費	1,042千円	※※※千円	※※※千円
移動支援の実施	実施	同左	同左
事業費	426,271千円	※※※千円	※※※千円
地域活動センターⅡ型※の実施	実施	同左	同左
事業費	99,825千円	※※※千円	※※※千円
同行支援の実施	実施	同左	同左
事業費	62,978千円	※※※千円	※※※千円

※ 地域活動支援センターⅡ型:創作的活動等の提供等の他に、機能訓練、社会的適応訓練、入浴等のサービスを実施する機関。

416 障害児(者)療育の充実

育成室の充実や障害を有する児童一人ひとりに応じた、適切な教育支援ができるよう、特別支援学級の新設等を行います。

発達障害※に関しては乳幼児健診や集団の場等において早期発見できる体制の充実とあわせ、早期の発達支援につなげるため、「発達障害支援会議」や「発達障害庁内連絡調整会議」を中心とした関係機関との連携を深めます。また、発達障害に関する相談、親子グループ等の事業の支援等を充実させ、支援者向けマニュアルの作成や児童発達支援事業所等が実施する研修等への支援を行います。

さらに、ライフステージに応じた支援ができるよう、(仮)「発達障害者(児)支援センター」を設置し、これまで支援の狭間におかれてきた知的障害を伴わない発達障害者(児)への支援をします。

併せて、区民への理解を深めるため、普及啓発活動を実施します。

※ **発達障害**:発達障害者支援法第2条の定義に基づき、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害(LD)※、注意欠陥多動性障害(AD/HD)※その他これに類する脳機能の障害であってその症状が低年齢において出現するもの。

※ **学習障害(LD)**:基本的には全般的な知的発達に遅れはないが、聞く、話す、読む、書く、計算する又は推論する能力のうち特定のものの習得と使用に著しい困難を示す様々な状態を指すもの。

※ **注意欠陥多動性障害(AD/HD)**:不注意、多動性及び衝動性を中心とした症状とする発達障害。

施策コード	416	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
発達障害児(者)の支援の充実		早期発見のための乳幼児健診の充実	同左	同左
		相談体制の充実	同左	同左
		発達障害児の親子グループへの支援	同左	同左
		関係機関との連携強化	同左	同左
		発達障害支援会議等の運営 連携の推進	同左	同左
		児童発達支援事業所等支援実施	同左	同左
		支援者向けマニュアルの作成 検討	作成	改訂
		発達障害に係る普及啓発事業 リーフレット作成・配布 講演会実施	実施	同左
		(仮)「発達障害者(児)支援センター」の設置 検討	同左	開所
		発達障害支援コーディネーターの設置・検討	同左	設置
		支援シート(カルテ)の作成 検討	同左	作成・活用
		人材育成 関係機関との連携強化 再掲 122	同左	同左
		巡回相談の充実 再掲 122	同左	同左
事業費		——千円	——千円	——千円
育成室事業の充実 再掲 122		療育の充実	同左	同左
		発達相談の充実	同左	同左
事業費		——千円	——千円	——千円

特別支援学級の新設 再掲 132	知的障害・中学校 開設準備	知的障害・中学校開設 船堀小学校 開設準備	船堀小学校 開設 春江小学校 開設準備
事業費	——千円	——千円	——千円
特別支援教育の推進 再掲 132	特別支援教育推進校 の指定	同左	同左
	校内研修の実施	同左	同左
	専門研修の実施	同左	同左
事業費	——千円	——千円	——千円
専門家チームの派遣 再掲 132	実施	同左	同左
事業費	1, 772千円	1, 772千円	1, 772千円
職員研修・巡回指導 再掲 134	実施	同左	同左
事業費	——千円	——千円	——千円

「一」:事業費は、発達障害児(者)の支援の充実(施策コード 426)、発達障害児を支援する人材の育成【新】、育成室事業の充実、発達障害児のための巡回相談の充実(施策コード 122)、特別支援学級の新設、特別支援教育の推進、専門家チームの派遣(施策コード 132)、職員研修・巡回指導(施策コード 134)の中で計上しています。

417 障害のある人々の健康支援

障害者(児)等の歯科診療が、より効果的・効率的な運営が出来るよう、引き続き歯科医師会と連携し、運営支援を行います。また、理学療法士、作業療法士及び言語聴覚士が、疾病や加齢により身体に障害のある区民のリハビリテーションに関する相談・支援を行います。

施策コード	417	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
江戸川区口腔保健センター への事業補助		運営支援	同左	同左
事業費		90, 277千円	90, 277千円	90, 277千円
中途障害者への リハビリテーションの実施		自立支援セミナー(リハ ビリ教室)の実施 62回	同左	同左
事業費		715千円	715千円	715千円
リハビリテーション相談		随時相談 (訪問・電話等) 相談日 年36回	同左	同左
事業費		931千円	931千円	931千円
リハビリテーションに関する 知識及び技術の普及啓発		講習会の開催 3回 リハビリテーション研修 2回	同左	同左
事業費		180千円	180千円	180千円

在宅リハビリテーション指導 の実施	リハビリテーション指導 (訪問・電話等)	同左	同左
事業費	216千円	210千円	210千円

418 障害に関する身近な相談・情報提供体制の充実

区内の障害福祉等の関係機関と連携しながら、適切な情報提供に努めます。併せて、地域自立支援協議会を運営し、障害者に関する施策の推進に関して、関係機関相互の連絡調整等を図ります。

施策コード	418	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
地域自立支援協議会の開催		3回	同左	同左
事業費		625千円	625千円	625千円

419 職業訓練と就労の場づくり

一般就労への移行を推進するため、「江戸川区障害福祉計画」に基づき、企業、養護学校、公共職業安定所等の関係機関との連携を図りながら、就労支援等に努めます。

施策コード	419	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
障害者就労支援センターの 運営		実施	同左	同左
事業費		64, 898千円	64, 898千円	64, 898千円

420 生きがいと社会貢献の場づくり

障害者の自立と社会参加の拡大を図るため、外出困難な身体又は知的障害者に対し、タクシーの乗車に係る料金の一部を助成するとともに、一定の障害を有する身体障害者が自ら使用する自動車、一定の障害を有する身体障害又は知的障害者(児)の介護者が運転する自動車燃料費の一部を助成します。

施策コード	420	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
福祉タクシー券の助成		実施	同左	同左
事業費		398, 356千円	※※※千円	※※※千円
自動車燃料費の助成		実施	同左	同左
事業費		53, 669千円	※※※千円	※※※千円

421 障害のある人々が安心して住める多様な住宅の整備

障害者が、住み慣れた地域でいつまでも安心して生活が続けられるよう、グループホーム等の運営支援を行います。また、住まいの改造等、住居の整備を支援します。

施策コード	421	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
知的障害者グループホーム 等の運営支援		実施	同左	同左
事業費		23, 365千円	※※※千円	※※※千円
民間賃貸住宅家賃助成		実施	同左	同左
事業費		10, 423千円	※※※千円	※※※千円
住まいの改造助成		実施	同左	同左
事業費		9, 608千円	※※※千円	※※※千円

422 身近な地域での施設整備

区立知的障害者向け施設の定員増及びサービスの質の向上を図ります。併せて、障害福祉サービスの需要に柔軟に対応するとともに、その質の向上を図るため、区立障害者施設において指定管理者制度の導入を推進します。

施策コード	422	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
区立障害者施設における指定管理者導入計画		指定管理新規施設 運営開始 新規施設1カ所の選定	指定管理新規施設 運営開始 新規施設1カ所の選定 更新3カ所の選定	指定管理新規施設 運営開始
事業費		——千円	——千円	——千円
区立障害者施設の充実		定員489名	定員579名	同左
事業費		——千円	——千円	——千円
希望の家新館建設		工事	開設・運営	運営
事業費		914, 202千円	※※※千円	※※※千円

「—」:事業費は、希望の家新館建設(施策コード 422)の中で計上しています。

(2)精神障害のある人々の社会復帰への支援

423 自助グループなどへの支援

家族が互いの悩みや気持ちを分かち合い、精神的な負担を軽減することで、生き生きとした生活に結びつくよう、交流の場づくりや学習会・講演会の開催等の活動を支援していきます。

施策コード	423	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
家族会が主体的に活動するための支援		家族同士の交流会・家族会主催の講演会等の開催	同左	同左
事業費		200千円	200千円	200千円

424 社会復帰への支援

精神障害者の社会復帰の促進を図り、その自立と社会活動の参加を支援するため、地域活動支援センター、グループホーム等の運営支援、退院に係る関係機関との連絡調整、就労支援等を実施します。

施策コード	424	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
心の専門グループワークの実施		8か所	同左	同左
事業費		16,514千円	16,514千円	16,514千円
総合的相談体制の整備		地域活動支援センターⅠ型※を中心とする相談支援	同左	同左
事業費		76,229千円	76,229千円	76,229千円
医療と連携した社会復帰支援		連携会議の実施 アウトリーチ事業活用	同左	同左
事業費		6,759千円	6,759千円	6,759千円
自立のための支援施策の充実		退院促進支援・居住支援・就労支援・自立生活体験各事業の実施	就労支援事業・自立生活体験事業の実施	同左
事業費		58,611千円	29,262千円	29,262千円
就労訓練や就労の場づくり		就労移行支援事業所等における取組みの実施	同左	同左
事業費		54,666千円	58,746千円	62,826千円
作業・レクリエーション・交流等を通じての居場所づくり		地域活動支援センターⅢ型※による活動	同左	同左
事業費		41,667千円	41,667千円	41,667千円

※ 地域活動支援センターⅠ型:創作的活動等の提供等の他に、精神保健福祉士等を配置し、関係機関等との連携を図りながら、相談支援等を実施する機関。

※ 地域活動支援センターⅢ型:創作的活動等の提供等の他に、当事者同士の交流、スタッフへの相談等を通し、社会生活のステップア

ップを支援する機関。

425 精神障害のある人々についての理解促進

サービス事業者の資質向上を目指し、精神障害者に対する正しい知識と支援方法等を学ぶための講座・講習を開催します。また、支援施設・事業所で活動するボランティアを育成し、障害者に対する区民の理解促進を図ります。

施策コード	425	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
民間事業者やNPO等サービス供給主体の指導・育成・相談体制の整備		事業者研修・ボランティア養成研修の実施	同左	同左
事業費		139千円	139千円	139千円

(3)発達障害者(児)へのライフステージに応じた支援

426 発達障害者(児)への支援

乳幼児健診や集団の場等において早期発見できる体制の充実とあわせ、早期の発達支援につなげるため、「発達障害※支援会議」や「発達障害庁内連絡調整会議」を中心とした関係機関との連携を深めます。また、発達障害に関する相談、親子グループ等の事業の支援等を充実させ、支援者向けマニュアルの作成や児童発達支援事業所等が実施する研修等への支援を行います。

さらに、ライフステージに応じた支援ができるよう、(仮)「発達障害者(児)支援センター」を設置し、これまで支援の狭間におかれてきた知的障害を伴わない発達障害者(児)への支援をします。

併せて、区民への理解を深めるため、普及啓発活動を実施します。

※ **発達障害**: 発達障害者支援法第2条の定義に基づき、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害(LD)※、注意欠陥多動性障害(AD/HD)※その他これに類する脳機能の障害であってその症状が低年齢において出現するもの。

※ **学習障害(LD)**: 基本的には全般的な知的発達に遅れはないが、聞く、話す、読む、書く、計算する又は推論する能力のうち特定のものの習得と使用に著しい困難を示す様々な状態を指すもの。

※ **注意欠陥多動性障害(AD/HD)**: 不注意、多動性及び衝動性を中心とした症状とする発達障害。

施策コード	426	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
早期発見のための乳幼児健診の充実 再掲 416		実施	同左	同左
相談体制の充実 再掲 416		実施	同左	同左
発達障害児の親子グループへの支援 再掲 416		実施	同左	同左
事業費		14,977千円	※※※千円	※※※千円

関係機関との連携強化 再掲 416	発達障害支援会議等 の運営 連携の推進	同左	同左
事業費	621千円	※※※千円	※※※千円
支援者への支援 再掲 416	児童発達支援事業所 等支援 実施	同左	同左
	支援者向けマニュアル の作成 検討	作成	改訂
事業費	1,000千円	※※※千円	※※※千円
発達障害に係る普及 啓発事業 再掲 416	リーフレット作成・配布 講演会実施	実施	同左
事業費	2,679千円	※※※千円	※※※千円
ライフステージに応じた支援 再掲 416	(仮)「発達障害者(児) 支援センター」の設置 検討	同左	開所
	発達障害支援コーディネーターの設置・検討	同左	設置
	支援シート(カルテ)の 作成 検討	同左	作成・活用
事業費	0千円	※※※千円	※※※千円
発達障害児を支援する人材 の育成 【新】 再掲 122	人材育成 関係機関との連携強化	同左	同左
事業費	——千円	——千円	——千円
発達障害児のための巡回 相談の充実 再掲 122	巡回相談の充実	同左	同左
事業費	——千円	——千円	——千円
育成室事業の充実 再掲 122	療育の充実	同左	同左
	発達相談の充実	同左	同左
事業費	——千円	——千円	——千円
特別支援学級の新設 再掲 132	知的障害・中学校 開設準備	知的障害・中学校開設 船堀小学校 開設準備	船堀小学校 開設 春江小学校 開設準備
事業費	——千円	——千円	——千円
特別支援教育の推進 再掲 132	特別支援教育推進校 の指定	同左	同左
	校内研修の実施	同左	同左
	専門研修の実施	同左	同左

事業費	——千円	——千円	——千円
専門家チームの派遣 再掲 132	実施	同左	同左
事業費	——千円	——千円	——千円
教育研究所の教育相談の 充実 再掲 131	相談室4箇所	相談室4箇所	相談室4箇所
事業費	——千円	——千円	——千円
職員研修・巡回指導 再掲 134	実施	同左	同左
事業費	——千円	——千円	——千円

「一」：事業費は、発達障害児を支援する人材の育成【新】、育成室事業の充実、発達障害児のための巡回相談の充実（施策コード 122）、教育研究所の教育相談の充実（いじめ・不登校・発達障害等）（施策コード 131）、特別支援学級の新設・移設、特別支援教育の推進、専門家チームの派遣（施策コード 132）、職員研修・巡回指導（施策コード 134）の中で計上しています。

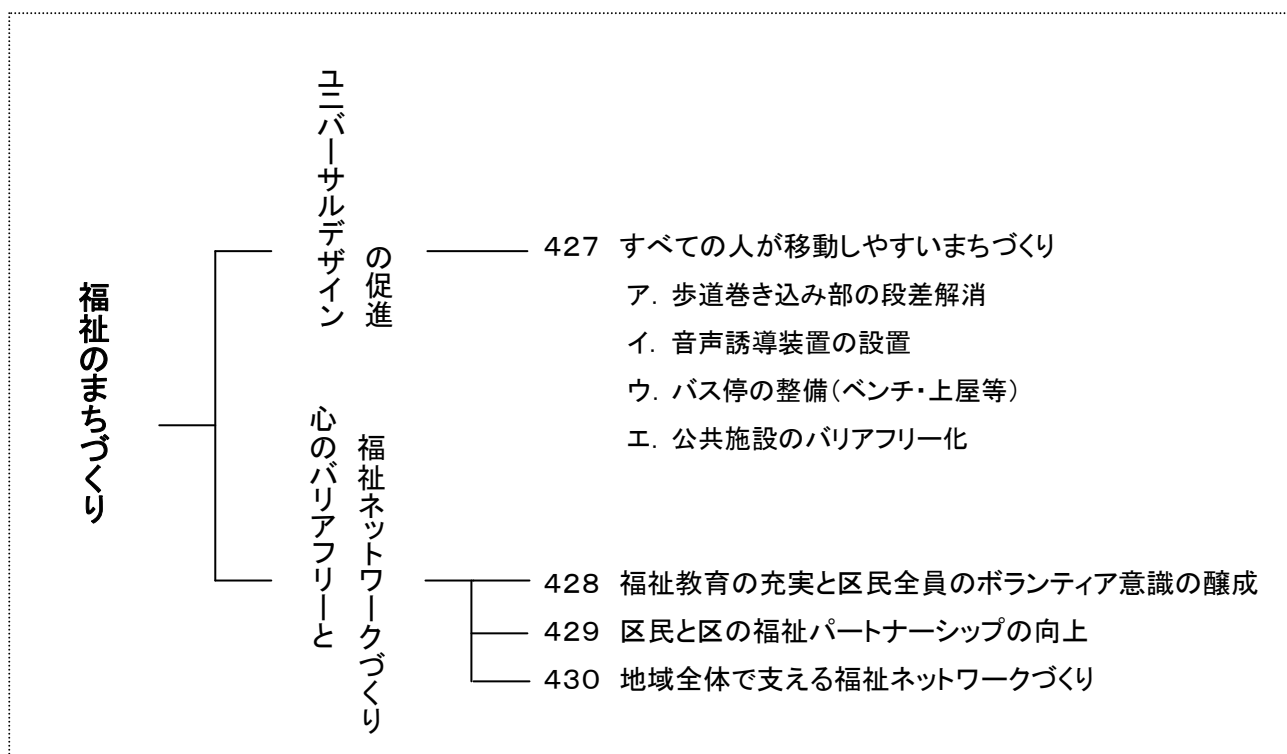
4 福祉のまちづくり

【施策の考え方】

歩道の拡幅、道段差の解消、公共施設のバリアフリー化等を推進し、年齢、障害の有無等に関わりなく、区民誰もが活動の場を広げ、社会参加のしやすいまちづくりを進めます。

また、すべての区民がたすけあい、支えあい、ともに生きる社会をつくるために、子どもの頃から福祉の関心を高めるよう地域社会、学校、職場等のあらゆる場で心のバリアフリーを推進し、区民全員のボランティア意識の醸成、福祉ネットワークの形成等に取り組めます。

【施策体系図】



(1)ユニバーサルデザイン※の促進

427 すべての人が移動しやすいまちづくり

バリアフリー※のまちづくりを進めるために、歩道巻き込み部の段差解消、音声誘導装置の設置、バス停の整備等を推進するとともに、エレベーター、自動扉の設置等のバリアフリー化を推進します。また、誰もが利用しやすく快適に移動できる駅の整備を、鉄道事業者に要請します。

※ユニバーサルデザイン:年齢、性別、能力の有無等にかかわらず、どんな人でも使えるように設計されたデザイン。

※バリアフリー:人が生活する上で妨げとなる障害(バリア)が街、施設、道路、住宅、人々の意識、社会等から取り除かれた状態。

施策コード	427	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
歩道巻き込み部の段差解消		道路改修及び占用工事にあわせて改修	同左	同左
事業費		50,000千円	50,000千円	50,000千円
音声誘導装置の設置		3基	同左	同左
事業費		1,953千円	1,953千円	1,953千円

バス停の整備 (上屋・ベンチ等)	2箇所	同左	同左
事業費	10,080千円	10,080千円	10,080千円
公共施設のバリアフリー化	エレベーター設置1施設 手洗所改修10施設	エレベーター設置1施設 手洗所改修11施設	手洗所改修7施設
事業費	501,179千円	482,000千円	281,000千円

(2)心のバリアフリーと福祉ネットワークづくり

428 福祉教育の充実と区民全員のボランティア意識の醸成

福祉教育の充実により区民全員のボランティア意識の醸成を図ります。

429 区民と区の福祉パートナーシップの向上

地域で福祉を支えられるように、区民と区の福祉パートナーシップの向上に取り組めます。

430 地域全体で支える福祉ネットワークづくり

すべての人が地域の中で安心して社会生活が送れるよう、地域福祉を担う関係機関等の連携を強化していきます。

第4節

区民参加による環境づくり

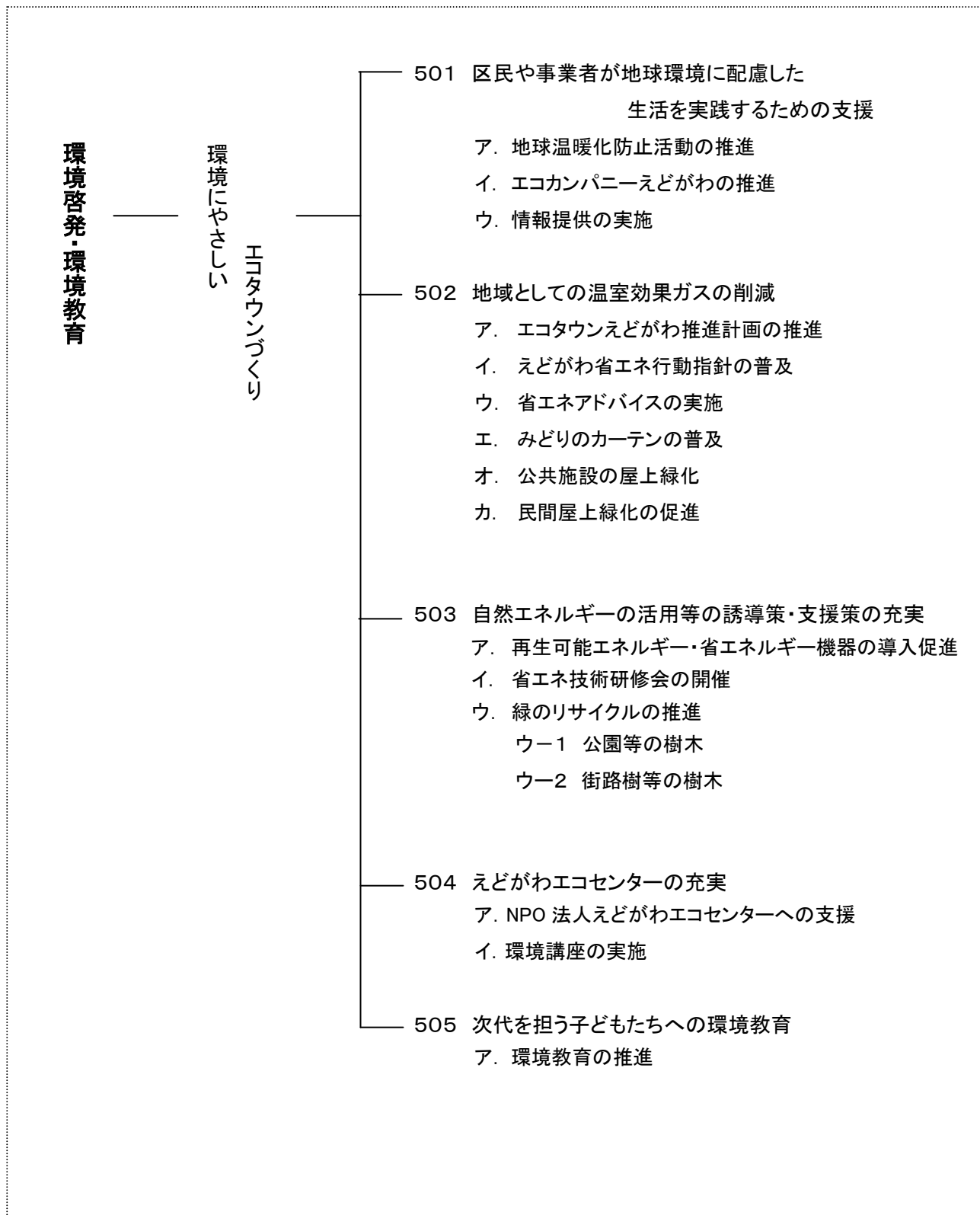
- 1 環境啓発・環境教育
(1) 環境にやさしいエコタウンづくり
- 2 資源循環（ごみの減量と資源リサイクル）
(1) ライフスタイルの見直しによるごみの大幅な減量化
(2) 資源リサイクルの拡充
- 3 自然との共生・ふれあい
(1) 水と緑でネットワークする「いのちのオアシス」づくり
(2) 自然とのふれあいの拡大
- 4 都市環境問題・有害化学物質への対応
(1) 生活環境の改善・保全と新たな環境汚染問題への対応

1 環境啓発・環境教育

【施策の考え方】

一人ひとりが環境に対する高い意識を持てるように、幅広い年齢層が参加できる多様な学習の機会を整えます。特に「暮らしと環境」との関係をわかりやすく体系的に学べるようにするとともに、学校等において、次代を担う子どもたちに環境教育を積極的に行います。また、えどがわエコセンターと連携し、環境啓発、環境教育等を進め、資源循環、自然とのふれあい等の取組みにつなげます。

【施策体系図】



(1)環境にやさしいエコタウンづくり

501 区民や事業者が地球環境に配慮した生活を実践するための支援

地球温暖化防止を図るため、えどがわエコセンター※と連携し、省エネ・省資源・ごみ減量等にみんなが取り組む「もったいない運動えどがわ」を拡大します。併せて、区独自の環境取組制度「エコカンパニーえどがわ」事業※の普及促進を図り、事業者の地球温暖化防止等の環境に配慮した自主的な取組みを支援します。

※ **えどがわエコセンター**:江戸川区という地域社会を舞台として区民、事業者、行政が連携・協働し、多くの人々に環境にやさしい生活を広げるため設立した特定非営利活動法人。

※ **「エコカンパニーえどがわ」事業**:環境活動の取組みに対する宣言をした事業所を、「環境取組事業所」として登録し、年一回、その活動を報告する制度。

施策コード	501	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
地球温暖化防止活動の推進		もったいない運動 えどがわの拡大	同左	同左
事業費		3,257千円	3,257千円	3,257千円
エコカンパニーえどがわの 推進	登録事業所の拡大 PR	同左	同左	同左
	事業者の取組み支援	同左	同左	同左
事業費		750千円	750千円	750千円
情報提供の実施	情報紙発行支援及び ホームページの充実	同左	同左	同左
事業費		—— 千円	—— 千円	—— 千円

「—」:事業費は、NPO 法人えどがわエコセンターへの支援(施策コード 504)の中で計上しています。

502 地域としての温室効果ガスの削減

地域をあげて地球温暖化防止を図るため、エコタウンえどがわ推進計画※の推進に努めます。また、えどがわ省エネ行動指針※の普及や省エネアドバイス※等により活動を拡大します。

公共施設の屋上緑化を推進するとともに、住宅等整備事業における基準等に関する条例※に基づいた民間敷地内の緑化、屋上緑化、駐車場設置部分等に透水性舗装※、保水性舗装※を誘導するとともに省エネルギー機器設置住宅に対する容積率の緩和をすることにより省エネ住宅の建設を促進し、ヒートアイランド現象※の抑制を図ります。

※ **エコタウンえどがわ推進計画**:地球温暖化防止を図るため、温室効果ガス削減の数値目標等を定めた計画。

※ **えどがわ省エネ行動指針**:平成 22～23 年度に実施した家庭の省エネ実験の結果から作成した江戸川区版省エネ行動指針。

※ **省エネアドバイス**:中小事業者を対象に節電アドバイザーを派遣し、それぞれの事業所にあった対策を提案する事業。

※ **住宅等整備事業における基準等に関する条例**:中高層共同住宅、一定規模以上の土地利用の基準等を定めたもの。

※ **透水性舗装**:雨水の地中への浸透により、雨水流出抑制、雨天時の歩行性の向上等に効果がある舗装。

※ **保水性舗装**:道路の舗装断面に保水機能をもたせた舗装。雨天時に吸収した水分を晴天時に蒸発させ、気化熱を奪うことにより路面の温度が下がる効果が期待できる。

※ **ヒートアイランド現象**:都市中心部の都市活動の結果として生じる気温上昇現象。

施策コード	502	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
エコタウンえどがわ推進計画 の推進	推進本部の運営	同左	同左	同左
	計画の実施・周知	同左	同左	同左
事業費		989千円	989千円	989千円
えどがわ省エネ行動指針 の普及	区民への普及	同左	同左	同左

事業費	461千円	461千円	461千円
省エネアドバイスの実施	省エネアドバイスの実施	同左	同左
事業費	6,056千円	6,056千円	6,056千円
みどりのカーテンの普及	モニター事業	同左	同左
	区民への周知	同左	同左
事業費	—— 千円	—— 千円	—— 千円
公共施設の屋上緑化	1施設	3施設	同左
事業費	21,000千円	63,000千円	63,000千円
民間屋上緑化の促進	促進件数 100件	同左	同左
事業費	0千円	0千円	0千円

「ー」:事業費は、NPO 法人えどがわエコセンターへの支援(施策コード 504)の中で計上しています。

503 自然エネルギーの活用等の誘導策・支援策の充実

住宅や事業所への再生可能エネルギー・省エネルギー機器の導入を促進するため、えどがわエコセンターで実施する太陽エネルギー利用講習会への支援や、機器の導入に対する補助・支援制度の周知を行います。

省エネ技術研修会を開催し、環境に配慮した事業所の運営を支援するとともに、省エネルギー機器の効果等の紹介を行うことにより導入を促進します。

街路樹の剪定枝のチップ化を推進し、肥沃化を図って資源の有効活用を促進します。また、落葉の堆肥化を推進し、啓発に努めます。併せて、樹木の管理作業に伴う剪定枝葉の有効利用を図るため、チップ化、堆肥化等を活用する研究を推進し、リサイクルを促進します。

施策コード		503	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度	
再生可能エネルギー・省エネルギー機器の導入促進		区民への情報提供	同左	同左	
事業費		—— 千円	—— 千円	—— 千円	
省エネ技術研修会の開催		省エネ技術研修会の開催	同左	同左	
事業費		99千円	99千円	99千円	
緑のリサイクルの推進	公園等の樹木	リサイクル率100% 剪定枝のチップ化 1,000m ³ 落ち葉の腐葉土化 300m ³	同左	同左	
	事業費	20,585千円	20,585千円	20,585千円	

	街路樹等の樹木	剪定枝リサイクル率 100% チップ化1,200m ³ 堆肥化200m ³	同左	同左
	事業費	17,073千円	17,073千円	17,073千円

「一」:事業費は、NPO 法人えどがわエコセンターへの支援(施策コード 504)の中で計上しています。

504 えどがわエコセンターの充実

区民、事業者及び区が連携・協働した環境活動の輪をさらに広げるため、その中心となるえどがわエコセンターの活動を支援します。また、地域の環境学習リーダーを育成するための「おきがる環境講座」や、家庭から出るごみを減らすための「生ごみリサイクル講習会」等の環境講座を、えどがわエコセンターと連携して実施します。

施策コード	504	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
NPO 法人えどがわエコセンターへの支援		活動支援	同左	同左
事業費		51,872千円	51,872千円	51,872千円
環境講座の実施		各種環境講座	同左	同左
		人材育成事業	同左	同左
事業費		1,015千円	1,015千円	1,015千円

505 次代を担う子どもたちへの環境教育

えどがわエコセンターで実施するグリーンプラン推進校※事業や、小・中学校の環境学習事業等を支援します。また、「学校版もったいない運動」と連携し、環境教育のさらなる拡大を図ります。

さらに、諸団体等が地域で行っている環境に関する活動に対して支援を行います。

※ グリーンプラン推進校:えどがわエコセンターと協働し、学校における環境学習を推進するモデル校。

施策コード	505	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
環境教育の推進		グリーンプラン推進校 の拡大及び小中学校 の環境学習支援	同左	同左
		学校版もったいない 運動との連携	同左	同左
		地域の実情に合わせた 活動の支援	同左	同左
事業費		—— 千円	—— 千円	—— 千円

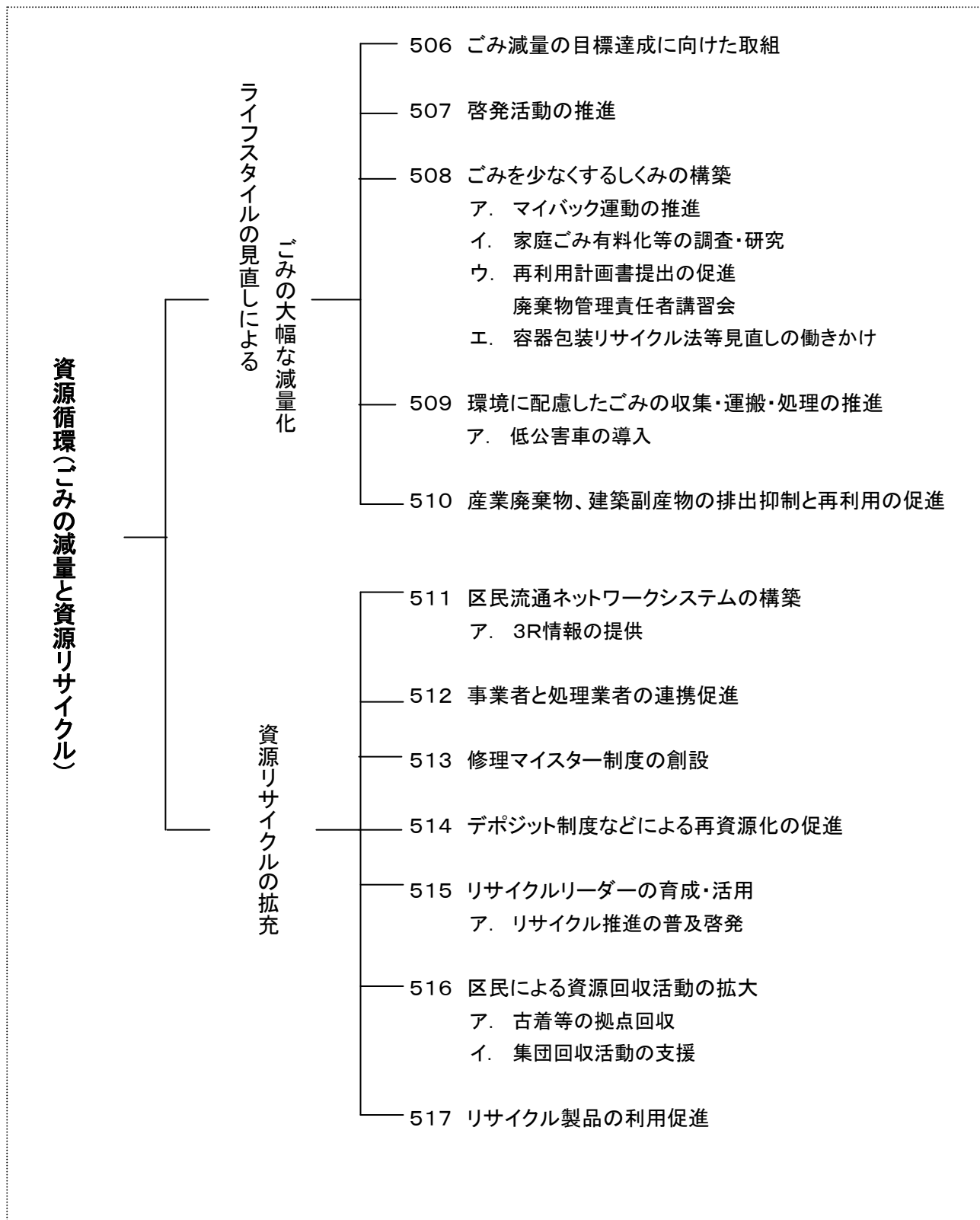
「一」:事業費は、NPO 法人えどがわエコセンターへの支援(施策コード 504)の中で計上しています。

2 資源循環(ごみの減量と資源リサイクル)

【施策の考え方】

ごみの量は、平成11年10月から実施した資源回収事業の全区展開により一時減少しましたが、現在は人口増等により微増傾向にあり、ごみの減量をより一層推進することが必要です。限りある資源を大切にするために、区民と事業者が協力するとともに、効率的に3R(リデュース(発生抑制)・リユース(再使用)・リサイクル(再資源化))を推進し、清掃事業と一体となった循環型社会形成に向けたしくみづくりが求められています。

【施策体系図】



(1) ライフスタイルの見直しによるごみの大幅な減量化

506 ごみ減量の目標達成に向けた取組

「一般廃棄物処理基本計画」に基づき、平成33年度までに平成12年度に比べて20%のごみ減量を図るため、資源化可能物である容器包装プラスチックのリサイクルを推進し、集積所回収の実施に努めます。

507 啓発活動の推進

ごみ減量・リサイクルに関する取組みを拡大するため、学校、町会・自治会等を単位として出前講座等の啓発活動を推進します。

また、ごみ減量の方法及びリサイクルの効果について、清掃・リサイクルニュースを発行し、3R(発生抑制、再使用、再資源化)の啓発等に努めます。併せて、区立小学校4年生全員に環境教育冊子「えどがわくのごみダイエットにチャレンジ」を配付し、環境学習の促進を図ります。

508 ごみを少なくするしくみの構築

商店会やスーパー等の事業者、区民、区の三者が連携しながら、ごみ減量の取組みを推進します。

また、効果的なごみ減量施策のあり方について、学識経験者・区民・事業者の代表による廃棄物減量等推進審議会等で調査・研究します。

さらに、事業用面積が1,000㎡を超える大規模事業所を対象に、再利用計画書の作成・提出を促すとともに、廃棄物管理責任者講習会を実施し、事業者におけるごみの発生抑制、事業者処理責任の徹底を促進するとともに、拡大生産者責任に基づいて、事業者が主体的にリサイクルに取り組むよう、国や事業者に働きかけを行います。

施策コード	508	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
マイバッグ運動の推進		マイバッグキャンペーン の実施 マイバッグコンテストの 実施	同左	同左
事業費		2,565千円	2,565千円	2,565千円
家庭ごみ有料化等の 調査・研究		廃棄物減量等推進 審議会の開催 組成調査の実施	同左	同左
事業費		3,090千円	3,090千円	3,090千円
再利用計画書提出の促進 廃棄物管理責任者講習会		実施	同左	同左
事業費		1,942千円	※※※千円	※※※千円
容器包装リサイクル法等 見直しの働きかけ		実施	同左	同左
事業費		0千円	0千円	0千円

509 環境に配慮したごみの収集・運搬・処理の推進

ごみ収集の直営車両の買い替えに当たっては、低公害車の購入を継続するとともに、雇上車両についても、引き続き、低公害車の使用を促すよう働きかけます。

施策コード	509	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
低公害車の導入		小型プレス車1台	耐用年数を超えた車両の買い替え時に導入	同左
事業費		8,295千円	※※※千円	※※※千円

510 産業廃棄物、建築副産物の排出抑制と再利用の促進

建設リサイクルの届出及び分別解体を確実に推進するため、届出の徹底、意識啓発等を図るとともに、引き続き現場パトロールの実施を推進します。

(2) 資源リサイクルの拡充

511 区民流通ネットワークシステムの構築

区民の3R(リデュース(発生抑制)・リユース(再使用)・リサイクル(再資源化))の取組みを促進するために、わかりやすい情報を情報紙や区ホームページ等を活用して提供します。

施策コード	511	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
3R情報の提供		3R店舗情報の提供 リサイクルバンク情報の提供	同左	同左
事業費		896千円	896千円	896千円

512 事業者と処理業者の連携促進

家電製品等の資源リサイクルを確実、かつ、より効果的に行うため、事業者、処理業者及び区が必要な情報交換を適宜行えるよう連携の促進を図ります。

513 修理マイスター※制度の創設

ものを長く大切に使うため、事業者等の技術を活用して、「修理マイスター制度」に向けた人材育成に取り組めます。

※ **マイスター**:ドイツのものづくりの「親方」。「親方の下で修行して一人前に」という中世からのものづくりのシステムを国家資格として整備したものがドイツのマイスター制度。

514 デポジット制度※などによる再資源化の促進

国及び事業者に対して再資源化品目の拡大の要請等を行うことに努めます。

また、デポジット制度については、その導入を国に働きかけるとともに、イベント時のリユースカップの導入等の先進的な取組みを検討します。

※ **デポジット制度**:ビールびん等のように、預り金、保証金等を取り、返却時に返金することにより、確実な返却を促すためのシステム。

515 リサイクルリーダーの育成・活用

リサイクルに関心のある区民を対象とする講座や見学会を実施し、ごみ減量・リサイクル活動の中心となる人材を育成します。

施策コード	515	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
リサイクル推進の普及啓発		リサイクル施設見学会 等の実施 情報紙の発行	同左	同左
事業費		8, 145千円	8, 145千円	8, 145千円

516 区民による資源回収活動の拡大

資源リサイクルを図るため、区民が主体となる集団回収活動を積極的に拡大します。

また、実施団体が安定的に運営できるよう、報奨金の支給、回収補助用具の支援等を行うとともに、未実施団体への働きかけを進めます。併せて、ごみ減量と資源化推進を図るため、区内施設を活用した古着等の拠点回収を実施します。

施策コード	516	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
古着等の拠点回収		古着・古布リサイクル 移動回収の実施	実施	同左
事業費		6, 177千円	7, 400千円	7, 400千円
集団回収活動の支援		支援の実施 (実施団体638団体)	同左 (実施団体648団体)	同左 (実施団体658団体)
事業費		94, 114千円	95, 000千円	96, 000千円

517 リサイクル製品の利用促進

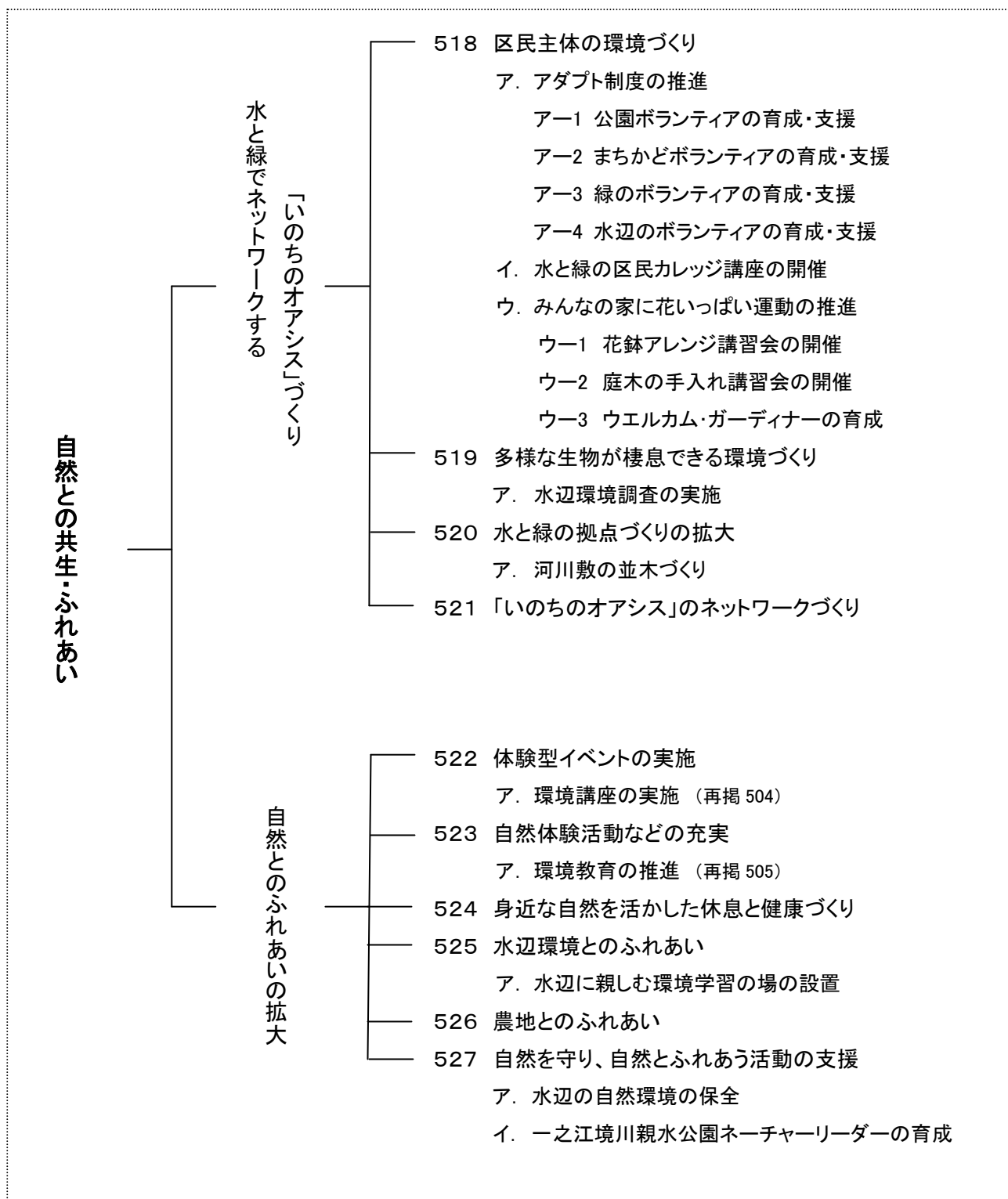
資源リサイクルを促進するため、区は事業者として、自らリサイクル製品の購入を促進するとともに、区民、事業者等のリサイクル製品の購入(グリーン購入)の促進を図ります。

3 自然との共生・ふれあい

【施策の考え方】

区には、区民の保全活動に支えられ、水と緑豊かな自然を活かしたうるおいの感じられる生活空間が形成されています。この特長を活かし、様々な生き物が棲む「いのちのオアシス」づくり、「花と緑の拠点」づくり等を進め、誰もが気軽に水と緑に親しめるような環境を整備します。また、これらの環境を利用して、自然とふれあうことのできる機会を充実します。

【施策体系図】



(1)水と緑でネットワークする「いのちのオアシス」づくり

518 区民主体の環境づくり

アダプト制度※を利用した各ボランティアの活動の展開を図っていきます。

区民相互の交流の促進、相談支援、情報の収集・提供等に努めるとともに、えどがわエコセンター※との連携を図りながら、講習会、自然観察会等の開催等を行い、環境づくりのための様々な区民の活動を支援します。

また、みんなの家に花いっぱい運動を推進し、四季おりおりの花と緑があふれるまちづくりを進めます。

※ アダプト活動:道路、河川、公園等の公共スペースで実施する清掃等のボランティア活動。

※ えどがわエコセンター:江戸川区という地域社会を舞台として区民、事業者、行政が連携・協働し、多くの人々に環境にやさしい生活を広げるため設立した特定非営利活動法人。

施策コード		518	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度	
アダプト制度の推進	公園ボランティアの育成・支援	公園ボランティア連絡会の支援等	同左	同左	
	事業費	7,216千円	7,216千円	7,216千円	
	まちかどボランティアの育成・支援	活動の支援相談	同左	同左	
	事業費	51千円	51千円	51千円	
	緑のボランティアの育成・支援	活動の支援相談	同左	同左	
	事業費	304千円	304千円	304千円	
	水辺のボランティアの育成・支援	水辺の活動交流会等の支援	同左	同左	
	事業費	1,496千円	1,496千円	1,496千円	
水と緑の区民カレッジ講座の開催		25講座	同左	同左	
事業費		2,796千円	2,796千円	2,796千円	
みんなの家に花いっぱい運動の推進	花鉢アレンジ講習会の開催	16会場	同左	同左	
	事業費	450千円	450千円	450千円	
	庭木の手入れ講習会の開催	講習会 9会場	同左	同左	
		花と緑の相談所 23会場	同左	同左	
	事業費	118千円	118千円	118千円	
	ウェルカム・ガーディナーの育成	5会場	同左	同左	
事業費		1,277千円	1,277千円	1,277千円	

519 多様な生物が棲息できる環境づくり

区民に身近なところで、より多様な生物が棲息できる環境づくりを推進します。また、水辺環境調査をえどがわエコセンターと連携して実施することで、現状把握を行い、そのデータを水辺の自然の保全活動に活用していきます。

施策コード	519	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
水辺環境調査の実施		水辺環境調査	同左	同左
事業費		1, 829千円	1, 829千円	1, 829千円

520 水と緑の拠点づくりの拡大

河川の堤防天端及び河川敷への桜を主とした植栽を計画的に実施し、環境整備に努めます。

施策コード	520	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
河川敷の並木づくり		新川の桜等 旧中川の桜等	新川の桜等	
事業費		14, 805千円	31, 000千円	

521 「いのちのオアシス」のネットワークづくり

地域の憩いの場となる利用の促進を図るとともに、生態系に配慮した、より自然に近い親水緑道の整備を図ります。

(2) 自然とのふれあいの拡大

522 体験型イベントの実施

えどがわエコセンターで実施する自然学習会、セミナー等の環境講座を支援します。

施策コード	522	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
環境講座の実施 再掲 504		環境講座	同左	同左
事業費		—— 千円	—— 千円	—— 千円

「ー」: 事業費は、環境講座の実施(施策コード 504)の中で計上しています。

523 自然体験活動などの充実

えどがわエコセンターを中心とした、諸団体が地域で行う環境に関する活動に対して支援を行います。

施策コード	523	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
環境教育の推進 再掲 505		地域の実情に合わせた 活動の支援	同左	同左
事業費		—— 千円	—— 千円	—— 千円

「—」:事業費は、NPO 法人えどがわエコセンターへの支援(施策コード 504)の中で計上しています。

524 身近な自然を活かした休息と健康づくり

河川堤防上の通路等の利用を図り、サイクリングロードの整備の充実に努める等、健康増進のために、自然の中で気持ちよく散歩等が行える環境づくりを推進します。

525 水辺環境とのふれあい

えどがわエコセンターとの連携を図りながら、豊かな水辺空間を活用した環境学習の場づくりを行います。

また、江戸川、荒川等における住民活動を推進するとともに、河川環境の充実に向けて流域自治体間の交流及び連携の促進を図ります。

施策コード	525	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
水辺に親しむ環境学習の場の設置		環境学習の場としての活用 3箇所	同左	同左
事業費		0千円	0千円	0千円

526 農地とのふれあい

農地を身近な自然としてとらえ、保全及びその活用を図るとともに、区民農園、ふれあい農園等を充実し、区民が農業体験を通じて自然とふれあうことのできる機会の提供に努めます。また、農家の協力を得ながら、子供たちが農業体験できるような機会の充実に努めます。

527 自然を守り、自然とふれあう活動の支援

多くの生き物が生息する水辺の自然生態系を支えるアシ原や草原を荒川将来像計画2010推進計画※等に沿って保全していきます。

また、親水公園周辺に生息する生物や植物について学び、自然に親しみながら生物調査と環境学習指導者を育成します。

※荒川将来像計画2010推進計画:平成8年に策定した荒川将来像計画全体構想書について見直しを行い、「放水路から川らしい水辺へ」をテーマとして、より魅力的な荒川の姿を示し実現するための新計画のこと。

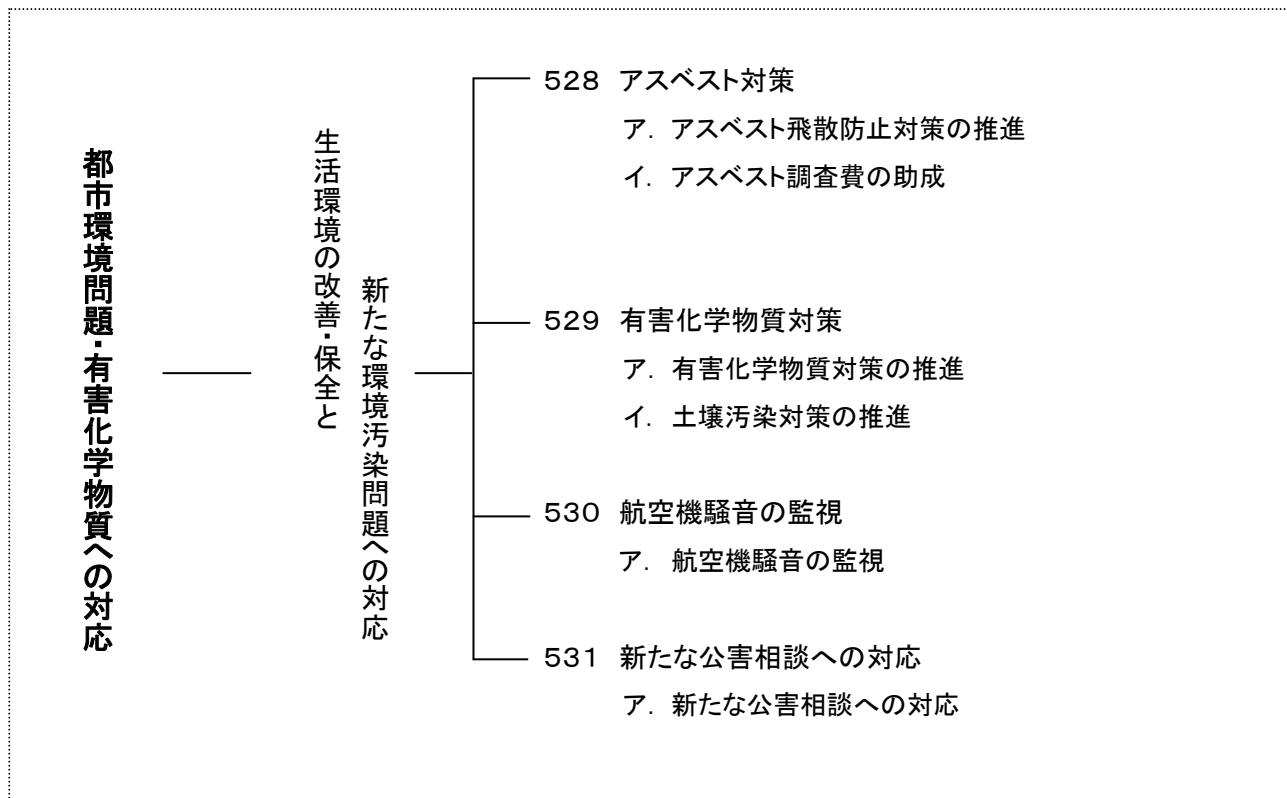
施策コード	527	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
水辺の自然環境の保全		草刈り等	同左	同左
事業費		2, 999千円	2, 999千円	2, 999千円
一之江境川親水公園 ネイチャーリーダーの育成		ネイチャーリーダーの 育成支援等	同左	同左
事業費		331千円	331千円	331千円

4 都市環境問題・有害化学物質への対応

【施策の考え方】

区民の暮らしに影響を及ぼす都市環境問題、有害化学物質等について、国及び都と協力しながら、区民、事業者等とともに対応します。また、問題の発生及び被害の拡大を防止するための情報の共有化を図り、リスクの低減に努めます。

【施策体系図】



(1)生活環境の改善・保全と新たな環境汚染問題への対応

528 アスベスト対策

アスベストを含む建材等が、建物の解体工事等により飛散する恐れがあることから、工事業者等に対してアスベストの確認や飛散防止について指導を強化します。

施策コード	528	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
アスベスト飛散防止対策の推進		建物解体工事対策及び 区内環境測定の実施	同左	同左
事業費		1,320千円	1,320千円	1,320千円
アスベスト調査費の助成		アスベスト調査費の助成	同左	同左
事業費		480千円	480千円	480千円

529 有害化学物質対策

国や都と連携し有害化学物質の把握に努め、事業者の適正な管理・使用を指導するとともに情報提供を行います。事業者の理解を得ながら、有害化学物質による汚染防止対策を推進します。

施策コード	529	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
有害化学物質対策の推進		事業場の調査・指導及び情報提供の実施	同左	同左
事業費		415千円	415千円	415千円
土壌汚染対策の推進		有害物取扱事業場の指導及び啓発の実施	同左	同左
事業費		0千円	0千円	0千円

530 航空機騒音の監視

羽田空港の悪天候時における区内着陸機の上空飛行による騒音影響を確認するため、清新町で航空機騒音測定の定点観測を継続するとともに、苦情・問い合わせが増加傾向にある離陸機の上空飛行に伴い発生する騒音についても監視を強化します。

また、国土交通省と航空機騒音低減に向けた協議を引き続き行っていきます。

施策コード	530	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
航空機騒音の監視	離陸機及び着陸機の騒音測定	同左	同左	同左
	国土交通省との騒音低減に向けた協議	同左	同左	同左
事業費		4,324千円	4,324千円	4,324千円

531 新たな公害相談への対応

空き家や生活騒音等の近隣問題から生じる様々な公害相談について、相談体制を充実させるとともに関係部署との連携を図り解決へ導きます。また、当事者間で自己解決できるように支援していきます。

施策コード	531	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
新たな公害相談への対応		状況に応じた適切な対応	同左	同左
事業費		456千円	456千円	456千円

第5節

活力を創造する産業づくり

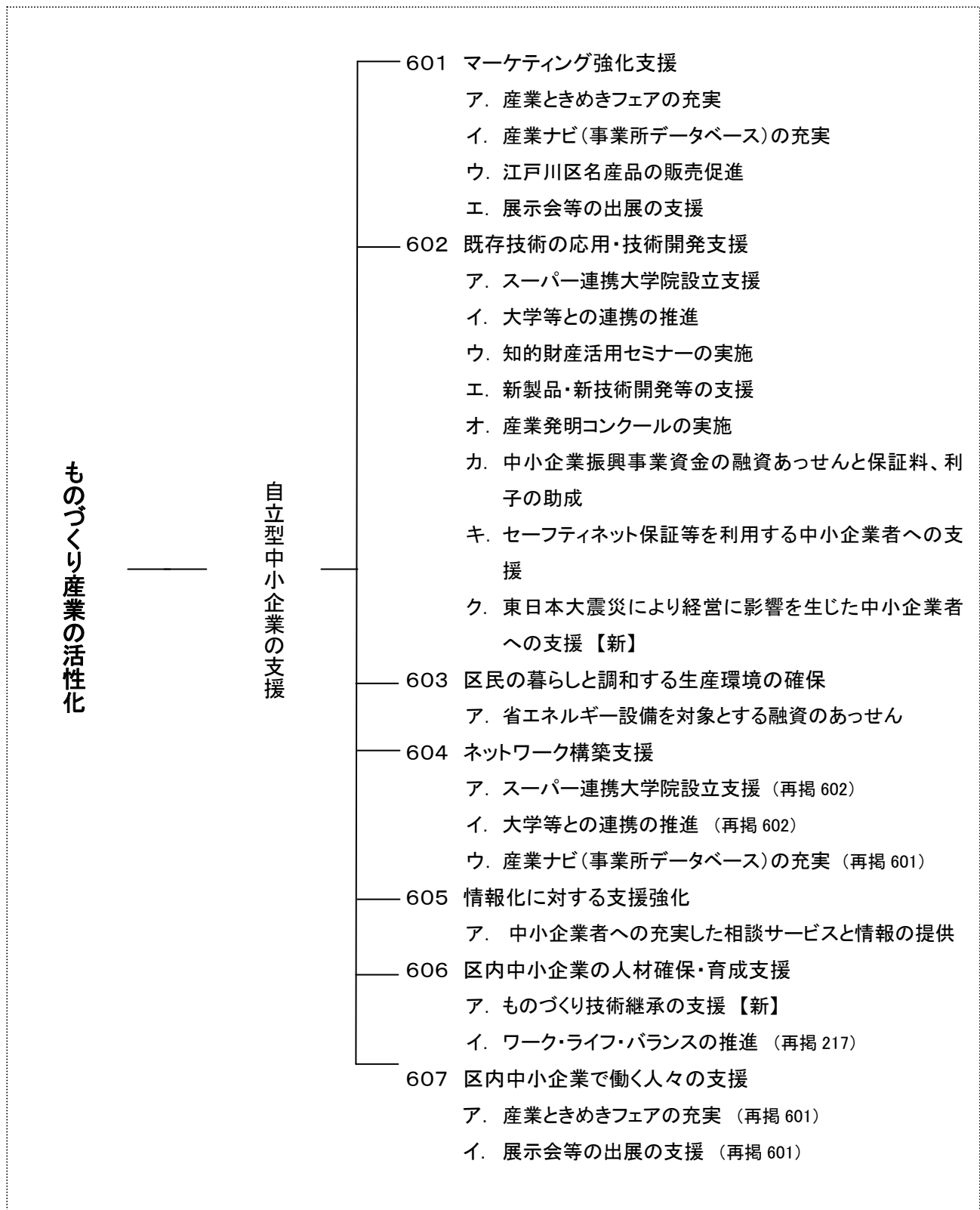
- 1 ものづくり産業の活性化
(1) 自立型中小企業の支援
- 2 商業・生活サービス業の活性化
(1) 新しい商店街への経営革新
- 3 起業家の育成
(1) 情報産業などの起業・育成支援
- 4 都市農業の継承
(1) 特色ある都市農業の展開
- 5 伝統的地場産業の継承、発展
(1) 江戸川文化としての伝統的地場産業の振興
- 6 次代の産業を担う人材の育成
(1) 次代を担う人材育成の支援
- 7 新たなパートナーシップの確立
(1) 産業界の主体性を重視した行政システム
- 8 働く意欲あふれる環境づくり
(1) 多様な就業の場の確保と支援

1 ものづくり産業の活性化

【施策の考え方】

不透明な景気の状況、技術革新等による経済・産業構造全体の大きな変化等により、区のものづくり産業にとって、厳しい経営環境が続いています。このため、区では、従来の下請加工型企业からの脱却を図り、高付加価値を生み出す企画・提案型企业としての自立を支援するとともに、企業間連携と情報化による競争力の強化、ものづくり技術の継承支援等を行い、ものづくり産業の活性化を図ります。

【施策体系図】



(1) 自立型中小企業の支援

601 マーケティング強化支援

区内外の主に製造業を担う企業の展示実演等を行い、優れた製品及び技術力を広く紹介するとともに、ビジネス情報交換会を開催し、企業間の連携づくりの場を提供します。また、区内事業所の情報を掲載できるえどがわ産業ナビ(事業所データベース)の内容充実を図り、区内事業所の受発注の拡大及びネットワークの構築を図ります。

伝統工芸品や小松菜関連商品をはじめとした区内の名産品の販売等を行う、インターネット上のショッピングモールである「えどコレ!」の適正な運営に努めます。併せて、篠崎文化プラザ内での販売活動等を推進します。

また、展示会等への出展経費の一部を助成することにより、区内製造事業者の展示会等への出展を促進し、受発注の拡大を図ります。

施策コード	601	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
産業ときめきフェアの充実		実施	同左	同左
事業費		12, 545千円	12, 545千円	12, 545千円
産業ナビ(事業所データベース)の充実		実施 (一部機能の拡充)	実施	同左
事業費		2, 959千円	1, 983千円	1, 983千円
江戸川区名産品の販売促進		「えどコレ！」の運営 直営店等での販売 活動の推進	同左	同左
事業費		9, 366千円	9, 366千円	9, 366千円
展示会等出展の支援		実施	同左	同左
事業費		600千円	600千円	600千円

602 既存技術の応用・技術開発支援

スーパー連携大学院を区内に誘致することにより、区内中小企業者が企業間及び大学等と連携する機会を提供するほか、区民の学術への関心や地域の活力の高揚を図るとともに、区内企業とコラボ産学官参加大学との情報交流の促進を図り、区内企業と大学との連携を支援します。

区内企業の持つ優れた技術を知的財産として活用・保護を図る、ライセンス契約の方法等に関するセミナーを開催し、オンリーワン企業として販路の拡大、新規取引の確保等の一助となるよう努めます。

また、区内製造事業者が産学連携等により新製品・新技術を開発やISOの認証取得等に要する経費の一部を助成することにより、区内製造事業者の技術開発力の向上を図ります。

さらに、産業に役立つ作品等のアイデアを区民から広く募り、優れた作品を表彰し、ものづくり意欲の高揚・技術の進展を図るとともに、景気動向にあわせ、制度を機動的に運用し、中小企業者の資金繰りを支援します。

施策コード	602	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
スーパー連携大学院 設立支援		実施	同左	同左
事業費		9, 095千円	※※※ 千円	※※※ 千円
大学等との連携の推進		実施	同左	同左
事業費		1, 788千円	1, 788千円	1, 788千円
知的財産活用セミナー の実施		実施	同左	同左
事業費		50千円	50千円	50千円
新製品・新技術開発等の 支援		実施	同左	同左
事業費		8, 000千円	8, 000千円	8, 000千円
産業発明コンクールの実施		実施	同左	同左
事業費		2, 190千円	※※※千円	※※※千円
中小企業振興事業資金の融 資あっせんと保証料、利子の 助成		(融資計画) 2, 410件 14, 280百万円	同左	同左
事業費		807, 191千円	810, 000千円	810, 000千円
セーフティネット保証等を利用する中小企業者への支援		東京都制度融資(経営 セーフ等)利用者への 利子補給	同左	同左
事業費		734, 379千円	740, 000千円	740, 000千円
東日本大震災により経営に 影響を生じた中小企業者へ の支援【新】		東京都経営支援融資 (災害緊急)等への利 子補給	同左	同左
事業費		154, 000千円	46, 000千円	40, 000千円

603 区民の暮らしと調和する生産環境の確保

省エネルギー設備等を導入する中小企業者の融資を対象とした優遇制度により、エコタウンえどがわ推進計画※促進します。

※ エコタウンえどがわ推進計画:地球温暖化防止を図るため、温室効果ガス削減の数値目標等を定めた計画。

施策コード	603	年次計画		
計画事業内容	24年度	25年度	26年度	
省エネルギー設備を対象とする融資のあっせん	経営向上資金の あっせん	同左	同左	
事業費	—— 千円	—— 千円	—— 千円	

「—」:事業費は、中小企業振興事業資金の融資あっせん保証料、利子の助成(施策コード 602)の中で計上しています。

604 ネットワーク構築支援

区内企業とコラボ産学官参加大学との情報交流の促進を図り、区内企業と大学との連携を支援します。

「産学連携コーディネーション事業」等を通じて、区内企業とコラボ産学官参加大学との情報交流の場及び学習機会を提供し、区内企業と大学とのマッチングを図るとともに共同研究に対する支援を行います。

また、えどがわ産業ナビ(事業所データベース)の内容充実を図り、区内事業所の受発注の拡大及びネットワークの構築を図ります。

施策コード	604	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
スーパー連携大学院 設立支援 再掲 602		実施	同左	同左
事業費		9, 095千円	※※※千円	※※※千円
大学等との連携の推進 再掲 602		実施	同左	同左
事業費		1, 788千円	1, 788千円	1, 788千円
産業ナビ(事業所データベース) の充実 再掲 601		実施 (一部機能の拡充)	実施	同左
事業費		2, 959千円	1, 983千円	1, 983千円

605 情報化に対する支援強化

中小企業相談室の窓口に加え、専門家の継続的な派遣や、ホームページでの提供情報の充実により、中小企業者の様々な課題の解決を支援します。

施策コード	605	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
中小企業者への充実した相談サービスと情報の提供		窓口での各種相談 専門家の派遣 ホームページ等での情報提供と相談受付	同左	同左
事業費		35, 233千円	35, 000千円	35, 000千円

606 区内中小企業の人材確保・育成支援

ものづくり技術の継承に係る研修会等の開催や資格修得等に要する経費の一部を助成することにより、区内製造事業者におけるものづくり技術の継承と人材の育成を図ります。

また、仕事と生活の調和を図るワーク・ライフ・バランスを推進するため、ワーク・ライフ・バランス推進協議会を開催し、産業賞において事業者の取組みを表彰します。

施策コード	606	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
ものづくり技術継承の 支援【新】		実施	同左	同左
事業費		1, 500千円	1, 500千円	1, 500千円
ワーク・ライフ・バランスの 推進 再掲 217		ワーク・ライフ・バランス 推進協議会の開催	同左	同左
		産業賞での企業表彰	同左	同左
事業費		239千円	239千円	239千円

607 区内中小企業で働く人々の支援

区内外の企業(主に製造業)を一堂に集め、展示実演等により優れた製品、技術力を企業並びに区民に広く紹介するとともに、ビジネス情報交換会の開催によりマッチングの場を提供していきます。また、製作実演・体験コーナー等を通じて、産業教育の場としても活用していきます。

さらに、展示会等への出展経費の一部を助成することにより、区内製造事業者の展示会等への出展を促進し、受発注の拡大を図ります。

施策コード	6 0 7	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
産業ときめきフェアの充実 再掲 601		実施	同左	同左
事業費		12, 545千円	12, 545千円	12, 545千円
展示会等出展の支援 再掲 601		実施	同左	同左
事業費		600千円	600千円	600千円

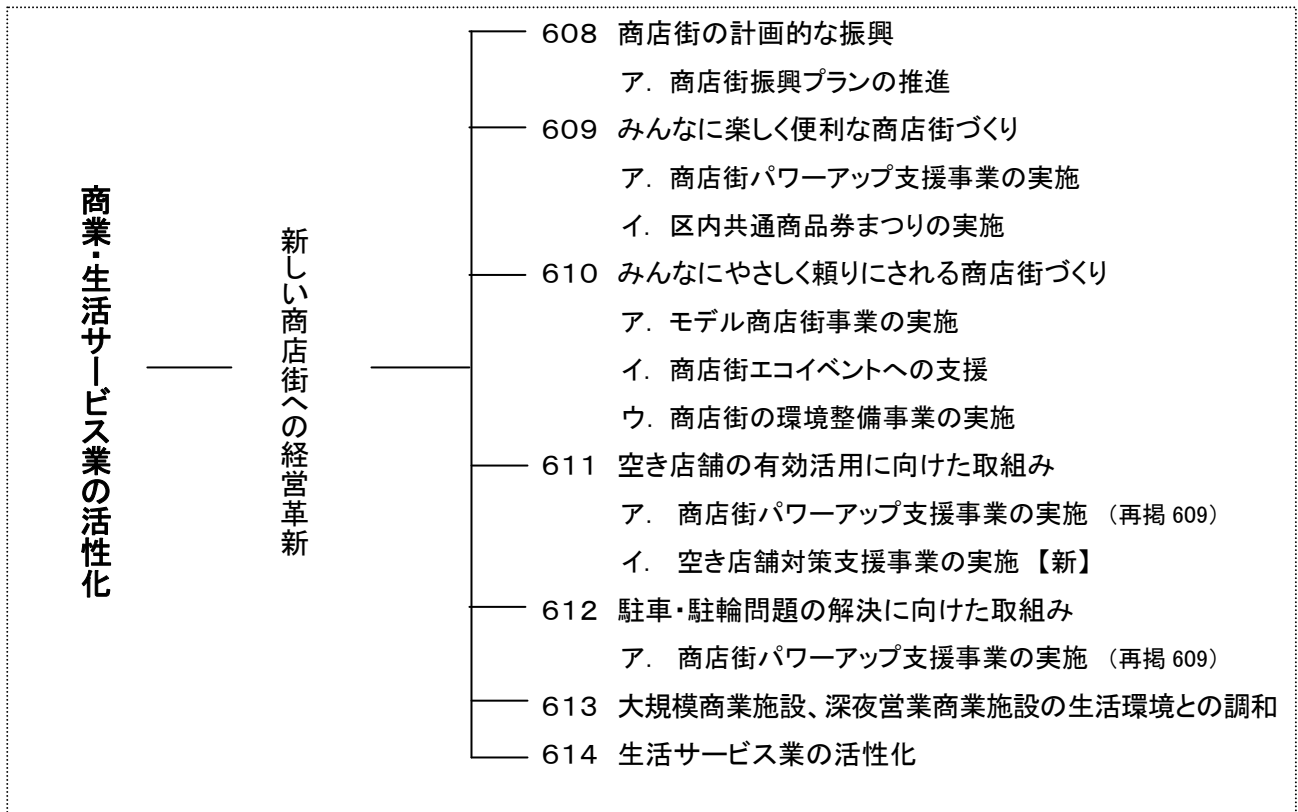
2 商業・生活サービス業の活性化

【施策の考え方】

区内の商店街は、消費の低迷、多様化する消費者ニーズの変化等の影響のため、売上の減少、経営不振による閉店等の厳しい状況に置かれています。

このため、区では、空き店舗の活用等による独自の積極的な取組み、これからの商店街に期待される新たな社会的役割を担える商店街づくり等を支援し、商業・生活サービス業の再生と活性化を図ります。

【施策体系図】



(1)新しい商店街への経営革新

608 商店街の計画的な振興

中長期的な商店街振興を推進するため、商店街振興プランの着実な推進を図ります。特に「地域との協働による商店街づくり」を基本に、各商店街が地域コミュニティの中核として、区民生活の楽しみの場となり、商店街の売り上げも向上するよう支援します。

施策コード	608	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
商店街振興プランの推進		プランに基づいた計画的な事業の推進	同左	同左
事業費		0千円	0千円	0千円

609 みんなに楽しく便利な商店街づくり

商店街振興プランに基づく、イベント、装飾街路灯の設置等の計画的・継続的な活性化事業を支援します。

施策コード	609	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
商店街パワーアップ 支援事業の実施		イベントや活性化事業 への支援	同左	同左
事業費		67, 546千円	※※※ 千円	※※※ 千円
区内共通商品券まつり の実施		実施予定	同左	同左
事業費		75, 000千円	※※※ 千円	※※※ 千円

610 みんなにやさしく頼りにされる商店街づくり

地域振興につながる活性化策を主体的に実施する商店街を「モデル商店街」に指定し、総合的に支援するとともに、当該事業を広報します。

また、えどがわエコセンター等との連携を図りながら、「もったいない運動」等の商店街の環境に配慮した取組みを支援します。

さらに、商店街の近代化及び活性化を目的として、魅力ある商店街づくりに必要な共同施設の設置に必要な費用を支援していきます。

施策コード	610	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
モデル商店街事業の推進		宅配事業に取り組む 商店街をモデル指定	新たなモデル商店街 の指定	事業の推進
事業費		1, 000千円	※※※ 千円	※※※ 千円
商店街エコイベントへの支援		事業の推進	同左	同左
事業費		1, 000千円	※※※ 千円	※※※ 千円
商店街の環境整備事業 の実施		事業への支援	同左	同左
事業費		89, 183千円	※※※ 千円	※※※ 千円

611 空き店舗の有効活用に向けた取組み

空き店舗を活用した商店街の振興を支援します。また、産業ナビの機能を拡充して空き店舗情報を集約した物件検索サイトの構築や店舗賃借料の一部助成等により、空き店舗の解消を目指していきます。

施策コード	611	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
商店街パワーアップ 支援事業の実施 再掲 609		イベントや活性化事業 への支援	同左	同左
事業費		67, 546千円	※※※ 千円	※※※ 千円

空き店舗対策支援事業 の実施【新】	産業ナビの活用 店舗家賃助成 設備資金融資	同左	同左
事業費	8,856千円	※※※ 千円	※※※ 千円

612 駐車・駐輪問題の解決に向けた取組み

駐車場、駐輪場等の整備及び利用者のマナーの向上を図るため、関係機関等と協力・連携しながら、各商店街の地域性を踏まえ、課題の解決に向けた取組みの推進に努めます。

施策コード	612	年次計画		
計画事業内容	24年度	25年度	26年度	
商店街パワーアップ 支援事業の実施 再掲 609	イベントや活性化事業 への支援	同左	同左	
事業費	67,546千円	※※※ 千円	※※※ 千円	

613 大規模商業施設、深夜営業商業施設の生活環境との調和

大規模商業施設、深夜営業商業施設等の出店に当たっては、大規模小売店舗立地法、住宅等整備事業における基準等に関する条例に基づき適確な指導を実施するとともに、江戸川区大規模小売店舗連絡会を開催する等、周辺の良い住環境の保持に努めます。

614 生活サービス業の活性化

地域コミュニティにおける役割の一端を担い、区民生活に密着した公衆浴場等の生活サービス業の利用を促進し、その活性化を図ります。

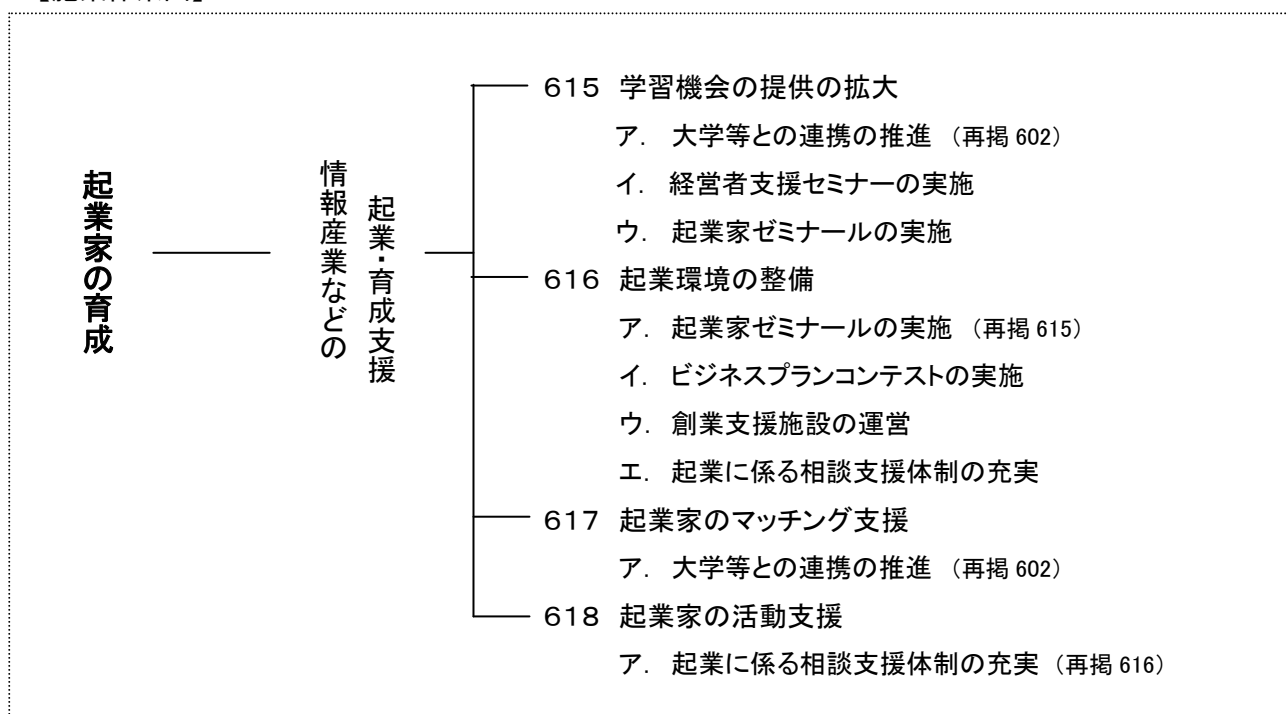
3 起業家の育成

【施策の考え方】

産業のソフト化・サービス化の進展により、情報産業をはじめ、環境関連産業、福祉サービス産業等の新しいビジネスが急成長しており、地域の生活者である区民自身が、自分たちの地域が抱える課題を解決し、地域の活性化に努めています。

このため、区では、情報産業等を区の新たな活力産業と位置づけ、重点的に支援するとともに、よりよい地域社会の実現のためにも、環境関連産業や福祉サービス産業等の新しい起業家を積極的に育成します。

【施策体系図】



(1) 情報産業などの起業・育成支援

615 学習機会の提供の拡大

「産学連携コーディネーション事業」等を通じて、区内企業とコラボ産学官参加大学との情報交流の場及び学習機会を提供し、区内企業と大学とのマッチングを図るとともに共同研究に対する支援を行います。

また、区内事業所の技術承継、経営基盤強化を図るためのスキルアップセミナーを開催し、区内中小企業の経営基盤強化を図ります。

さらに、起業・経営に必要な基礎知識や手法、実践能力を習得する場を提供し、区産業界を担う起業家の育成・輩出を目指すとともに、受講者相互の交流を図り、将来の区内産業活性化に資するネットワーク作りの基礎をつくれます。

施策コード	615	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
大学等との連携の推進 再掲 602		実施	同左	同左
事業費		1,788千円	1,788千円	1,788千円
経営者支援セミナーの実施		実施	同左	同左
事業費		300千円	300千円	300千円

起業家ゼミナールの実施	実施	同左	同左
事業費	2, 541千円	2, 541千円	2, 541千円

616 起業環境の整備

学習機会の提供、相談体制の整備等の、起業に関する計画から起業後の活動に係る支援を一貫して行うことにより、区内の起業家の育成を図ります。

施策コード	616	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
起業家ゼミナールの実施 再掲 615		実施	同左	同左
事業費		2, 541千円	2, 541千円	2, 541千円
ビジネスプランコンテスト の実施		実施	同左	同左
事業費		814千円	814千円	814千円
創業支援施設の運営		実施	同左	同左
事業費		7, 559千円	7, 559千円	7, 559千円
起業に係る相談支援体制の 充実		専門家の派遣 創業支援資金の あっせん	同左	同左
事業費		—— 千円	—— 千円	—— 千円

「一」:事業費は、中小企業者への充実した相談サービスと情報の提供（施策コード 605）の中で計上しています。

617 起業家のマッチング支援

「産学連携コーディネーション事業」等を通じて、区内企業とコラボ産学官参加大学との情報交流の場及び学習機会を提供し、区内企業と大学とのマッチングを図るとともに共同研究に対する支援を行います。

施策コード	6 1 7	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
大学等との連携の推進 再掲 602		コラボ産学官参加大学と区内企業のマッチング支援		
事業費		1, 788千円	1, 788千円	1, 788千円

618 起業家の活動支援

創業支援資金のあっせんと連携して、起業家支援アドバイザー制度により、実践的な事業計画の策定と、営業開始後の継続的な助言を継続的に実施し、堅実な起業者を育成します。

施策コード	6 1 8	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
起業に係る相談支援体制の 充実 再掲 616		専門家の派遣 創業支援資金の あっせん	同左	同左
事業費		—— 千円	—— 千円	—— 千円

「－」:事業費は、中小企業者への充実した相談サービスと情報の提供（施策コード 605）の中で計上しています。

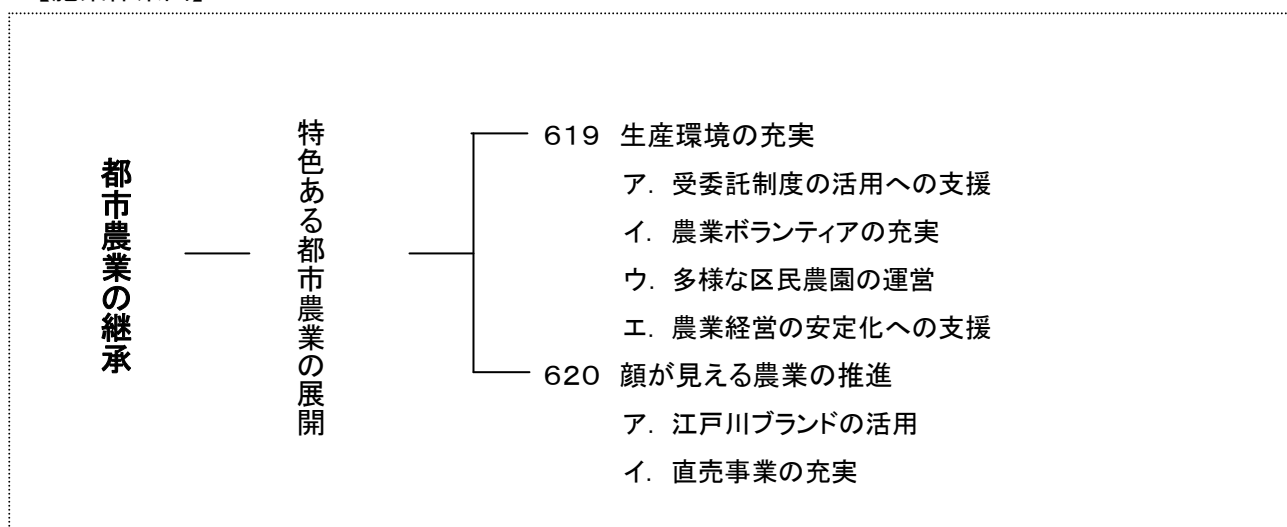
4 都市農業の継承

【施策の考え方】

区の農業は、小松菜や花卉等の特産物を有し、都市農業としては日本一ともいえる高い生産性を誇っています。しかし、農地面積は年々減少を続けているほか、輸入農産物の増加による競争の激化等、区の農業を取り巻く状況はいつそう厳しさを増しており、都市農業の存続が懸念されています。

このため、区では、農地の保全に最大限努めるとともに、小松菜、花卉等の特産物を貴重な地域資源として守り、特色ある地域産業として新たな展開を図ります。

【施策体系図】



(1) 特色ある都市農業の展開

619 生産環境の充実

農地の保全及び安定した農業経営の継続を図るため、農業を支援する融資を検討するとともに、生産緑地の維持及び新規の指定、税制の優遇措置の要望等に努めます。併せて、都市農業の高い生産性を維持するため、都市農業育成事業の充実及び環境に配慮した農業経営の推進を図ります。

また、高齢化、後継者不足等により十分な活動を行えない農家を支援するとともに、区民と農業者の交流を深めることに資するため、農業ボランティア制度*の充実等を図り、農家とボランティアの連携を支援します。

※ 農業ボランティア制度：高齢化や後継者不足等の理由により、十分な活動が行えない農家にボランティアを派遣する制度。

施策コード	619	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
受委託制度の活用への支援		実施	同左	同左
事業費		0千円	0千円	0千円
農業ボランティアの充実		実施	同左	同左
事業費		547千円	※※※千円	※※※千円
多様な区民農園の運営		実施	同左	同左
事業費		8,000千円	※※※千円	※※※千円

農業経営の安定化への支援	農業振興資金のあつせ んと利子等の補給	同左	同左
事業費	235, 554千円	235, 554千円	235, 554千円

620 顔が見える農業の推進

区の特産農産物について、イベントや市場出荷等あらゆる機会において、ロゴマークやキャッチフレーズ・グッズ等のPRを行い、江戸川区農業の基幹である小松菜や花卉等の特産物の魅力を広く周知し、江戸川農業の育成・活性化を推進します。

また、ホームページや直売マップの利用を通して直売会や庭先販売等のPR強化を行うとともに、インターネットを活用した新たな販売ルートの開発を行い、農業経営の安定化を図ります。

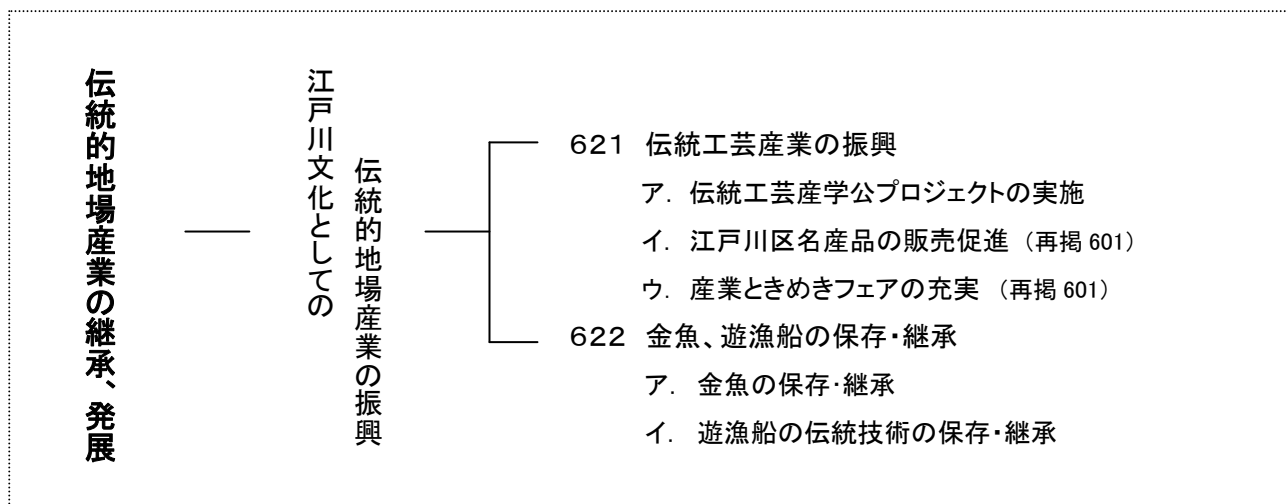
施策コード	620	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
江戸川ブランドの活用		キャンペーン活動の 展開	同左	同左
事業費		383千円	383千円	383千円
直売事業の充実		インターネットの活用	直売マップ作成	インターネットの充実
事業費		357千円	※※※千円	※※※千円

5 伝統的地場産業の継承、発展

【施策の考え方】

区には、伝統工芸品、金魚、花火等の長い歳月と人が織りなす伝統的地場産業が存在し、江戸川の独特の文化を形成しています。これからも、伝統工芸品の高度な技術と製品を次代に継承していくために、国及び都等との連携を進め、計画的な振興を図ります。また、金魚は区の伝統ある貴重な地域資源として保存・継承を図ります。

【施策体系図】



(1)江戸川文化としての伝統的地場産業の振興

621 伝統工芸産業の振興

新製品の開発、販路の拡大、江戸川ブランドの確立等「えどがわ伝統工芸産学公プロジェクト」を推進します。併せて、インターネット上のショッピングモールである「えどコレ！」や篠崎文化プラザ内の直営店等により、区内名産品の販売活動等を推進します。

施策コード	621	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
伝統工芸産学公プロジェクト の実施		実施	同左	同左
事業費		7, 629千円	※※※千円	※※※千円
江戸川区名産品の販売促進 再掲 601		「えどコレ！」の運営 直営店等での販売活 動の推進	同左	同左
事業費		9, 366千円	9, 366千円	9, 366千円
産業ときめきフェアの充実 再掲 601		実施	同左	同左
事業費		12, 545千円	12, 545千円	12, 545千円

622 金魚、遊漁船の保存・継承

江戸川区特産の金魚や江戸の風情を今に伝える網舟や屋形船等の遊漁船を区内外に広くPRし、保存・継承を図ります。

施策コード	622	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
金魚の保存・継承		実施	同左	同左
事業費		5,540千円	5,540千円	5,540千円
遊漁船の伝統技術の 保存・継承		実施	同左	同左
事業費		385千円	385千円	385千円

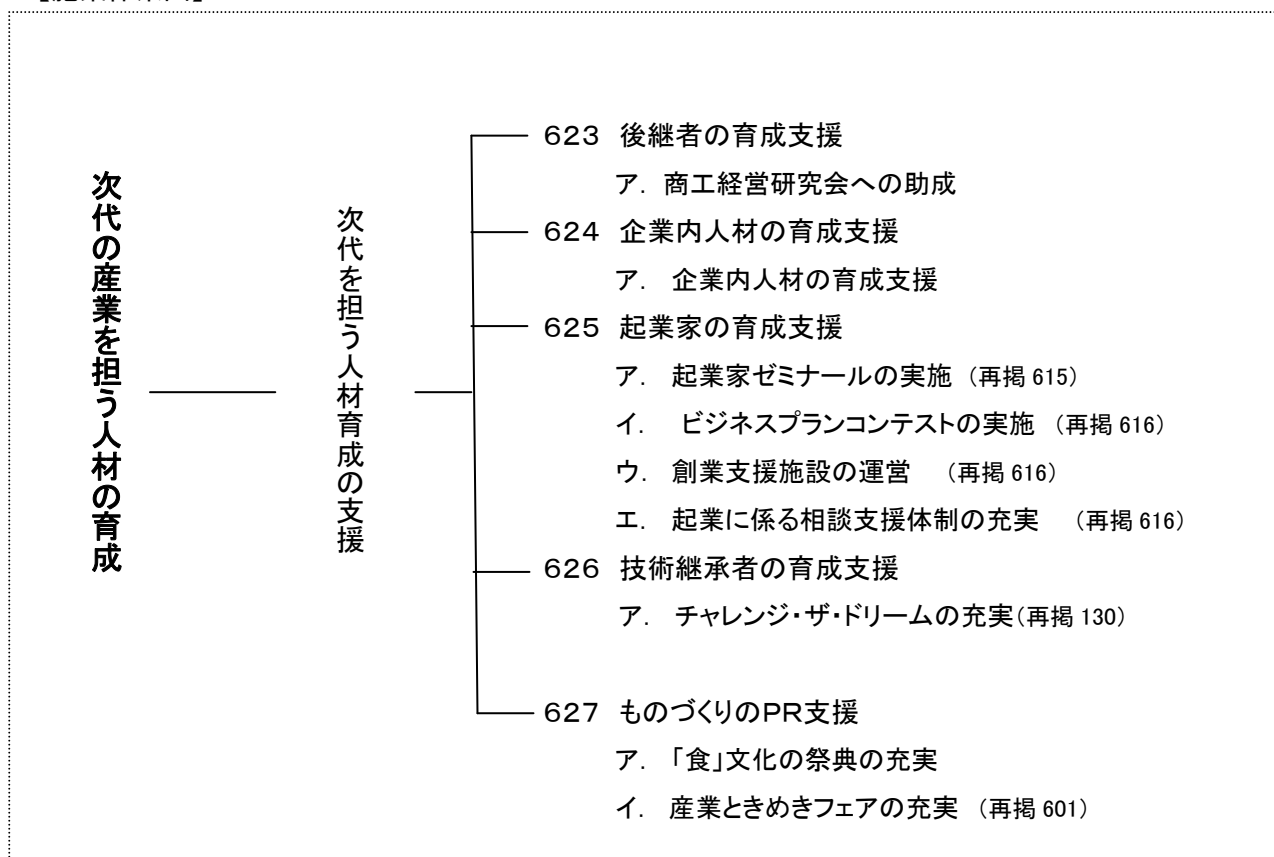
6 次代の産業を担う人材の育成

【施策の考え方】

経営者、技術者等の高齢化により、経営の後継者、技術の継承者の不足等が深刻化しています。優れた技術の喪失や後継者不足による事業所、店舗等の閉鎖はまちの活力の減退の一因となる恐れがあります。

このため、区では、区内産業の活力を維持、発展させていくために、学校と地域の連携による産業教育の充実を図るとともに、後継者の確保、新しい産業を創出する若手人材の育成、若い技術者への技術の継承等の次代を担う人材育成を支援します。

【施策体系図】



(1)次代を担う人材育成の支援

623 後継者の育成支援

商店街等が自主的に実施する研修会や勉強会を支援し、次代を担う後継者育成を支援します。

施策コード	623	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
商工経営研究会への助成		講師の派遣	同 左	同 左
事業費		710千円	710千円	710千円

624 企業内人材の育成支援

実践的かつ効果的な学習機会の提供に努めます。

施策コード	624	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
企業内人材の育成支援		実施	同左	同左
事業費		0 千円	0 千円	0 千円

625 起業家の育成支援

学習機会の提供、相談体制の整備等、起業に関する計画から起業後の活動に係る支援を一貫して行うことにより、区内の起業家の育成を図ります。

施策コード	625	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
起業家ゼミナールの実施 再掲 615		実施	同左	同左
事業費		2, 541千円	2, 541千円	2, 541千円
ビジネスプランコンテスト の実施 再掲 616		実施	同左	同左
事業費		814千円	814千円	814千円
創業支援施設の運営 再掲 616		実施	同左	同左
事業費		7, 559千円	7, 559千円	7, 559千円
起業に係る相談支援体制の 充実 再掲 616		専門家の派遣 創業支援資金の あっせん	同左	同左
事業費		—— 千円	—— 千円	—— 千円

「ー」:事業費は、中小企業者への充実した相談サービスと情報の提供（施策コード 605）の中で計上しています。

626 技術継承者の育成支援

退職した熟練技術者等を技術継承のための研修会や講習会の講師等として活用する制度の設立に向けた調査研究を進めます。

また、職場体験を実施するチャレンジ・ザ・ドリームにより、ものづくりに対する意識の高揚を図ります。

施策コード	626	年次計画		
計画事業内容	24年度	25年度	26年度	
チャレンジ・ザ・ドリーム の充実 再掲 130	実施及び検討	同左	同左	
事業費	—— 千円	—— 千円	—— 千円	

「ー」:事業費は、チャレンジ・ザ・ドリーム（施策コード 130）の中で計上しています。

627 ものづくりのPR支援

飲食店組合を中心に区内食品関連業界のPRや消費者還元及び業界の活性化を図ります。

また、区内外の主に製造業を担う企業による展示実演等を行い、優れた製品及び技術力を広く紹介するとともに、ビジネス情報交換会を開催し、企業間の連携づくりの場の提供します。併せて、製作実演・体験コーナー等を通じて、産業教育の場としての活用を図ります。

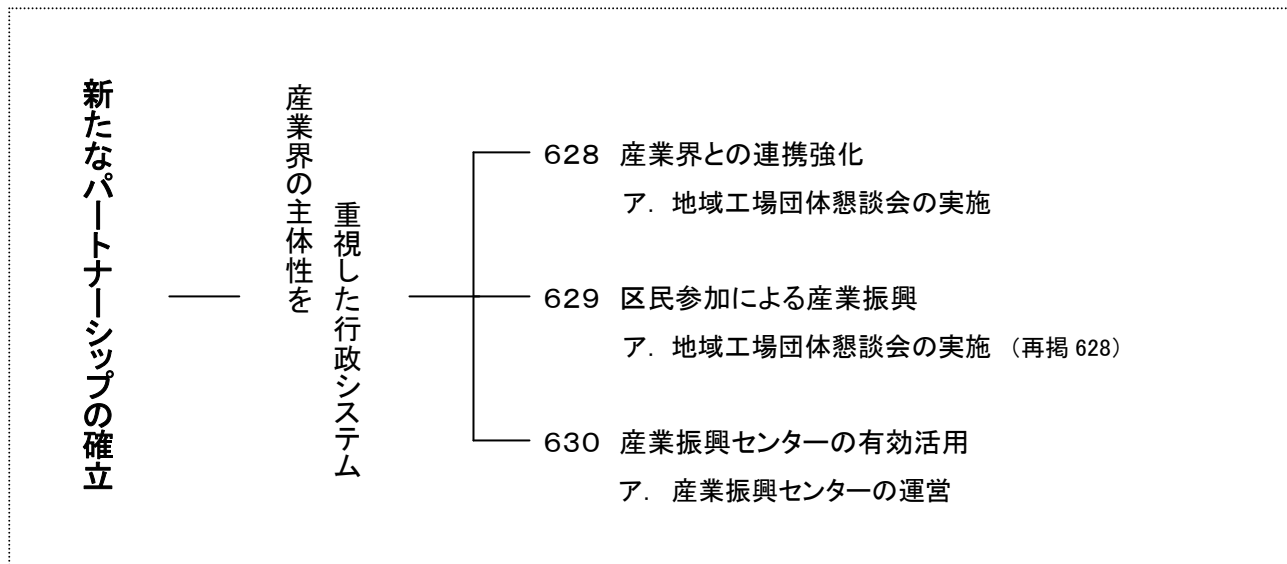
施策コード	627	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
「食」文化の祭典の充実		実施	同左	同左
事業費		3,708千円	3,708千円	3,708千円
産業ときめきフェアの充実 再掲 601		実施	同左	同左
事業費		12,545千円	12,545千円	12,545千円

7 新たなパートナーシップの確立

【施策の考え方】

区では、多くの区民の声を活かしながら、産業政策の立案等を行ってきました。これからも、行政、産業関係者、各企業、消費者としての区民等を含めた、それぞれの立場での意見を交換しながら施策の方向を見出していく政策形成を進めるとともに、よきパートナーとして区内産業を下支えする効果的なしくみづくりを図ります。

【施策体系図】



(1) 産業界の主体性を重視した行政システム

628 産業界との連携強化

629 区民参加による産業振興

産業構造の変化に伴う諸課題の解決を図り、効果的な産業振興施策の企画立案を支援するため、区内企業の現状を把握する場を設けます。

施策コード	628・629	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
地域工場団体懇談会の実施		実施	同左	同左
事業費		62千円	62千円	62千円

630 産業振興センターの有効活用

区内各産業関係者が有効に産業振興センターを活用できるよう運営の充実を図ります。

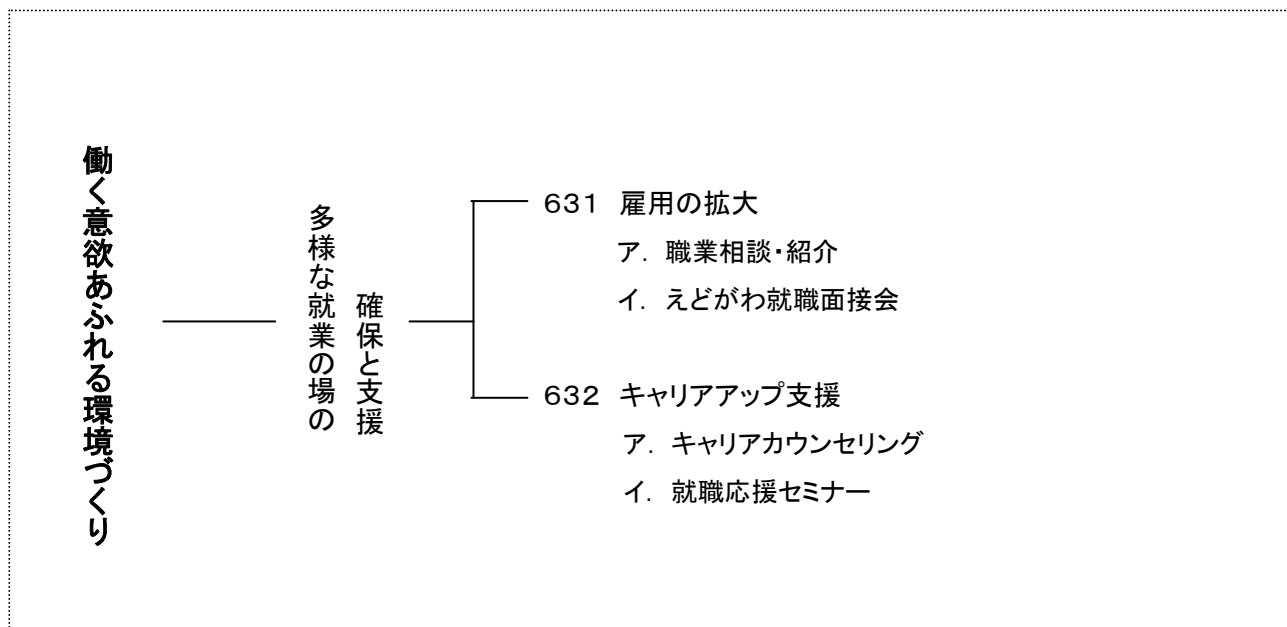
施策コード	630	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
産業振興センターの運営		運営	同左	同左
事業費		333千円	333千円	333千円

8 働く意欲あふれる環境づくり

【施策の考え方】

区内中小企業で働く人々が安心していきいきと働けることが、まちのにぎわいと活力を創造します。そのために、労働環境の改善、福祉制度の充実等を図り、働く意欲あふれる環境づくりを推進します。また、一部では厳しい雇用情勢が続いており、新しい時代にあわせて、区民の就業の場を柔軟に確保することが必要であり、多様な就労支援を図ります。

【施策体系図】



(1) 多様な就業の場の確保と支援

631 雇用の拡大

ハローワークとの連携を図りながら、「ほっとワークえどがわ」の就業相談、中高年齢者・若年者を対象とした就職面接会の開催等の就労支援を行います。

施策コード	631	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
職業相談・紹介	内職の職業相談・紹介	同左	同左	同左
	就職情報の提供	同左	同左	同左
	出張相談の実施	同左	同左	同左
事業費		16,447千円	16,447千円	16,447千円
えどがわ就職面接会		対象年齢、業種等を絞った面接会及び小規模面接会の開催	同左	同左
事業費		246千円	246千円	246千円

632 キャリアアップ支援

「ヤングほっとワークえどがわ」において、若年者を対象としたキャリアカウンセリング等を実施します。併せてニート・フリーターをもつ保護者を対象とした就職応援セミナーを開催します。

また、ハローワークとの連携を図りながら、若年者を対象とした就職応援セミナーを開催します。

さらに、求職者を対象とした就職ガイダンスセミナーの開催や、若年者の就労に向けてのヒューマンスキル向上のため、「若者きずな塾」を開催します。

施策コード	632	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
キャリアカウンセリング	キャリアカウンセリング (ヤングほっとワークえどがわ)	同左	同左	
	パソコンを利用した 適職診断	同左	同左	
事業費		6, 761千円	6, 761千円	6, 761千円
就職応援セミナー	若年者就職応援セミナー (ヤングほっとワークえどがわ)	同左	同左	
	ニート・フリーター 就労支援セミナーの開催 (ヤングほっとワークえどがわ)	同左	同左	
	就職ガイダンスセミナー (ほっとワーク)	同左	同左	
	若者きずな塾	同左	同左	
事業費		1, 315千円	1, 315千円	1, 315千円

第6節

区民の暮らしを力づよく 支えるまちづくり

- 1 都市基盤の充実・質の向上
 - (1) 土地利用と市街地整備の方針
 - (2) 木造密集市街地の改善
 - (3) 良好な市街地環境の創出
 - (4) 大規模公園予定地の整備
 - (5) 地域生活圏と中心核の整備
- 2 利便性の高い道路、交通、情報ネットワークの整備
 - (1) 道路ネットワークの形成
 - (2) 鉄道の整備
 - (3) 楽しく快適に移動できる交通
 - (4) 情報通信ネットワーク化の推進
- 3 地域の魅力を高めるまちづくり
 - (1) 水と緑にあふれる都市環境の充実
 - (2) 美しい都市景観づくり
 - (3) 住みよく永住できる居住環境づくり
 - (4) 歩いて楽しめる個性あるまち
 - (5) 安心して生活できるまちづくり
- 4 安全で災害に強いまちづくり
 - (1) 防災まちづくり
 - (2) 防災体制の充実
 - (3) みんなで守るまちづくり

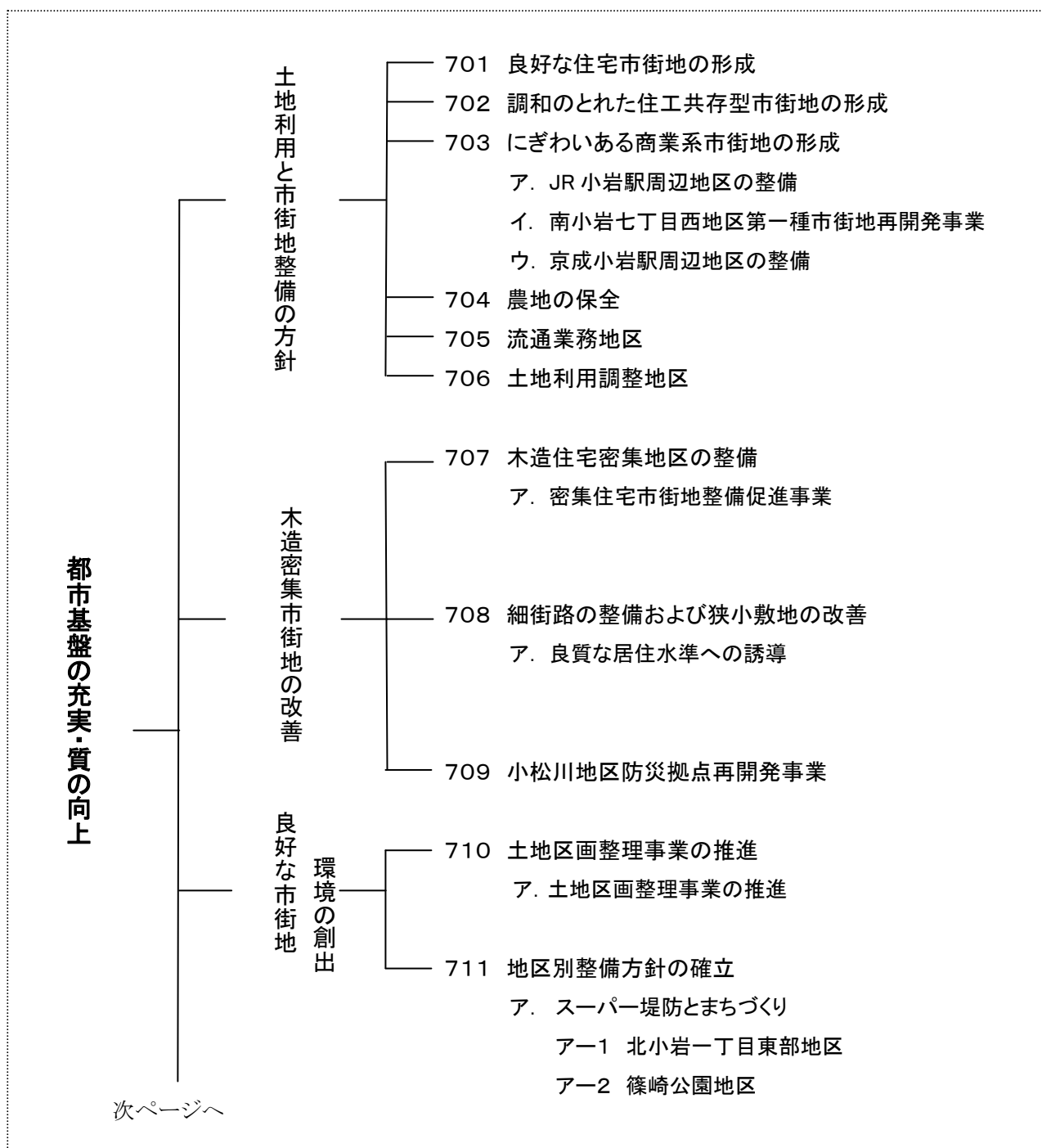
1 都市基盤の充実・質の向上

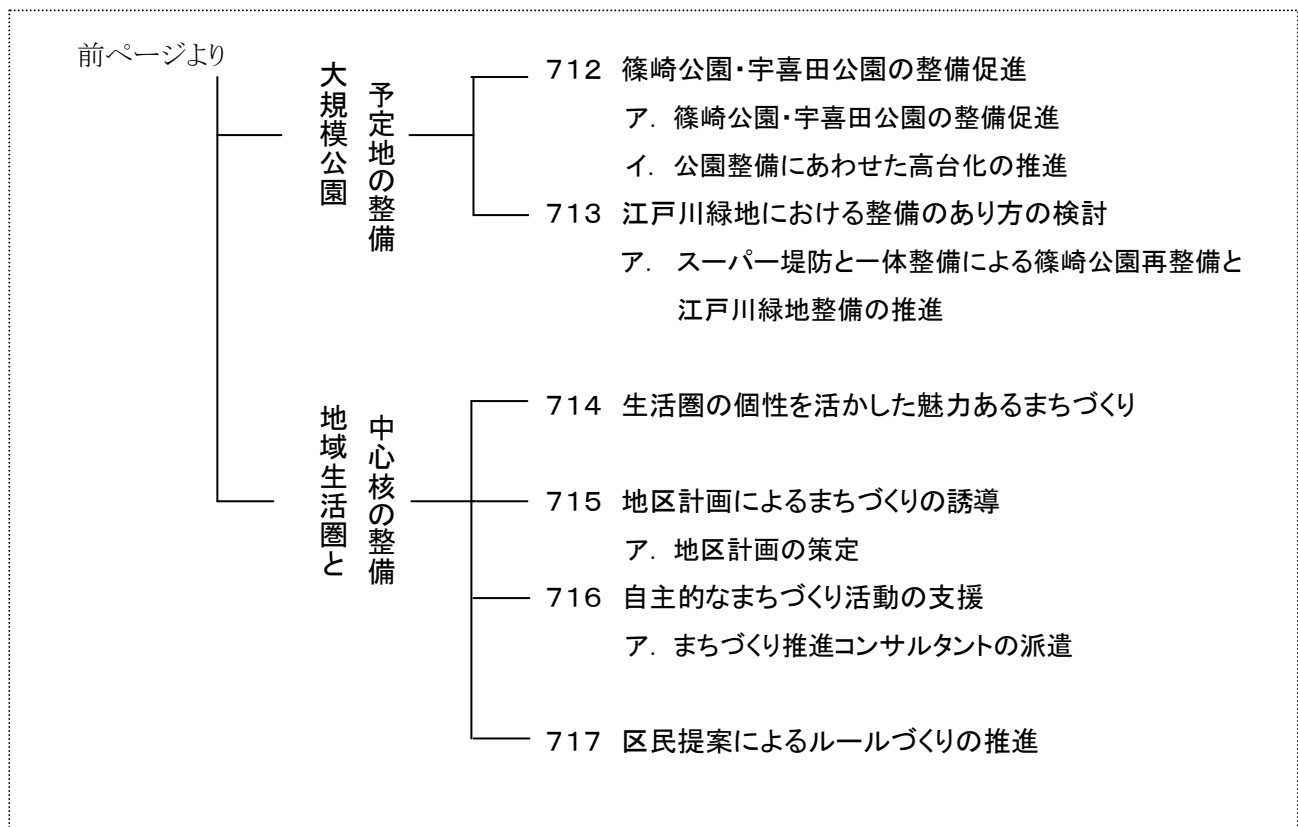
【施策の考え方】

「江戸川区街づくり基本プラン」に基づいた計画的なまちづくりを進め、安全で魅力ある都市の形成を目指し、社会経済状況の変化及び価値観の多様化に対応した、区民生活の質が高まるよう、土地利用、市街地整備等を進めます。

併せて、これからのまちづくりにおいて、区民が主体的に活動し、地域毎に将来のまちの姿について区と認識を共有し、地区の個性に応じた区民発意のまちづくりを進めます。

【施策体系図】





(1) 土地利用と市街地整備の方針

701 良好な住宅市街地の形成

地域地区※指定、地区計画※等を活用し、土地の細分化防止、建物の高さ規制等によって、地区ごとの特性にあわせた良好な住環境の創出及び保全を図ります。

また、木造住宅密集地区※については、密集住宅市街地整備促進事業※を活用することにより、生活道路を拡幅し、安全な住宅市街地の形成を図ります。併せて、建替え更新時に狭あい道路の拡幅整備、狭小敷地の改善のための隣接敷地買い増しの誘導等を図るとともに、一定規模の土地の開発に当たっては、周辺の住環境と調和のとれた土地利用を誘導します。

※ **地域地区**：都市計画区域内の土地を利用目的によって区分し、建築物等について必要な制限を課すことにより、土地の合理的利用を図るもの。

※ **地区計画**：小規模な地区を対象として、用途地域では決められない詳細な土地利用、建築の形態等を定める計画。

※ **木造住宅密集地区**：木造住宅の密度が高く、その中に老朽住宅が相当数含まれ、道路等の公共施設整備の水準が低く、防災危険度が高い地区。

※ **密集住宅市街地整備促進事業**：老朽木造住宅が密集している地区において、道路や公園等の公共施設、生活環境施設の整備や老朽木造住宅の建替え等を促進し、居住環境の向上や良質な住宅供給を行う事業。

702 調和のとれた住工共存型市街地の形成

用途地域※、特別用途地区※、地区計画等を活用することにより、地区ごとの特性にあわせたきめ細かい地区ルールづくりを推進し、住工が共存する環境の整備に努めます。

また、工業系用途地域内での集合住宅等の土地利用の転換に当たっては、周辺環境との調和に配慮した建設計画を誘導します。

※ **用途地域**：住宅・商店・工場等が混乱して立地するのを防ぐため、地域ごとに建てられる建物の種類を規制したもの。

※ **特別用途地区**：地域地区の目的を基本とし、これを補完するため、建築基準法に基づき地区の特性や課題に応じて地方公共団体の条例で建築物の用途に係る規制の強化又は緩和を行うもの。（本区の場合は、特別業務地区、特別工業地区の2種類を指定）

703 にぎわいある商業系市街地の形成

主要鉄道駅の周辺は、商業や交通の拠点となる地域中心核にふさわしい高度利用を誘導し、賑わいのある商業機能、事務所等の業務機能の充実を図ります。特に、JR 小岩駅周辺は、道路・駅広場等の都市施設、及び地区計画の早期決定と地区別の事業推進を図ります。

南小岩七丁目西地区第一種市街地再開発事業は、商業施設の誘致による商業活性化と、質の高い住宅供給による定住人口の回復を図ります。また、京成小岩駅周辺地区は、京成本線連続立体化事業の進捗に合わせ、地域協議を進めまちづくり構想の策定を進めるとともに、駅前広場等の基盤整備計画の作成を進めます。

施策コード	703	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
JR小岩駅周辺地区の整備		地区別の事業推進 都市計画決定協議	都市施設の決定 再開発事業の決定 地区計画の決定	地区別の事業推進 都市施設の整備 再開発事業の推進
事業費		45, 787千円	※※※千円	※※※千円
南小岩七丁目西地区 第一種市街地再開発事業		権利変換計画 建設工事	建設工事	同左
事業費		1, 163, 280千円	702, 500千円	812, 000千円
京成小岩駅周辺地区の整備		まちづくり構想策定	都市計画案の作成	都市計画決定協議
事業費		218千円	※※※千円	※※※千円

704 農地の保全

生産緑地地区の追加指定を行い、農地の保全に努めます。

705 流通業務地区

東京東部の流通拠点としての環境を維持するとともに、高機能な物流拠点としての適切な誘導を図ります。

706 土地利用調整地区

大規模な都市機能の転換に当たっては、地区の立地特性・機能特性を考慮しながら、特別用途地区、地区計画等の活用を図り、都市の魅力と活力につながる土地利用の促進に努めます。

(2)木造密集市街地の改善

707 木造住宅密集地区の整備

主要生活道路及び防災生活道路、防災性を向上する公園・広場等の整備を促進し、老朽化した建築物の建替え、不燃建築物の誘導等を図ることにより、燃えにくい街の形成に努め、安全性と防災性の高い市街地の形成を図ります。

施策コード		707	年次計画		
計画事業内容			24年度	25年度	26年度
密集住宅市街地整備促進事業	南小岩七・八丁目地区		道路拡幅・公園整備	同左	同左
	松島三丁目地区				
	下鎌田東地区				
	一之江四丁目南地区				
	春江町三丁目南地区				
	江戸川一丁目地区				
	一之江三丁目南地区				
	中葛西八丁目地区				
	二之江西地区				
事業費			424, 969千円	430, 000千円	430, 000千円

708 細街路※の整備および狭小敷地の改善

区民及び事業者の理解と協力を得ながら、助成金制度の活用を図りつつ、細街路の拡幅整備を推進します。また、指定道路図・調書を作成し、閲覧に供することにより、建築行為全般を円滑に推進するよう図ります。

併せて、70㎡を超える土地の購入に対し資金を貸し付けることにより、敷地規模の拡大を促進し、居住環境の向上と良好な市街地の形成を図ります。

※ 細街路:幅員4m未満の道路

施策コード	708	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
良質な居住水準への誘導		街づくり宅地資金貸付 2件	同左	同左
事業費		17, 646千円	18, 000千円	18, 000千円

709 小松川地区防災拠点再開発事業

24年度の事業終了に向け、未着工街区の調整を都と行います。また、スーパー堤防整備事業について、東京都及び国土交通省と積極的に調整を行います。

(3) 良好な市街地環境の創出

710 土地区画整理事業※の推進

事業中及び未着手の土地区画整理事業の早期完了を目指し、防災性の向上を図り、安全で良好な環境の創出に努めます。

※ 土地区画整理事業：土地所有者等から土地の一部を提供してもらい、道路や公園等に活用し、市街地を面的に整備することで居住環境を向上させ、一方で宅地を整形化し利用増進を図ることを目的とした事業。

施策コード	710	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
土地区画整理事業の推進	瑞江駅北部地区 換地処分	清算事務	同左	
	篠崎駅西部第四期街区 仮換地指定・造成工事	建物移転・造成工事	辻公園整備・換地計画 作成	
事業費		98,000千円	260,000千円	50,000千円

711 地区別整備方針の確立

区全体の防災性を強化するため、まちづくりと一体となったスーパー堤防整備を推進します。

施策コード	711	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
スーパー堤防とまちづくり (北小岩一丁目東部地区)	建物調査 換地設計	建築物等の移転・除却 造成工事	造成工事	
事業費		282,000千円	2,023,000千円	242,000千円
スーパー堤防とまちづくり (篠崎公園地区)	事業計画検討 用地買収	同左	事業計画検討	
事業費		16,000千円	25,000千円	25,000千円

(4) 大規模公園予定地の整備

712 篠崎公園・宇喜田公園の整備促進

篠崎公園・宇喜田公園について、周辺道路及び市街地整備と整合を図った整備の促進を都に要請します。
また、大規模公園の早期整備の推進とともに、高台化についても併せて都に要請していきます。

施策コード	712	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
篠崎公園・宇喜田公園 の整備促進	整備促進要請	同左	同左	
事業費		0千円	0千円	0千円

公園整備にあわせた 高台化の推進	要請	同左	同左
事業費	0千円	0千円	0千円

713 江戸川緑地における整備のあり方の検討

スーパー堤防※事業の機会を捉えて、隣接する篠崎公園の一部や江戸川緑地の一部についても一体的に高台化する整備を推進していきます。

※ スーパー堤防:河川後背地の再開発等と併せて堤防背面の盛土を行い、耐震性および親水性の向上を図った堤防。

施策コード	713	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
スーパー堤防と一体整備 による篠崎公園再整備と 江戸川緑地整備の推進		用地取得 関係機関調整	関係機関調整	同左
事業費		136, 000千円	0千円	0千円

(5)地域生活圏と中心核の整備

714 生活圏の個性を活かした魅力あるまちづくり

区民生活の多様化を踏まえつつ、区内6つの地域(中央、小松川・平井、葛西、小岩、東部及び鹿骨)がそれぞれ快適性、利便性及び安全性を高め、区民が誇りと愛着をもって生活できるよう、個性的で魅力的なまちづくりを推進します。

715 地区計画によるまちづくりの誘導

住民の理解と参加による地域の特性にあった地区計画を策定し、建築物、土地利用等の規制・誘導及び一部事業の導入によるまちづくりを推進します。なお、東京都が策定した「土地区画整理事業を施行すべき区域※」見直しガイドラインに基づいた都市計画変更を適宜行います。

施策コード	715	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
地区計画の策定	南小岩七・八丁目地区	素案策定	地区計画決定	運用・実現
	江戸川五丁目付近地区	素案策定	地区計画決定	運用・実現
	東葛西一丁目付近地区		素案検討	素案策定
事業費		3, 359千円	3, 400千円	3, 400千円

※ 土地区画整理事業を施行すべき区域:震災復興のもとに市街地の拡大を抑止するために緑地として整備することを指定された旧緑地地域を指定解除することに伴って、土地区画整理事業により基盤整備水準を上げる予定地域として指定された区域。

716 自主的なまちづくり活動の支援

区民の自主的な景観づくり活動を支援するために、必要に応じて専門家の派遣を行います。

施策コード	716	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
まちづくり推進コンサルタント 派遣		1地区程度	同左	同左
事業費		100千円	100千円	100千円

717 区民提案によるルールづくりの推進

区民提案による地区計画、建築協定※等の地区のルールづくりを推進します。

※建築協定：土地所有者等の全員の合意によって建築物の敷地、位置、構造、用途、形態、意匠等の基準を定めた協定。

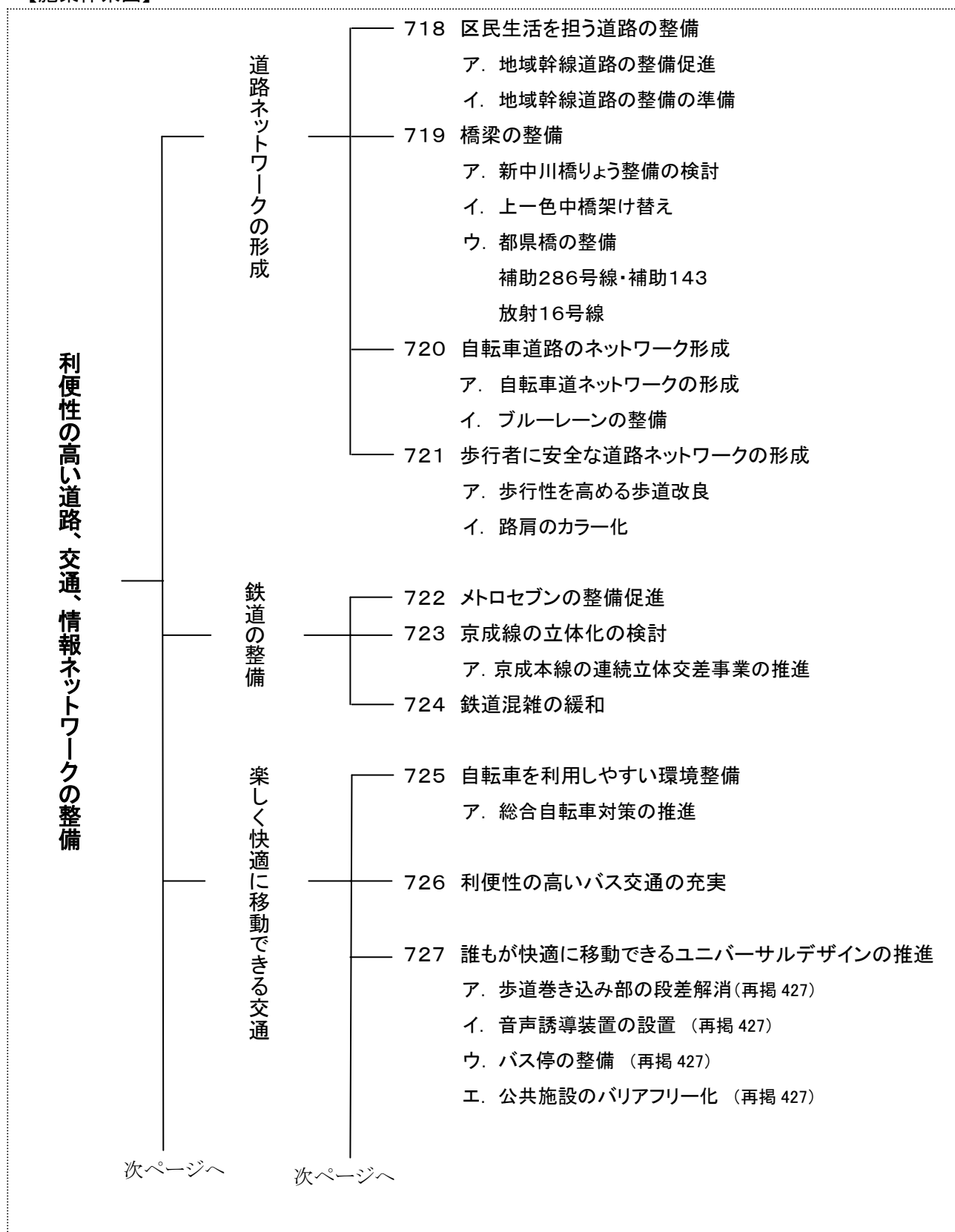
2 利便性の高い道路、交通、情報ネットワークの整備

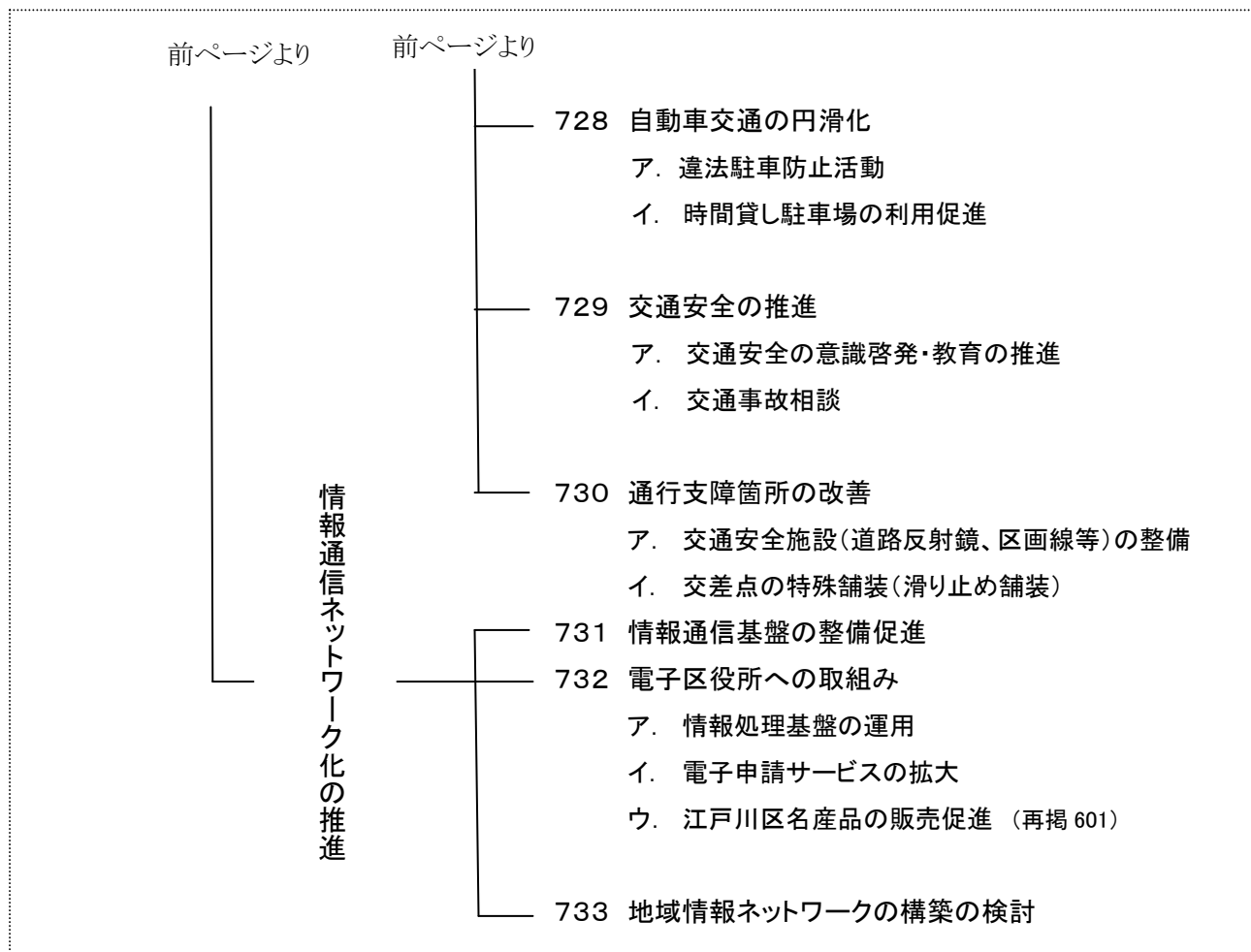
【施策の考え方】

都市計画道路、主要道路、橋梁の整備による道路ネットワーク、公共交通機関、自転車交通等を効果的に整備・活用し、誰もが安心・快適に移動できるまちづくりを進めます。

また、高度情報化に対応した情報通信の利便性の高いまちをめざします。

【施策体系図】





(1)道路ネットワークの形成

718 区民生活を担う道路の整備

地域幹線道路となる都市計画道路の整備を推進し円滑な道路交通の確保及び質の高いまちづくりを推進します。併せて、電線類の地中化の推進を図ります。

施策コード		718	年次計画					
計画事業内容			24年度		25年度		26年度	
地域幹線道路の整備促進	補助第264号線 (北小岩)		建物調査・算定 用地買収		建物調査・算定 用地買収 道路整備		建物調査・算定 用地買収 道路整備	
	補助第284・288号線 (中央)		建物調査・算定 用地買収 道路整備		用地買収 道路整備		道路整備	
	補助第286号線 (中央)		建物調査・算定 用地買収 道路整備		用地買収 道路整備		道路整備	
	補助第288号線 (南篠崎)		建物調査・算定 用地買収 道路整備		建物調査・算定 用地買収 道路整備		建物調査・算定 用地買収 道路整備	
	補助第288・290号線 (一之江)		建物調査・算定 用地買収		建物調査・算定 用地買収 道路整備		用地買収 道路整備	
	補助第289号線 (船堀)		道路整備		道路整備(完成)			

	補助第289号線 (春江)	建物調査・算定 用地買収	建物調査・算定 用地買収	建物調査・算定 用地買収 道路整備
	事業費	2, 102, 000千円	2, 524, 000千円	2, 231, 000千円
地域幹線道路の整備の準備	補助第288号線 (上篠崎)			事業認可
	補助第289号線 (江戸川)		事業認可	建物調査・算定 用地買収
	補助第289号線 (東葛西)			事業認可
	事業費		19, 000千円	137, 600千円

719 橋梁の整備

道路ネットワークの整備・防災避難道路の確保及び老朽した橋梁架け替えという観点から早期橋梁整備を行っていきます。

また、新中川橋梁整備基本計画で架け替え対象となっている未整備橋梁(松本橋・鹿本橋・春江橋・瑞江大橋)について、江戸川区橋梁長寿命化修繕計画との整合を図りながら、地域のまちづくりと一体となった橋梁整備を検討します。都県橋梁補助286号線は、関係機関調整・整備手法の検討を行います。補助143・放射16号線は、東京都施行の都市計画道路第三次事業化計画優先整備路線に位置付けられていることから東京都・千葉県に早期整備を強力に要請していきます。

施策コード	719	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
新中川橋りょう整備の検討		整備内容・手法の検討	同左	測量・予備設計
事業費		0千円	0千円	23, 000千円
上一色中橋架け替え		橋台・橋脚工事 上部工製作・架設	上部仕上げ 取付道路(完成)	
事業費		330, 000千円	550, 000千円	
都県境の整備 補助286号線・補助143 放射16号線		関係機関調整・整備手 法の検討、東京都・ 千葉県へ整備要請	同左	同左
事業費		0千円	0千円	0千円

720 自転車道路のネットワーク形成

自転車と歩行者の交通事故の削減、自転車利用の促進及び駐輪場利用者の通行環境整備等を目標に自転車道ネットワークの構築や、交通管理者と協議しブルーレーンの整備を図ります。

施策コード	720	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
自転車道ネットワークの形成		自転車交通量調査 ネットワーク計画案作成	ネットワーク計画作成 国・東京都へ整備要請	国・東京都へ整備要請
ブルーレーンの整備		西葛西駅周辺等整備	葛西駅周辺等整備	船堀駅・一之江駅周辺 等整備
事業費		40,000千円	36,000千円	36,000千円

721 歩行者に安全な道路ネットワークの形成

老朽化した歩道及び街路樹の根上がり箇所の補修を実施し、より安全で安心して歩ける歩道の整備に努めます。併せて、区内の交通事故減少を図るため、警察と連帯しながら、交通事故多発路線を重点として安全対策等に取り組めます。

施策コード	721	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
歩行性を高める歩道改良		4路線1,500m	同左	同左
事業費		113,013千円	120,000千円	120,000千円
路肩のカラー化		4,900m	同左	同左
事業費		12,502千円	12,502千円	12,502千円

(2) 鉄道の整備

722 メトロセブンの整備促進

「今後整備について検討すべき路線」として、平成12年の運輸政策審議会答申に位置付けられている中、その実現に向けて、膨大な事業費の縮減等諸課題の解決に取り組んでいきます。

723 京成線の立体化の検討

京成本線立体化について、東京都、葛飾区及び京成電鉄との調整により課題解決を図り、早期に事業化されるよう取り組んでいきます。

施策コード	723	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
京成本線の連続立体交差 事業の推進		京成本線連続立体交差実現に向けて東京都等と調整		
事業費		1,134千円	※※※千円	※※※千円

724 鉄道混雑の緩和

各路線における通勤・通学の混雑緩和策の検討を、鉄道事業者に要請します。

(3) 楽しく快適に移動できる交通

725 自転車を利用しやすい環境整備

区内の鉄道駅付近の放置自転車ゼロを目指し、①駐輪場の整備 ②放置禁止区域の指定 ③駅別一括業務委託 ④自転車利用者のマナー向上を4本柱とした「総合自転車対策」を実施し、安全安心な地域環境を醸成していきます。

施策コード	725	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
総合自転車対策の推進		駐輪場運営業務の駅別一括業務委託 (10駅)	同左 (11駅)	同左
事業費		※※※千円	※※※千円	※※※千円

726 利便性の高いバス交通の充実

バス交通の利便性向上を図るため、増便や運行ルートの変更、乗継利便性の向上等をバス事業者と協議し、改善が図れるよう要請していきます。

727 誰もが快適に移動できるユニバーサルデザイン※の推進

バリアフリー※のまちづくりを進めるために、歩道巻き込み部の段差解消、音声誘導装置の設置、バス停の整備等を促進するとともに、公共施設の改修事業等に併せて、エレベーター、自動扉の設置等のバリアフリー化を推進します。

※ ユニバーサルデザイン: 年齢、性別、障害の有無等にかかわらず、どんな人でも使えるように設計されたデザイン。

※ バリアフリー: 人が生活する上で妨げとなる障害(バリア)が、街、施設、道路、住宅、人々の意識、社会等から取り除かれた状態。

施策コード	727	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
歩道巻き込み部の段差解消 再掲 427		道路改修及び占用工 事にあわせて改修	同左	同左
事業費		50,000千円	50,000千円	50,000千円
音声誘導装置の設置 再掲 427		3基	同左	同左
事業費		1,953千円	1,953千円	1,953千円
バス停の整備 再掲 427		2箇所	同左	同左
事業費		10,080千円	10,080千円	10,080千円
公共施設のバリアフリー化 再掲 427		エレベーター設置1施設 手洗所改修10施設	エレベーター設置1施設 手洗所改修11施設	手洗所改修7施設
事業費		501,179千円	482,000千円	281,000千円

728 自動車交通の円滑化

区民との協働による違法駐車防止キャンペーン、パトロール等を実施し、平成 27 年度には瞬間違法駐車台数 1,500 台以下の実現を目指します。併せて、「時間貸し駐車場マップ」の作成及び普及に努めるとともに、(財)東京都道路整備保全公社との連携を図りながら、駐車場整備の支援を行います。

施策コード	728	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
違法駐車防止活動		違法駐車防止キャンペーン、パトロール等の実施	同左	同左
事業費		8,445千円	8,445千円	8,445千円
時間貸し駐車場の利用促進		時間貸し駐車場マップの作製・駐車場整備の支援	同左	同左
事業費		0千円	0千円	0千円

729 交通安全の推進

交通安全運動等の啓発活動、学校等における交通安全教育等を実施し、自転車マナー、ルール等の啓発活動を強化することにより、平成 27 年度末に交通事故件数 1,500 件以下の実現に努めます。

また、関係機関等と連携しながら、交通事故当事者が円滑に解決できるよう相談等の支援を行います。

施策コード	729	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
交通安全の意識啓発・教育の推進		交通安全意識の啓発	同左	同左
		交通安全教室の開催	同左	同左
事業費		30,847千円	30,847千円	30,847千円
交通事故相談		交通事故相談	同左	同左
事業費		4,267千円	4,267千円	4,267千円

730 通行支障箇所の改善

誰もが安全に道路を利用できるよう、交通管理者、地域住民と連携を図り、交通環境の向上に努めていきます。

施策コード	730	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
交通安全施設(道路反射鏡、区画線等)の整備		実施	同左	同左
事業費		19,448千円	20,000千円	20,000千円

交差点の特殊舗装 (滑り止め舗装)	65箇所	同左	同左
事業費	48,374千円	50,000千円	50,000千円

(4)情報通信ネットワーク化の推進

731 情報通信基盤の整備促進

情報通信基盤を活用することにより、快適な情報提供環境を促進します。

732 電子区役所への取組み

申請・届出等の各種手続きの電子化の取組みを計画的に促進し、利便性の向上に努めます。

施策コード	732	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
情報処理基盤の運用	e-SHIP の運用	同左	同左	
	業務システムの構築(改修)・運用	同左	同左	
事業費	4, 151, 768千円	4, 000, 000千円	4, 000, 000千円	
電子申請サービスの拡大	電子化対象手続の拡大	同左	同左	
事業費	2, 984千円	3, 000千円	3, 000千円	
江戸川区名産品の販売促進 再掲 601	「えどコレ！」の運営 直営店等での販売 活動の推進	同左	同左	
事業費	9, 366千円	9, 366千円	9, 366千円	

733 地域情報ネットワークの構築の検討

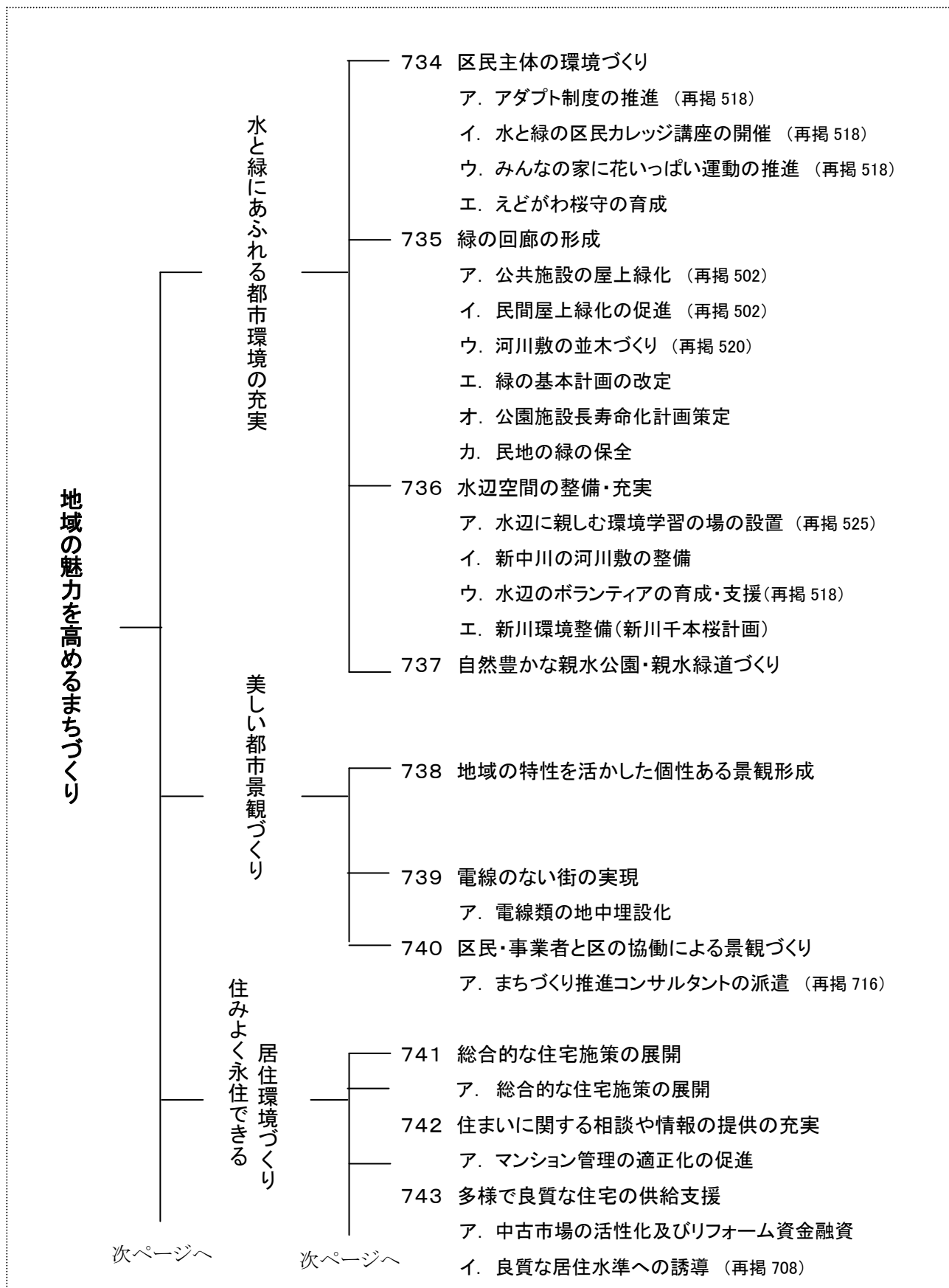
地域内の情報交流と地域からの情報発信を高めるために、関係機関と連携し、地域情報ネットワークの構築を検討していきます。また、地域活動ホームページの活用を図り、町会・自治会の活動の透明性の向上及び加入の促進に努めます。

3 地域の魅力を高めるまちづくり

【施策の考え方】

水辺、緑等の様々な都市の資源と魅力を育て、まちづくりに活かします。また、事故、犯罪等を防止した、安心して暮らせる魅力の高いまちづくりを進めます。

【施策体系図】



前ページより	前ページより	744 地域特性を活かした住環境づくり ア. 地区計画の策定 (再掲 715) イ. 密集住宅市街地整備促進事業 (再掲 707) ウ. 土地区画整理事業の推進 (再掲 710) エ. 動物の適正飼養についての普及啓発 オ. 飼い主のいない猫対策事業
	住みよく永住できる 居住環境づくり	745 安全で健康に配慮した住宅づくりの推進 ア. 住まいのバリアフリーの普及促進 イ. 耐震改修の支援
		746 高齢者などの居住支援策の充実 ア. 高齢者向け賃貸住宅の供給支援 (再掲 408) イ. 民間賃貸住宅家賃助成 (再掲 408) ウ. 住まいの改造助成 (再掲 408) エ. シルバーピア運営 (再掲 408) オ. 熟年者の住まい関連ボランティアの活用 (再掲 408)
	歩いて楽しめる 個性あるまち	747 公営住宅への対応 ア. 公営住宅の有効活用
		748 歩いて楽しめる水と緑の道づくり 749 魅力あるにぎわいの場づくり ア. JR 小岩駅周辺地区の整備 (再掲 703) イ. 南小岩七丁目西地区第一種市街地再開発事業 (再掲 703) ウ. 京成小岩駅周辺地区の整備 (再掲 703))
	安心して生活できる まちづくり	750 親しまれ、受けつがれる地域の風物詩づくり
		751 地域ぐるみの防犯対策 ア. 防犯活動の推進(犯罪件数の抑制) イ. 防犯意識を高める情報や不審者情報の発信 ウ. 委託警備会社による夜間パトロールの実施 エ. 防犯カメラの設置支援 オ. 地域で取組む防犯活動への支援 カ. 自転車盗ゼロ作戦

(1)水と緑にあふれる都市環境の充実

734 区民主体の環境づくり

アダプト制度※を利用した各ボランティアの活動の展開を図っていきます。

元気な桜を育てるまちづくりを目標に、区内の桜を守り育て、広める役割を担う人材を育成し、その活動を支援します。

また、みんなの家に花いっぱい運動を推進し、四季おりおりの花と緑があふれるまちづくりを進めます。

※ **アダプト活動**:道路、河川、公園等の公共スペースで実施する清掃等のボランティア活動。

※ **えどがわエコセンター**:江戸川区という地域社会を舞台として区民、事業者、行政が連携・協働するという新たなパートナーシップのもと、多くの人々に環境にやさしい生活を広げるため全区的に設立した特定非営利活動法人。

施策コード		734	年次計画		
計画事業内容			24年度	25年度	26年度
アダプト制度の推進	公園ボランティアの 育成・支援 再掲 518	公園ボランティア 連絡会の支援等	同左	同左	
	事業費	7, 216千円	7, 216千円	7, 216千円	
	まちかどボランティアの 育成・支援 再掲 518	活動の支援相談	同左	同左	
	事業費	51千円	51千円	51千円	
	緑のボランティアの 育成・支援 再掲 518	活動の支援相談	同左	同左	
	事業費	304千円	304千円	304千円	
	水辺のボランティアの 育成・支援 再掲 518	水辺の活動交流会等 の支援	同左	同左	
	事業費	1, 496千円	1, 496千円	1, 496千円	
水と緑の区民カレッジ 講座の開催 再掲 518		25講座	同左	同左	
事業費		2, 796千円	2, 796千円	2, 796千円	
みんなの家に花いっぱい運動の推進	花鉢アレンジ 講習会の開催 再掲 518	16会場	同左	同左	
	事業費	450千円	450千円	450千円	
	庭木の手入れ 講習会の開催 再掲 518	講習会 9会場	同左	同左	
		花と緑の相談所 23会場	同左	同左	
	事業費	118千円	118千円	118千円	
	ウェルカム・ガーディナー の育成 再掲 518	5会場	同左	同左	
事業費		1, 277千円	1, 277千円	1, 277千円	
えどがわ桜守の育成		桜守活動の支援等	同左	同左	
事業費		1, 029千円	1, 029千円	1, 029千円	

735 緑の回廊※の形成

河川の堤防天端及び河川敷への桜を主とした植栽を計画的に実施します。

豊かな水と緑の快適環境都市を推進し、区民と区が一体となって水と緑のまちづくりを進めるため、緑の基本計画を策定します。

公園施設の老朽化が進む中で、適切に維持管理を行っていくための長寿命化計画を策定し、計画的な改修を行うことによって、ライフサイクルコストの縮減を図っていきます。

宅地開発等により、消滅してしまう可能性のある農地や樹林、名木、古木等については、江戸川区の貴重な資源として、積極的に維持、保全するための取組みを行っていきます。

住宅等整備事業における基準等に関する条例※に基づいた屋上緑化を推進することにより、ヒートアイランド現象の抑制を図り、省エネ住宅の建設を誘導します。

※ 緑の回廊：公園、河川、学校等の緑の核をなす施設を親水緑道や緑道等、緑豊かな道路で結んだ回遊性のあるネットワーク。

※ 住宅等整備事業における基準等に関する条例：中高層共同住宅や一定規模以上の土地利用の基準を定めたもの。

施策コード	735	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
公共施設の屋上緑化 再掲 502		1施設	3施設	同左
事業費		21, 000千円	63, 000千円	63, 000千円
民間屋上緑化の促進 再掲 502		促進件数 100件	同左	同左
事業費		0千円	0千円	0千円
河川敷の並木づくり 再掲 520		新川の桜等 63本 旧中川の桜等 20本	新川の桜等 155本	新川の桜等 156本
事業費		14, 805千円	31, 000千円	31, 200千円
緑の基本計画の改定		内容検討・策定		
事業費		7, 770千円		
公園施設長寿命化計画策定		健全度判定調査	策定	
事業費		3, 698千円	20, 382千円	
民地の緑の保全		啓発普及・支援	同左	同左
事業費		3, 811千円	3, 811千円	3, 811千円

736 水辺空間の整備・充実

えどがわエコセンターとの連携を図りながら、豊かな水辺空間を活用した環境学習の場づくりを行います。

「水・緑」の基幹軸として位置づけ、広々とした空間や各河川の個性と沿川の特長を活かした水辺、豊かな水辺環境を日常生活に活かすとともに、自然と共生するための貴重な空間として、自然環境の保全・創出に努めていきます。

新川については、これまでの整備状況を踏まえて、社会経済状況の変化に対応した新川千本桜計画を推進するため、一部計画を見直し平成25年度末までに全体完成を目指します。

また、新中川については、東京都の暫定整備の実施状況を踏まえながら、利用の促進を図ります。

施策コード		736	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度	
水辺に親しむ環境学習の場の設置 再掲 525		環境学習の場としての活用 3箇所	同左	同左	
事業費		0千円	0千円	0千円	
新中川の河川敷の整備		河川敷緑地の管理	同左	同左	
事業費		24,008千円	24,008千円	24,008千円	
水辺のボランティアの育成・支援 再掲 518		水辺の活動交流会等の支援	同左	同左	
事業費		1,496千円	1,496千円	1,496千円	
新川環境整備(新川千本桜計画)	耐震護岸整備(新川橋～新川口橋)	整備	整備		
	人道橋	1橋	2橋		
	船堀グリーンロード	地中化工事	修景整備		
	緑道整備	整備	整備		
	地域交流センター	建設	開設(※※※)		
事業費		911,168千円	1,172,000千円		

737 自然豊かな親水公園・親水緑道づくり

親水河川空間をネットワーク化し、地域の憩いの場となる利用を促進を図るとともに、生態系に配慮した、より自然に近い親水緑道の整備を推進します。

(2)美しい都市景観づくり

738 地域の特性を活かした個性ある景観形成

地域特性に応じた「江戸川らしい」景観をさらに高めるため、景観条例による事前協議・届出制度を活用し、適正な開発誘導を行うとともに、景観まちづくりワークショップやえどがわ百景実行委員会等、区民主体の景観まちづくり活動を推進します。

739 電線のない街の実現

都市計画道路、土地区画整理事業等の整備に併せて、電線類の地下埋設化等を推進し、快適な都市景観の形成を図ります。

施策コード	739	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
電線類の地中埋設化		520m	620m	400m
事業費		260, 000千円	310, 000千円	200, 000千円

740 区民・事業者と区の協働による景観づくり

区民の自主的な景観づくり活動を支援するために、情報提供、専門家の派遣等を行います。

施策コード	740	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
まちづくり推進コンサルタント の派遣 再 716		1地区程度	同左	同左
事業費		100千円	100千円	100千円

(3)住みよく永住できる居住環境づくり

741 総合的な住宅施策の展開

「住まい白書」の課題を踏まえ、施策推進の基本方針を策定しながら、効果的かつ重点的な住宅施策を推進し、生涯生活都市の実現に努めます。

施策コード	741	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
総合的な住宅施策の展開		住宅施策の基本方針 の作成及び施策推進	施策推進	同左
事業費		0千円	0千円	0千円

742 住まいに関する相談や情報の提供の充実

危機管理を含めたマンション管理の総合的な取組みを促進するため、「マンション通信」の発行支援、学習会等への専門家派遣及びマンション関係団体の連携支援等を行います。また、バブル期に多く供給された民間賃貸住宅の適正な経営管理及び空室等の有効活用を図るため、関係団体と意見交換を行うとともに、不動産経営相談等の実施を支援します。

施策コード		742	年次計画		
計画事業内容			24年度	25年度	26年度
マンション 適正化の 促進 管理の	マンション通信 発行支援		年4回	同左	同左
	マンション交流支援 専門講師の派遣		年4回	同左	同左
事業費			976千円	1, 000千円	1, 000千円

743 多様で良質な住宅の供給支援

既存の住宅資源を有効に活用した、老朽化した住宅の改修・建替えを促進するため、改修に係る資金の融資あっせんを行い、住宅の質及び防災性の向上並びに住宅産業の振興を図ります。併せて、70㎡以上の土地の購入に係る資金の貸し付けを行い、敷地規模の拡大を促進し、居住環境の向上と良好な市街地の形成を図ります。

また、開発事業者に対しては、江戸川区住宅等整備事業における基準等に関する条例※に基づき、より良好な共同住宅及び戸建て住宅を供給するよう適確な指導を実施します。

※ 住宅等整備事業における基準等に関する条例：中高層共同住宅や一定規模以上の土地利用の基準を定めたもの。

施策コード		743	年次計画		
計画事業内容			24年度	25年度	26年度
中古市場の活性化及び リフォーム資金融資			住宅リフォーム資金の 融資 17件	同左	同左
良質な居住水準への誘導 再掲 708			街づくり宅地資金貸付 2 件	同左	同左
事業費			17, 646千円	18, 000千円	18, 000千円

744 地域特性を活かした住環境づくり

コミュニティの機能を活かしながら、住民合意に基づいた地区計画制度を活用するとともに、密集住宅市街地整備促進事業や土地区画整理事業の推進を図り、魅力ある良好な住環境を形成します。

また、ペットの適正飼養について推進を図り、人と動物との豊かな共生社会を実現していきます。

施策コード		744	年次計画		
計画事業内容			24年度	25年度	26年度
地区計画の策定 再掲 715			3地区	同左	同左
事業費			3, 359千円	3, 400千円	3, 400千円
密集住宅市街地整備促進事業 再掲 707			9地区	同左	同左
事業費			424, 969千円	430, 000千円	430, 000千円

土地区画整理事業の推進 再掲 710	2地区	同左	同左
事業費	98, 000千円	260, 000千円	50, 000千円
動物の適正飼養についての 普及啓発	町会回覧や犬のしつけ 方教室等の実施(2回)	同左	同左
事業費	500千円	500千円	500千円
飼い主のいない猫対策事業	飼い主のいない猫の不 妊・去勢手術費助成 (80件)	同左	同左
事業費	2, 000千円	2, 000千円	2, 000千円

745 安全で健康に配慮した住宅づくりの推進

建物の新築、増改築に当たっては、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律、東京都高齢者、身体障害者等が利用しやすい建築物の整備に関する条例及び江戸川区住宅等整備事業における基準等に関する条例※によるバリアフリー建築を誘導するとともに、「江戸川区住宅改修ガイド」の活用を図り、バリアフリー化の普及を促進します。

また、江戸川区耐震改修促進計画に基づいた、住宅の耐震対策を支援することにより、災害に強いまちづくりの形成を図ります。

※ 住宅等整備事業における基準等に関する条例：中高層共同住宅や一定規模以上の土地利用の基準を定めたもの。

施策コード	745	年次計画		
計画事業内容	24年度	25年度	26年度	
住まいのバリアフリー の普及促進	普及促進	同左	同左	
事業費	0千円	0千円	0千円	
耐震改修の支援	戸建住宅・分譲マンション・緊急輸送道路沿道建築物等に対して 耐震化促進事業の実施及び普及啓発			
事業費	306, 658千円	※※※千円	※※※千円	

746 高齢者などの居住支援策の充実

熟年者が住み慣れた地域にいつまでも安心して住み続けられるよう、その状態に応じた多様な住まいの普及・整備の促進に努めるとともに、高齢者向け賃貸住宅の供給支援、民間賃貸住宅家賃助成※、シルバーピア運営等により、熟年者がより安心して住み続けられる住まいの確保・改善等を図ります。

※ 民間賃貸住宅家賃助成：建物の取り壊し等で家主から転居を迫られた熟年者が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように、緊急処置として住み替え家賃の差額を助成する。

施策コード	746	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
高齢者向け賃貸住宅の 供給支援 再掲 408		事業者募集	同左	同左
事業費		47,996千円	※※※千円	※※※千円

民間賃貸住宅家賃助成 再掲 408	280件	同左	同左
事業費	99,927千円	100,000千円	100,000千円
住まいの改造助成 再掲 408	170件	同左	同左
事業費	51,373千円	51,373千円	51,373千円
シルバーピア運営 再掲 408	50世帯	同左	同左
事業費	6,321千円	6,300千円	6,300千円
熟年者の住まい関連 ボランティアの活用 再掲 408	ボランティアの活用	同左	同左
事業費	2,080千円	2,100千円	2,100千円

747 公営住宅への対応

区営住宅の施設管理及び計画修繕については、指定管理者制度を活用し、効果的かつ効率的な管理・運営に努めます。

また、大規模団地の建替えに当たっては、円滑な建替えの実施、効果的な敷地の活用、都営住宅の再編成と集約等に向けた調整、協議等を行います。

施策コード	747	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
公営住宅の有効活用	区営住宅の管理・修繕 3団地65戸	同左	同左	
	大規模団地建替え調整	同左	同左	
事業費		15,380千円	※※※千円	※※※千円

(4) 歩いて楽しめる個性あるまち

748 歩いて楽しめる水と緑の道づくり

地域の水と緑の資源を活かし、沿道の魅力を高め、ゆったりと過ごせる道空間の創出に努めます。

749 魅力あるにぎわいの場づくり

主要鉄道駅の周辺は、商業や交通の拠点となる地域中心核にふさわしい高度利用を誘導し、賑わいのある商業機能、事務所等の業務機能の充実を図ります。特に、JR 小岩駅周辺は、道路・駅広場等の都市施設、及び地区計画の早期決定と地区別の事業推進を図ります。

南小岩七丁目西地区第一種市街地再開発事業は、商業施設の誘致による商業活性化と、質の高い住宅供給による定住人口の回復を図ります。また、京成小岩駅周辺地区は、京成本線連続立体化事業の進捗に合わせ、地域協議を進めまちづくり構想の策定を進めるとともに、駅前広場等の基盤整備計画の作成を進めます。

施策コード	749	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
JR小岩駅周辺地区の整備 再掲 703		地区別の事業推進 都市計画決定協議	都市施設の決定 再開発事業の決定 地区計画の決定	地区別の事業推進 都市施設の整備 再開発事業の推進
事業費		45, 787千円	※※※千円	※※※千円
南小岩七丁目西地区 第一種市街地再開発事業 再掲 703		権利変換計画 建設工事	建設工事	同左
事業費		1, 163, 280千円	702, 500千円	812, 000千円
京成小岩駅周辺地区の整備 再掲 703		まちづくり構想策定	都市計画案の作成	都市計画決定協議
事業費		218千円	※※※千円	※※※千円

750 親しまれ、受けつがれる地域の風物詩づくり

地域のイベント、地域のボランティア活動等を情報提供し、地域住民のふれあいの場づくりを図ります。

(5) 安心して生活できるまちづくり

751 地域ぐるみの防犯対策

「安全・安心まちづくり運動大綱」に基づき、区民が日々安全で安心して暮らせるまちづくりを実現するため、区民、警察、区が一体となり、犯罪抑止に向けた取組みを行っていきます。

具体的には、警察や消防との連携を強化していくとともに、防犯カメラの設置支援や警備会社による夜間パトロールの実施、各地域で行われている安全・安心パトロール活動への支援等、総合的な防犯まちづくりを推進していきます。

また、身近な犯罪抑止対策として、自転車盗ゼロ作戦の実施、メールニュースによる不審者情報の配信、各種イベントでの PR や防犯だより・ホームページを活用した啓発活動の実施により、安全で安心して生活できるまちづくりを進めていきます。

施策コード	751	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
防犯活動の推進 (犯罪件数の抑制)		9, 500件 (犯罪件数)	9, 000件 (犯罪件数)	8, 500件 (犯罪件数)
事業費		—— 千円	—— 千円	—— 千円
防犯意識を高める情報や 不審者情報の発信		えどがわメールニュー ス・防犯だより等の 発行	同左	同左
事業費		1, 381千円	1, 381千円	1, 381千円
委託警備会社による 夜間パトロールの実施		パトロールの実施	同左	同左
事業費		36, 869千円	36, 869千円	36, 869千円

防犯カメラの設置支援	設置支援	同左	同左
事業費	12, 500千円	※※※千円	※※※千円
地域で取組む 防犯活動への支援	安全・安心パトロール 等への活動支援	同左	同左
事業費	4, 347千円	4, 347千円	4, 347千円
自転車盗ゼロ作戦	3, 100件 (自転車盗件数)	3, 000件 (自転車盗件数)	2, 900件 (自転車盗件数)
事業費	1, 734千円	1, 734千円	1, 734千円

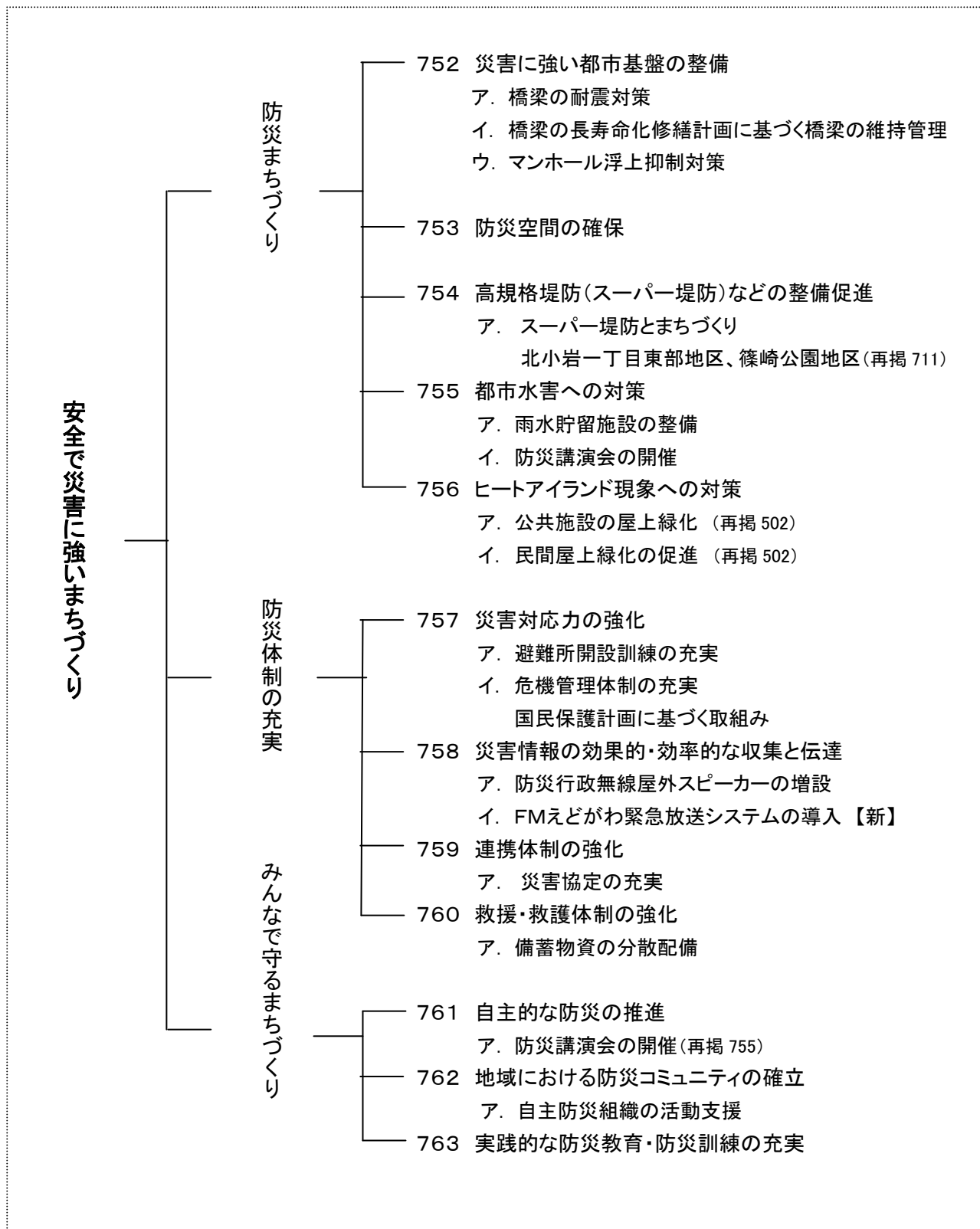
4 安全で災害に強いまちづくり

【施策の考え方】

「自分たちのまちは自分たちで守る」という意識を高め、区民と区の役割を明確にし、区民や関係機関と一体となった災害に強いまちをつくれます。

また、安心して住み続けられるよう、木造密集市街地の整備等の都市基盤の整備を進め、都市化の進展による都市型水害、ヒートアイランド現象の対応等を推進します。

【施策体系図】



(1)防災まちづくり

752 災害に強い都市基盤の整備

土地区画整理事業の実施、都市計画道路及び木造住宅密集市街地の整備等の都市基盤の整備を着実に推進します。

また、大規模地震の被害を最小限に抑え、緊急交通網及び避難路の確保を図るため、橋梁の耐震補強工事を実施するとともに、江戸川区橋梁長寿命化修繕計画に基づき、計画的かつ効率的に橋梁を良好な状態として常に維持管理することで、災害時の避難路を確保します。

施策コード	752	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
橋梁の耐震対策		瑞江大橋、新椿橋	松江橋、椎橋	花のはし、富士見橋
事業費		472, 500千円	※※※千円	※※※千円
橋梁の長寿命化修繕計画に基づく橋梁の維持管理		西葛西歩道橋(工事) 設計委託	瑞江大橋、新左近橋 南椿橋、松江橋	明和橋、さくら橋 葛西かもめ橋
事業費		24, 568千円	※※※千円	※※※千円
マンホール浮上抑制対策		設計	設計 工事	設計 工事
事業費		24, 833千円	※※※千円	※※※千円

753 防災空間の確保

区民及び事業者の理解と協力を得ながら、助成金制度の活用を図りつつ、細街路の拡幅整備を推進します。また、指定道路図・調書を作成市し、閲覧に供することにより、建築行為全般を円滑に推進するよう図ります。

754 高規格堤防(スーパー堤防)などの整備促進

区全体の防災性を強化するため、まちづくりと一体となったスーパー堤防整備を推進します。

施策コード	754	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
スーパー堤防とまちづくり (北小岩一丁目東部地区) 再掲 711		建物調査 換地設計	建築物等の移転・除却 造成工事	造成工事
事業費		282, 000千円	2, 023, 000千円	242, 000千円
スーパー堤防とまちづくり (篠崎公園地区) 再掲 711		事業計画検討 用地買収	同左	事業計画検討
事業費		16, 000千円	25, 000千円	25, 000千円

755 都市水害への対策

浸水対策として、都市計画道路補助第286号線(中央)の街路整備に併せて、道路地下空間に雨水貯留施設を整備します。

防災講演会を開催し、自助・共助・公助を基本とした防災意識を高める啓発活動を行います。また、併せて地震に伴う複合災害に関する被害想定検討結果を踏まえた、減災に繋がる住民の避難計画を提示し、防災に対する知識・技術の普及啓発に努めていきます。

施策コード	755	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
雨水貯留施設の整備		補助第286号線 (中央) 950m³	同左	
事業費		0千円	340, 200千円	
防災講演会の開催		実施	同左	同左
事業費		9, 240千円	※※※千円	※※※千円

756 ヒートアイランド現象※への対策

公共施設の屋上緑化を推進するとともに、住宅等整備事業における基準等に関する条例※に基づいた民間敷地内の緑化、屋上緑化、駐車場設置部分等に透水性舗装※、保水性舗装※を誘導するとともに省エネルギー機器設置住宅に対する容積率の緩和をすることにより省エネ住宅の建設を促進し、ヒートアイランド現象の抑制を図ります。

※ ヒートアイランド現象：都市中心部の都市活動の結果として生じる気温上昇現象。

※ 住宅等整備事業における基準等に関する条例：中高層共同住宅や一定規模以上の土地利用の基準を定めたもの。

※ 透水性舗装：雨水の地中への浸透により、雨水流出抑制、雨天時の歩行性の向上等に効果がある舗装。

※ 保水性舗装：道路の舗装断面に保水機能をもたせた舗装。雨天時に吸収した水分を晴天時に蒸発させ、気化熱を奪うことにより路面の温度が下がる効果が期待できる。

施策コード	756	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
公共施設の屋上緑化 再掲 502		1施設	3施設	3施設
事業費		21,000千円	63, 000千円	63, 000千円
民間屋上緑化の促進 再掲 502		促進件数 100件	同左	同左
事業費		0千円	0千円	0千円

(2)防災体制の充実

757 災害対応力の強化

夜間・休日等の職員参集体制の強化や円滑な避難所運営に向けて、避難所開設訓練を充実させていきます。今後の取組みとしては、区職員、学校教職員、地元町会が連携し、より実践的な訓練へと発展させていきます。

災害時に迅速かつ的確な災害対応を行い、被害の低減を目的に、地域防災計画の着実な推進を図ります。

このため、庁内危機管理体制の整備及び職員の危機対応能力の向上を図り、区民との協力体制及び関係機関との連携強化に努めます。

また、国民保護計画に基づき、必要な取組みを実施していきます。

施策コード	757	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
避難所開設訓練の充実		合同訓練の実施	同左	同左
事業費		0千円	0千円	0千円
危機管理体制の充実 国民保護計画に基づく 取組み		危機管理課題の検討	同左	同左
		危機管理意識の徹底	同左	同左
事業費		747千円	※※※千円	※※※千円

758 災害情報の効果的・効率的な収集と伝達

基本的な情報伝達手段である防災行政無線の難聴地域解消のために、設置個所を増加します。また、FMえどがわの放送に区からの緊急放送が割り込みできる装置を導入し、効果的・効率的な災害情報の伝達を図ります。

施策コード	758	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
防災行政無線屋外 スピーカーの増設		18基増設	難聴地域を調査し、 適宜増設	同左
事業費		83, 897千円	※※※千円	※※※千円
FMえどがわ緊急放送 システムの導入 【新】		装置の導入		
事業費		9, 030千円		

759 連携体制の強化

災害発生時における各種協定について、自治体や関係機関及び民間事業者との新たな協定締結に努める。また、協定締結後も定期的な情報交換や合同訓練等を通じて、相互に協力体制を構築していきます。

施策コード	759	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
災害協定の充実		適宜締結	同左	同左
事業費		0千円	0千円	0千円

760 救援・救護体制の強化

一次避難所となる小中学校及び区施設には、備蓄物資の分散配備を行っており、区の防災備蓄倉庫も含めて備蓄物資の充実を図っていきます。また、流通在庫備蓄も視野に入れ、民間事業者と協定等を締結していきます。

施策コード	760	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
備蓄物資の分散配備		実施	同左	同左
事業費		12, 334千円	12, 334千円	12, 334千円

(3) みんなで守るまちづくり**761 自主的な防災の推進**

防災講演会を開催し、自助・共助・公助を基本とした防災意識を高める啓発活動を行います。また、併せて地震に伴う複合災害に関する被害想定検討結果を踏まえた、減災に繋がる住民の避難計画を提示し、防災に対する知識・技術の普及啓発に努めていきます。

施策コード	761	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
防災講演会の開催 再掲 755		実施	同左	同左
事業費		9, 240千円	※※※千円	※※※千円

762 地域における防災コミュニティの確立

自主防災組織の活動の充実を図るため、防災用資機材及び防災訓練の実施等において支援を行います。

施策コード	762	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
自主防災組織の活動支援		地域防災訓練の充実	同左	同左
事業費		3, 447千円	3, 447千円	3, 447千円

763 実践的な防災教育・防災訓練の充実

子ども、保護者等が災害発生時に適切な対応がとれるよう、あらゆる機会を通じた、より実践的な防災教育及び防災訓練の実施に努めます。

第3章 計画の実現のために

- 1 信頼と協働による推進
- 2 区民本位での効率的な行政運営

1 信頼と協働による推進

ボランティア、民間団体等の活動の支援、情報技術を活用したコミュニケーション体制の整備等を通して、区民と区の多様で豊かな協働を築くための環境づくりを進めます。

2 区民本位での効率的な行政運営

(1) 電子区役所への取組み

現行の情報処理体制が抱える課題の解決を図り、区民サービスの向上及び事務処理の効率化を目的とする新たな情報処理体制の整備を促進します。併せて、江戸川区情報セキュリティポリシー※に基づいた適切な情報管理、職員の情報リテラシー※の向上等を図ります。

※ 情報セキュリティポリシー：江戸川区情報安全管理対策要綱・同対策基準（平成14年4月1日 区長決定）江戸川区の情報セキュリティ対策について総合的、体系的に取りまとめたもの。

※ 情報リテラシー：コンピュータやネットワークを活用して情報の検索、整理、発信等を行う能力のこと。

施策コード	802	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
情報処理基盤の運用 再掲 732	e-SHIP の運用	同左	同左	同左
	業務システムの構築(改修)・運用	同左	同左	同左
事業費		4, 151, 768千円	4, 000, 000千円	4, 000, 000千円
電子申請サービスの拡大 再掲 732	電子化対象手続の拡大	同左	同左	同左
事業費		2, 984千円	3, 000千円	3, 000千円
情報セキュリティ※対策	セキュリティ外部診断・内部点検の実施	同左	同左	同左
	セキュリティ改善計画に基づく対策の実施	同左	同左	同左
事業費		6, 405千円	7, 000千円	7, 000千円
職員の情報リテラシー向上	情報化研修等の実施	同左	同左	同左
事業費		16, 905千円	17, 000千円	17, 000千円

※ 情報セキュリティ：情報システムとその取扱う情報についての機密の保持及び正確性、完全性の維持並びに業務等で必要な範囲でシステムの利用可能な状態(可用性)を維持することをいう。

(2) 区民への積極的な情報提供

区民への積極的な情報提供を推進し、より開かれた区政の実現を図ります。

電子書籍閲覧システム及びデジタルフォトギャラリー閲覧システム導入の検討を図ります。

施策コード	803	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
公式ホームページの拡充		電子書籍閲覧システム の検討	同左	同左
		デジタルフォトギャラリー 閲覧システムの検討	デジタルフォトギャラリー 閲覧開始	同左
事業費		0千円	0千円	0千円
意見公募手続の適切な運営		運営	同左	同左
事業費		0千円	0千円	0千円

(3) 行政評価のしくみづくり

施策及び事業がどのように実施されているか等を区民にわかりやすく説明するとともに、施策の有効性、改善すべき課題、方向性等を明確にし、区民ニーズにあった施策を展開するため、行政評価制度を推進します。

施策コード	804	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
行政評価の適切な運営		実施	同左	同左
事業費		415千円	415千円	415千円

(4) 民間活力の導入

既に指定管理者制度を導入した32施設及び公園、児童遊園(平成24年3月31日現在)に加えて、民間の経営手法、柔軟な運営体制等を活かすことが可能な公の施設については、指定管理者制度の導入を図ります。

また、指定管理期間中に、専門家による評価を実施し、さらなる施設サービスの向上を図ります。

施策コード	805	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
指定管理者制度の導入		福祉作業所及び分室	希望の家 中央図書館他6館	虹の家
事業費		※※※千円	※※※千円	
専門家評価		実施	同左	同左
事業費		※※※千円	※※※千円	※※※千円

(5) 職員の能力開発と意識改革

施策及び事業を区民本位で、効率的に実施していくために、職員の能力開発及び意識改革に努めます。

(6) 財政基盤の強化

健全な財政運営を長期的・計画的に行うために、事務事業、執行体制のあり方等を探求するとともに、税収等の確保に努めます。

施策コード	807	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
債権確保の強化		弁護士会との連携による私債権の整理徴収及び強制執行の強化	同左	同左
		電話催告業務の民間委託	同左	同左
		クレジットカード納付等、納付方法の拡大の検討	同左	同左
事業費		252, 509千円	※※※千円	※※※千円

(7) 広域的な連携・協力の推進

災害時の対応、防犯対策、広域交通網の整備、自動車環境汚染対策等区だけでは対応、解決等が困難な課題について、国及び都に必要な働きかけを行うとともに、周辺自治体と連携・協力してその解決を図ります。

(8) 区政運営

公共施設の老朽化、少子高齢化による公共施設に対するニーズの多様化等へ対応するために施設のあり方懇談会(仮称)を立ち上げ、公共施設マネジメントの導入を進めます。

施策コード	809	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
公共施設マネジメント※の導入【新】		施設のあり方懇談会(仮)の開催	施設のあり方検討	同左
事業費		436千円	※※※千円	※※※千円

※ 公共施設マネジメント: 公共施設の実態を施設面、利用面、運営面、コスト面等から把握し、現状及び将来の自治体を取り巻く環境に照らした上で、他用途への転用や施設の集約化、統廃合等、公共施設のあり方を総合的に判断し、再構築を行うこと。